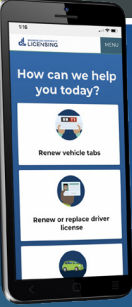


Washington州の住民の皆さんの生活、仕事、運転、そして成功を支えます。

WASHINGTON州 ドライバー向けガイド



すべてのサービスがここに！



スキャンしてください。



WASHINGTON STATE DEPARTMENT OF
LICENSING

dol.wa.gov

あなたの身分証明書は空港で有効ですか？

REAL ID

準備は
出来ましたか？



REAL IDは、国内線の航空旅行や一部の連邦施設へのアクセスのために、運転免許証や身分証明書が特定のセキュリティ基準を満たすことを求める法律です。標準の運転免許証と身分証明書はこの基準を満たしません。

エンハンスド運転免許証や身分証明書は REAL ID に準拠した 選択肢の一つです。必要なものをお持ちですか？



QRコードをスキャンするか dol.wa.gov/real-id にアクセス。

州法

車線
変更
減速
する



誰もが
安全に家に
帰れるように。

州法

車線
変更
減速
する



現場の前200フィートまでに車線
変更して、200フィート過ぎるま
で元の車線に戻らないでください。
制限速度より10マイル/時減速して
ください。

米国では、自動車事故が若年ドライバーの
死亡や負傷の主な原因となっています。

衝突のリスクを知る 年齢 16~25

濡れた路面

経験不足

シートベルト非着用

夜間運転

速度 | 疲労

薬物とアルコール
十代の同乗者
不注意運転

- アメリカでは毎年何人の人が交通事故で亡くなっているでしょう？
- Washington州交通局の死亡事故低減目標は、どう定めるべきでしょうか？



**TARGET
ZERO**

520-398 (R/4/25)
日本語 (Japanese)



WASHINGTON STATE DEPARTMENT OF
LICENSING

dol.wa.gov

Washinotori Driver Guide | 520-398 | 日本語 (Japanese) | (R/A/25)



目次

We are Washington (Washington州民として)

はじめに

本ガイドの内容
すべて人のための公平性
連絡先情報

1 | 各種免許証

運転する責任	1.0
WA番号 (WDL番号) の割り当て	1.1
License Expressの利用	1.2
運転免許証および車両登録事務所	1.3
Washington州の居住者	1.4
新規居住者	1.5
18歳以上の新規居住者	1.5
16歳または17歳の新規居住者	1.5
身分証明書	1.5
住所不定者の支援	1.5
身分証明書と運転免許証	1.6
REAL ID	1.7
運転免許証 (Personal Driver License) の取得	1.8
仮免許	1.8
運転免許証の取得: 16～17歳	1.8
運転免許証の取得: 18歳以上	1.8
インターミディエート運転免許証	1.8
農業用仮免許	1.8
早期警告書	1.8

健康状態	1.9
視力検査	1.9
臓器ドナー	1.9
医療に関する指定	1.9
公式の承認 (Endorsements)	1.10
高齢運転者	1.11
運転免許証試験	1.12
2種類の試験	1.12
受験	1.12
運転者教習	1.13
18歳以上の方	1.13
新規ドライバーの保護者の方へ	1.14
運転免許証の維持	1.15
運転免許証の再発行	1.15
運転免許証の更新	1.15
失効した運転免許証	1.15
自動車運転する権利の喪失	1.15
アルコール、薬物、銃器所持違反	1.15
飲酒運転または薬物の影響下での運転 (DUI: Driving Under the Influence)	1.15
オープンコンテナ法	1.15
その他のサービス	1.16
住所または氏名の変更	1.16
有権者登録	1.16
選抜徴兵制度への登録	1.16
双生児登録簿	1.16

2 | 車両

車両サービス	2.0
車両所有者証明書 (権利証書)	2.0

登録	2.0
車両住所	2.0
売却の報告	2.1
個人間の売買	2.1
ディーラーから個人への売買	2.1
車両ナンバープレート	2.2
自動車保険への加入義務	2.3
車両の把握	2.4
機能	2.4
調整	2.4
車両安全技術	2.4
車両のメンテナンス	2.5
タイヤ	2.5
ガラス面	2.5
ヘッドライト	2.5
ブレーキライト	2.5
ウインカー	2.5
手信号	2.5
ハザード警告ライト	2.5
運転席	2.5
乗員保護	2.6
シートベルトと乗員保護	2.6
チャイルドシート	2.6
エアバッグ	2.6
ハンドル	2.7
ハンドトゥハンド (送りハンドル) 操作	2.7
ハンドオーバーハンド操作	2.7
片手ハンドル操作	2.7
ブレーキ	2.8
ブレーキ圧力	2.8
アンチロック ブレーキシステム	2.8

アクセル	2.9
重量のバランシング	2.10
ピッチ	2.10
ロール	2.10
ヨー回転	2.11
車両基準点	2.11
死角	2.12
その他の車両の死角	2.13
周囲の確認	2.13
運転する前に	2.14

3 | 運転者

運転席に座る	3.0
健康状態	3.0
身体の健康	3.0
視力	3.0
夜間の視力	3.0
聴力	3.0
運転に影響を与えるもの	3.1
飲酒と運転	3.1
マリファナ (大麻) と運転	3.1
薬と運転	3.1
多剤乱用と運転	3.1
疲労と居眠り運転	3.1
メンタルヘルス	3.1
乱暴な運転	3.1
レーシングと路上デモ	3.1
危険な運転	3.1
危険な運転を見た場合	3.1
危険な運転の被害者になった場合	3.1
危険な運転を報告する	3.1

道路での状況判断	3.2
状況判断が重要な理由	3.2
的確な判断をする	3.2
路上での問題解決能力	3.3
注意散漫な運転を避ける	3.4
Washington州の注意散漫運転に関する法律	3.4
賢い運転者	3.5
注意を払う	3.5
目視確認	3.5
尊重と責任	3.6
交通情報	3.6
ゴミ	3.6
環境	3.6
自己評価	3.6

4 | 道路

意識と協力	4.0
歩行者との道路共有	4.1
スクールバスとの道路共有	4.2
バスの後ろにいるとき	4.2
バスの前にいるとき	4.2
公共バスとの道路共有	4.3
大型車両との道路共有	4.4
除雪車	4.4
オートバイとの道路共有	4.5
追従	4.5
車線	4.5
右折・左折	4.5
路面	4.5
ライト	4.5

自転車との道路共有	4.6
一般的ガイダンス	4.6
自転車の追い越し	4.6
自転車レーン	4.6
電車との道路共有	4.7
重要な安全上の注意点	4.7
助けを呼ぶタイミング	4.7
路面電車	4.7
農業車両との道路共有	4.8
緊急車両との道路共有	4.9

道路のルール

交通規制	4.10
一般的な運転ガイダンス	4.10
交通制御装置	4.10
壊れたライトまたは信号	4.10
信号機のサイン	4.11
フリーウェイのランプメーター	4.11
標識	4.12
一般的な標識	4.12
工事区域の標識	4.12
サービス標識	4.12
レクリエーション標識	4.12
目的地への標識	4.12
その他の交通標識	4.12
よくある交差点	4.13
右折・左折	4.14
Uターン	4.14

その他の交差点 4.15

環状交差点	4.15
分岐ダイヤモンド型インターチェンジ	4.15
制御されていない交差点	4.15

道路標示 4.16

車線	4.16
高占有車両 (HOV: High Occupancy Vehicle) /	
カープール	4.16
可逆車線	4.16
専用車線	4.16
有料車線	4.16
その他の道路標示	4.16

ゾーン 4.17

スクールゾーン	4.17
工事区域	4.17
緊急ゾーン	4.17

駐車 4.18

一般的な駐車ルール	4.18
直角および斜め駐車	4.18
縦列駐車	4.18
坂道駐車	4.18
障害者専用駐車場	4.18
電気自動車充電ステーションの駐車場	4.18

輸送 4.19

けん引	4.19
荷物固定	4.19
動物	4.19

海上輸送 4.20

フェリー	4.20
ビーチ	4.20

5 | リスク

運転の危険性	5.0
リスク意識	5.0
危険認識	5.0
状況認識	5.0
危機管理	5.0
速度	5.1
過度な速度	5.1
制限速度	5.1
状況に応じた速度の調整	5.1
スペース	5.2
合流	5.3
ファスナー合流	5.3
時間	5.4
秒数を数える	5.4
近づいてくる車の前でのターン	5.4
集中	5.5
注意力	5.5
視野	5.5
進行経路	5.5
視線	5.5
情報収集	5.5
道路と運転条件	5.6
夜間の運転	5.6
カーブ	5.6
滑りやすい道路	5.6
スリップ	5.6

ハイドロプレーニング現象	5.6
車両故障	5.7
タイヤ	5.7
動力	5.7
ヘッドライト	5.7
アクセル	5.7
リスクの伝達	5.8
衝突	5.9
車両の衝突	5.9
衝突事故の報告	5.9
負傷の報告	5.9
911への通報	5.9
電柱に衝突した場合	5.9
衝突事故を目撃した場合	5.9
緊急キット	5.9
法執行機関	5.10
停車を求められる場合	5.10
交通違反切符を切られる場合	5.10

リソース

結論

用語集
アクセシビリティと配慮事項
免責事項

私たち一人ひとりが Washington州の住民です

本ガイドは、Washington州住民の価値観を共有するものです。

- ・ 私たちは交通ルールを守ることで、自分自身と他の人を守ります。
- ・ 私たちは、交通弱者に注意を払います。
- ・ 気を抜かず、計画的かつ冷静に運転します。
- ・ 誰もが安全に目的地に到着できる社会を目指します。



コンテンツ

Washington州のDepartment of Licensing (DOL)は、公式のWashington州運転者向けガイド (Washington State Driver Guide) を制作しています。このガイドでは、Washington州の多くの法律について言及するとともに、法律には記載されていない安全に関するアドバイスも記載しています。すべての情報は、刊行時点で可能な限り正確なものです。ただし、本ガイドは、Washington州議会 (Washington Legislature) が加えた最新の変更を、まだ反映していない可能性があります。本ガイドの最新版は、DOLのWebサイト (dol.wa.gov) で閲覧できます。

すべての道路利用者を公平に

Department of Licensing (DOL) は、多様性、公平性、包括性、信頼、尊重という価値観を通じて帰属意識の文化を築くことに真剣に取り組んでいます。DOLは、可能な限り、公平なアクセスを提供し、あなたに立ちあはだかる障壁を取り除きます。DOLの施設やサービスにアクセスするために宿泊施設を必要とする方のご要望に応じて、お手頃な宿泊施設を提供します。DOLは、第一言語が英語以外の方向けに言語サービスを提供します。DOLは、PEAR (Pro-Equity Anti-Racism, 公平性支持、人種差別反対) に取り組んでいます。当局には、地域のパートナー、職員、リーダーからなる強力で活動的なPEARチームがあり、地域の意見に対応するサービス環境を構築するために協力しています。各種施設とアクセシビリティについての詳細は、本ガイドの最終ページをお読みください。

連絡先情報 | DOL.WA.GOV



運転免許証カスタマーサービス：

360-902-3900

車両登録カスタマーサービス：

360-902-3770



Facebook.com/WashingtonDOL



Instagram.com/wa_licensing



LinkedIn.com/company/Washington-state-department-of-licensing



Threads.net/@wa_licensing



X.com/WA_DOL



Youtube.com/WALicensing

1



第1章 免許証



1.0 | 運転をしたいと決める

ドライバーになることは、特権を持つと同時に責任を負うことでもあります。これは人生の大半にわたってあなたに付いて来ます。時間をかけて運転の知識と技能を覚えましょう。そうすることで健康的な習慣が身につき、生涯にわたる運転の基礎を築きやすくなります。

1.1 | WAナンバー (WDLナンバー) の割り当て

Washington州のすべての免許証、許可証、および IDカードには、Washingtonナンバーが割り当てられます。この番号はあなた固有のものであり、多くの場合、「WDL」というアルファベットから始まります。

1.2 | LICENSE EXPRESS

WDLナンバーをお持ちでない場合は、運転免許事務所で取得するか、License Expressで新規利用者アカウントを作成して取得できます。ライセンスエクスプレスは、DOLの多くのサービスにアクセスできる安全なWebサイトです。License Expressへのリンクは、dol.wa.govホームページに記載してあります。覚えやすいユーザー名とパスワードを入力して登録してください。新規ドライバーの方はご自身のアカウントを設定する必要があります。他人のアカウントを利用してサービスを受けることはできません。このアカウントはあなた自身のものでなければなりません。

License Expressでできること

- ・ 運転免許事務所の予約を取る
- ・ 仮免許の事前申請
- ・ 運転技能試験の予約を取る
- ・ 運転免許証の更新
- ・ 車両登録の管理
- ・ 住所変更

WDLナンバーを忘れた、またはご利用のLicense Expressのアカウントに関して質問がある場合は、DOL運転免許証発行カスタマーサービス(360-902-3900)にお電話ください。

1.3 | 運転免許証および車両事務所

運転免許証事務所の職員は、運転免許証または身元証明書カードの取得を支援できます。車両の使用許可および登録に関するサポートについては、車両事務所にお問い合わせください。必要とされるサービスに対応する事務所にご連絡ください。

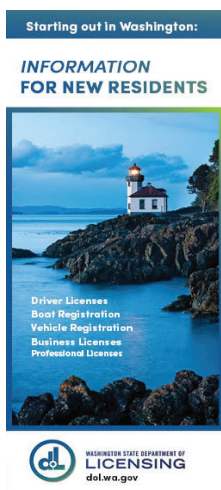


1.4 | WASHINGTON州の住民の方

以下の項目のいずれかに該当する方は、Washington州の住民です。

- Washington州内に個人使用目的の住居を維持している。
- Washington州内で選挙投票の登録をしている。
- 連邦税または州税の支払いにWashington州の住所を使用している。
- Washington州の公的扶助プログラムのいずれかによる給付を受けている。
- Washington州内の学校に通学してWashington州の住民として授業料を支払っているか、Washington州内の公立学校に通う子供の親権者である。
- 不動産に恒久的に係留されていないモーターホームまたは船舶に居住しており、以前ワシントン州に住んでいて、他の州に恒久的な住居がない。

1.5 | 新しい住民の方



18歳以上の新しい住民の方

他の州で免許を取得している新しい住民の方は、30日以内にWashington州の運転免許を取得する必要があります。他州の免許の有効期限が切れている場合は、Washington州の免許を取得する前に、運転知識試験と運転技能試験の両方に合格する必要があります。一部の免許証は再試験を受けることなく移行できます。あなたに固有の状況に関連する試験情報については、dol.wa.govで、運転者の **training and testing (トレーニングとテスト)** を検索してください。

16歳または17歳の新しい住民の方

18歳未満で他州の運転免許証をお持ちの方は、Washington州中間運転免許証 (Washington Intermediate Driver License) を申請する必要があります。DOLは他州での安全運転教育を承認しますが、少なくとも6か月間仮免許を所持していたことを確認する必要があります。運転訓練コースをWashington州に移行することについてご質問がある場合は、運転訓練学校プログラム (tse@dol.wa.gov) にメールでお問い合わせください。

身元確認

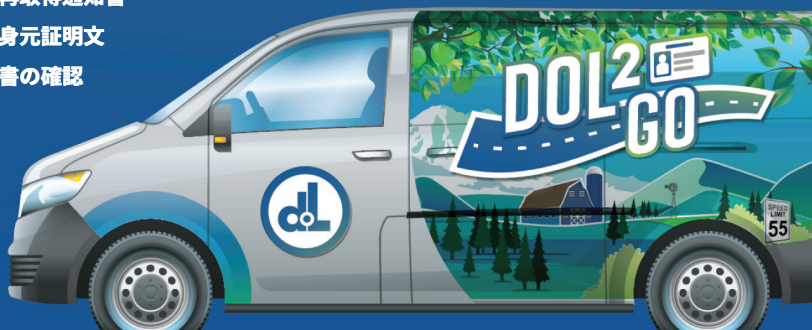
仮免許、運転免許証、身分証明書を取得するには、身元を証明する書類を提出する必要があります。

- 必要な書類を確認するには、dol.wa.govで **identification requirements brochure** (身分証明書の要件に関するパンフレット)を検索してください。
- 必要なすべての書類の原本を運転免許証事務所に持参してください。



サービス

- ・初めての拡張版を含む
Washington州運転免許証
またはIDカード
- ・州外からの移行
- ・運転免許証、仮免許証または
IDカードの更新
- ・運転記録
- ・再取得通知書
- ・身元証明文
書の確認



住居を持たない人向けの支援

ホームレス状態にある方は、IDを無料または割引料金で受け取る資格があります。公的扶助を受けている人も、IDカードを割引料金で受け取る資格がある場合があります。支援を受けるには、お近くのDSHS (Department of Social and Health Services, 社会保健サービス局) コミュニティサービスオフィスに連絡してください。dshs.wa.govにアクセスし、事務所検索機能を使用してお近くのサービスを探してください。

標準の運転免許証とID



身分証明書



自動車の運転（運転免許証のみ）



米国内飛行便への搭乗



国際飛行便への搭乗



陸上または海上の国境横断



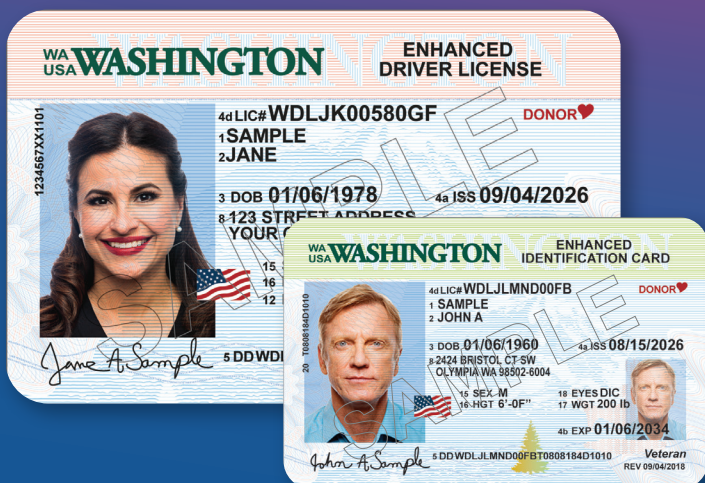
米連邦施設へのアクセス



REAL IDの基準への準拠

1.6 | 身分証明書と運転免許証

拡張版の運転免許証とID



身分証明書



自動車の運転（運転免許証のみ）



米国内飛行便への搭乗



国際飛行便への搭乗



陸上または海上の国境横断
（カナダ、メキシコ、カリブ諸島）



米連邦施設へのアクセス



REAL IDの基準への準拠

1.7 | REAL ID

REAL IDとは法律であり、実際の身分証明書ではありません。

拡張運転免許証 (Enhanced Driver License) または拡張身分証明書は、REAL IDの要件を満たすいくつかのオプションです。標準運転免許証 (Standard Driver License) は、空港のセキュリティチェックポイント、米国国境検問所、またはセキュリティ保護された連邦政府の建物へのアクセスに使える身分証明書として受け付けられなくなりました。

REALIDwa.comにアクセスして、情報ビデオを閲覧したり、どのIDが必要であるかをクイズ形式で判断したりしながら、REAL IDに関する詳細を学んで下さい。

あなたのIDを旅行対応に

REALIDwa.com



REALID



1.8 | 個人運転免許証の取得

仮免許

仮免許を申請する前に、WDLナンバーを取得しておく必要があります。

運転教習コースに登録中の場合

15歳から仮免許を申請できます。コース開始の1~10日前までに運転免許事務所またはオンラインで申請を済ませてください。記録保管のため、自動車学校にWDL番号を伝える準備をしておいてください。

運転教習コースに登録していない場合

知識試験は15歳6ヵ月になると受けられます。合格すると仮免許が発行されます。ただし、技能試験を受けて免許証を受け取るためには18歳になるまで待つ必要があります。

仮免許の有効期間は1年間であり、有料で更新できます。知識試験のスコアの有効期間は2年間です。技能試験を受けるのが遅すぎると、知識試験を再受験しなければならない場合があります。

Washington州の住民の方には、さまざまなID、ライセンス、承認が用意されています。

個人運転免許証の取得：16～17歳

運転免許証を取得するためには、以下のことが必要です。

- ・ 仮免許を少なくとも6か月間所持している。
- ・ 16歳以上でWashington州在住である。
- ・ 認可された自動車教習所で交通安全講習を修了している。
- ・ 他の州で修了した交通安全講習がWashington州の最低要件(30時間の教室内の講義と6時間の運転講習)を満たしていることを確認する。
- ・ 運転知識試験と運転技能試験の両方に合格している。
- ・ 経験3年以上の有資格の（免許を持つ）ドライバーと同乗し、最低40時間の昼間運転と10時間の夜間運転を修了している。(親、保護者、または責任ある成人がこれを証明する必要があります)
- ・ 運転免許を申請する前の6か月間に交通違反を犯したり有罪判決を受けたりしていないこと。
- ・ 仮免許での運転中に、アルコールや薬物の違反をしていないこと。
- ・ 臓器、眼球、細胞組織のドナーとして登録するかどうかを決定します。

運転免許証を直接取得するには、次のことを行う必要があります。

- ・ 運転免許事務所の予約を取る。予約はLicense Expressを通じて行うか、DOL免許証カスタマーサービス (360-902-3900) に電話して行うことができます。
- ・ 親または保護者と同伴で免許証発行事務所に行き、親の承認書に署名します。この承認書は、申請の許可を与え、最低50時間の運転経験があることを証明し、あなたが過去6か月間に交通違反や法規違反を犯さなかったことを確認するものです。親または保護者は、身分証明書とあなたとの関係を提示する必要があります。姓が異なる場合は、関係を証明する書類を持参してください。



- ・ 自動車学校がコース修了と試験のスコアを入力するまで待ちます。自動車学校は、各試験に合格すると24時間以内にスコアをシステムに入力します。通っている自動車学校が永久に閉鎖され、支援が必要な場合は、その自動車学校プログラムの内容をtse@dol.wa.gov宛にメールしてください。
- ・ 社会保障番号を提供するか、所持していない場合は宣言書に署名してください。
- ・ 本人確認書類を提示してください。
- ・ 視力検査に合格してください。
- ・ 証明写真を撮影してください。
- ・ 免許証発行費用を支払ってください。

事務所を出る前に、**45日間有効な仮免許証**を受け取ります。
正式な免許証は後日郵送されます。

運転免許証をオンラインで取得するには、次のことを行う必要があります。

- ・ Washington州の写真付き仮免許証を所持してください。
- ・ 親または保護者の許可を得てください。
- ・ 自動車学校がコース修了と試験のスコアを入力したことを確認してください。
- ・ 免許証発行費用を支払ってください。
- ・ レシートを印刷してください。（このレシートは一時的な免許証となります。写真が含まれないため、身分証明書として有効ではありません。）

公式免許証には、仮免許またはWashington IDカードと同じ写真が載ります。



個人運転免許証の取得：18歳以上

18歳以上の方は、最初のWashington運転免許証を取得するために、4つの選択肢の中から選べます。それは以下の4つです。

1. 他州からの免許証を移行する。
2. 知識試験と技能試験に合格する。
3. 知識試験に合格し、仮免許を取得し、5年以上の運転経験を持つ、有資格の（免許を持った）ドライバーと一緒に運転練習を行い、技能試験に合格する。
4. 仮免許を取得するために試験免除を受け、運転教習コースを受講し、コース修了後に知識試験と技能試験に合格する。

中間運転免許証

Washington州の16歳と17歳の方は、無制限の運転免許証が交付される前に、2つの制限付き段階の運転免許証取得手続きを経る必要があります。1) 仮免許 2) 中間運転免許証。中間運転免許証で運転する場合、以下の法律に従う必要があります。

制限	発行日から6ヶ月以内	6ヵ月以降から18歳になるまでまたは1年間が経過するまで (いずれか早い方)
同乗者	直系家族を除き20歳未満の同乗者は乗せられない	直系家族を除き20歳未満の同乗者数は3名まで
運転時間	午前1時から午前5時までの運転は、親、保護者または25歳以上の免許を持った者が同乗しない限り禁止	夜間の運転制限は、安全な運転を1年間行った後に解除される

中間運転免許証法では、ハンズフリー技術を使用するとしても、運転中の携帯電話や無線通信機器の使用は制限されています。携帯電話は緊急事態を報告する場合にのみ使用できます。

交通違反や過失衝突に対する罰則は以下の通りです。

違反	罰則
1回目	現行の制限が18歳になるまで適用される。
2回目	運転免許が、6ヵ月間が経過するまで、または18歳になるまでのいずれか早い方まで停止される。
3回目	運転免許が18歳になるまで停止される。

例外

- ・ **農業目的。** 中間運転免許証の保持者は、農業目的であれば乗客を乗せていつでも運転できます。
- ・ **1年間の安全運転。** 中間運転免許証の保持者は、事故を起こしたり交通違反を犯したりしない限り、乗客を乗せていつでも運転できます。

18歳になっても運転免許証を新しく取得する必要はありません。中間運転免許証の制限は、自動的に解除されます。運転免許証を更新するまで待ち、最新の運転免許証の物理的なコピーを入手してください。

農業用運転仮免許

農業用運転仮免許証があれば、18歳未満の運転者は農作業のために特定の地域内で運転することができます。未成年者の農業用運転仮免許証に最低年齢の要件は定められていません。

農業用運転仮免許証は、仮免許証の代わりではありません。最初の運転免許証を取得する前に、仮免許を取得し、すべての運転練習要件を満たす必要があります。農業用運転仮免許証を取得しても、Washington州で最初の運転免許証を取得するための要件が免除されるわけではありません。

早期警告書

DOLは、初めて交通違反を犯した18歳から21歳のドライバー全員に文書を送付します。初めて違反を犯したドライバーはその後、次の事故を起こす可能性が、違反していない人の2倍になります。中間運転免許保持者の親や保護者の方も、違反や事故を起こした後に同様の文書を受け取ります。その目的は、若年ドライバーが違反を繰り返した場合のリスクを認識し、再度の違反を減らすことにあります。

1.9 | 健康状態

視覚検査

DOLは運転免許証の発行前に視覚検査を行います。あなたが矯正眼鏡やコンタクトレンズを使用している場合は、免許証に記録されます。

- ・ 運転中は常に眼鏡やコンタクトレンズを着用してください。
- ・ 定期的に眼科医による目の検査を受けてください。

臓器ドナー

免許証を取得する時、臓器ドナーになることを希望するかどうか尋ねられます。希望する場合、免許証にドナーのハートのシンボル❤️が記され、あなたの情報がドナー登録簿に提供されます。



詳細な情報を得るには、LifeCenter Northwest (lcnw.org) に問い合わせるか登録簿Webサイト (donatelifetoday.com) にアクセスしてください。

医療に関する指定

あなたの障害や医療に関する指定事項を、運転免許証またはIDカードに追加するか削除することができます。指定を記しておくことで、緊急時に健康上の命に関わる症状に関する情報を第一対応者に伝えたり、知ってもらうことができます。

以下の指定を1つ以上記録に追加できます。



発達障害



聴覚障害/難聴



医療警告



1.10 | 公式の承認

二輪車または商用車両を運転するには、個人運転免許証に追加の承認を得る必要があります。詳細については、dol.wa.govで**endorsement** (承認)を検索し、知りたい種類までスクロールしてください。

1.11 | 高齢運転者

運転能力についての判断は年齢のみに基づいて行うべきではありません。それでも、視力、体力、反射神経の変化は、安全上の懸念を引き起こすおそれがあります。加齢に伴う変化を正確に評価することで、運転習慣を変えて道路上で安全を確保したり、他の交通手段を選択したりすることができます。

視力、体力、注意力、または突然の変化に素早く反応する能力に変化を感じた場合は、そのような変化があなたの安全運転能力にどのように影響しているかを理解することが重要です。「老後安全運転 (Driving Safely While Aging Gracefully)」USAA (United Services Automobile Association, ユナイテッドサービスオートモービルアソシエーション教育財団) と米国運輸省道路交通安全局 (National Highway Traffic Safety Administration) とAARP (American Association of Retired Persons, 全米退職者協会) が開発したリソースです。警告標識の認識を促し、安全運転を続けるためにできることについて役立つヒントを提供をしています。このガイドをダウンロードするには、[nhtsa.gov](https://www.nhtsa.gov) にアクセスし、ホームページ上部の検索バーで「**driving safely**」(安全運転)と検索してください。

1.12 | 個人運転免許証試験

2つの試験

運転免許証を取得する前に、2つの試験に合格する必要があります。

運転知識試験

- ・ 運転知識試験はWashington州の道路交通法の理解度を評価するものです。
- ・ 運転技能試験を受ける前に、この知識試験に合格しなければなりません。
- ・ 知識試験に合格後、2年以内に技能試験を修了します。

運転技能試験

- ・ 運転技能試験は、Washington州の道路交通法に適合する能力を評価するものです。
- ・ 試験中はあなたと試験官のみが乗車を許可されます。ただし、介助動物と手話通訳者については例外とします。
- ・ 運転試験には、合法的に使用許可を受けた登録済みの車両が使用されます。車両には、有効な賠償責任保険の証明書（保険契約者の名前または車両の説明が記載されているもの）が搭載されており、安全に運転できる状態である必要があります。ブレーキランプ、方向指示灯、シートベルトが正常に機能している必要があります。試験官は試験開始前にすべての要件を確認します。



試験を受ける

運転免許試験は2つの方法で受験できます。

- ・ dol.wa.govで**approved driver training school** (認定自動車学校)を検索することで、試験を開催する自動車学校の場所を調べる。
- ・ License Expressの運転免許証発行事務所で予約を取る。



1.13 | 運転者教習

18歳未満の新規運転者向けのコースを提供することが承認された運転教習所では、認証されたインストラクターによる**教室での指導と実地教習**が行われます。

教習所の選択肢には、民間の運転教習所や特定の地区が含まれます。認定教習所とそのサービスの地図は、dol.wa.govで「**driver training school**」(運転教習所)と検索すると見つかります。

18歳以上の方

18歳以上で自動車教習コースを修了していないドライバーは、事故に遭うリスクが高くなります。この問題に対処するため、一部の自動車学校では、18歳以上の新規ドライバー向けに成人向けの交通安全教習コースも提供しています。初心者ドライバー、米国に来て間もない人、または復習したい方は、これらのクラスを受講できます。適切な訓練とスキルの復習は何歳になっても有効です。

1.14 | 新規ドライバーの保護者の方へ

経験豊富な運転指導者がいると、新人ドライバーは大いに参考になります。指導者が若年ドライバーの学習に関与できる方法として、安全運転行動のモデル化と明確なコミュニケーションの2つがあります。

18歳未満の学生向けの運転教習コースでは、保護者向けのオリエンテーション授業を提供することが義務付けられています。このセッションに参加することで、指導者は、プログラムに習熟し、日中の40時間と夜間の10時間の運転要件についてさらに説明を受けることができます。

追加のリソースに関する情報を得るには、dol.wa.govで「**teen safe driving agreement**」（青年の安全運転同意書）と検索します。

1.15 | 運転免許証の維持

運転免許証の再発行

運転免許証を紛失、盗難、破損、または判読不能になった場合は、dol.wa.govで再発行をオンライン申請できます。また、運転免許証事務所で直接再発行を申請することもできます。

運転免許証の更新

- 失効日は運転免許証の底部に記されています。運転免許証は有効期限の1年前から更新できます。
- License Expressを通じてオンラインで更新するか、運転免許証発行事務所で更新してください。

失効した運転免許証

- 運転免許証を失効後に更新する場合は、追加料金を支払う必要があります。
- 運転免許証の失効日から8年以上経過している場合、知識試験と技能試験を再受験する必要があります。

自動車運転する権利の喪失

運転には大きな責任が伴います。常に安全運転を心がけてください。ドライバーは、以下に示すものなど、いくつかの理由で運転する権利を失う可能性があります。

- ・ 中間運転免許証の制限への違反
- ・ 未成年者でアルコール、薬物、または銃器の所持
- ・ 交通違反の累積
- ・ 免許停止または取り消し状態での運転
- ・ 法執行機関からの逃走
- ・ 飲酒運転または薬物の影響下での運転
- ・ 競走または無謀な運転
- ・ 建設作業員または救急隊員を危険に曝す行為
- ・ 未解決の交通違反召喚状の累積
- ・ 危険運転傷害罪、危険運転致死罪、またはひき逃げ
- ・ 自動車に関係する重罪を犯した場合
- ・ 保険に加入しないで運転する行為
- ・ 能力評価に不合格

詳細については、dol.wa.govで「**license suspensions**」（免許停止）と検索してください。

アルコール、薬物、銃器所持違反

未成年者が飲酒、薬物、銃器に関する犯罪を犯した場合、運転免許の取得が17歳になるまで延期される可能性があります。

運転免許証を取得する資格を再び得られる場合も、運転知識試験と技能試験を受けなければなりません（受験済みの場合を含む）。また、通常の試験料と免許発行料に加えて、再発行料を支払う必要があります。18歳未満の方は、親または保護者の同意も必要です。

飲酒運転または薬物の影響下での運転 (DUI)

Washington州内でのDUIは違法です (RCW [Revised Code of Washington, 改正ワシントン州法] 46.61.502)。DUIは生命を脅かすだけでなく、法的責任も伴います。



DUI (Driving Under the Influence, 飲酒運転または薬物の影響下での運転) は車両を操作している場合に適用され、たとえ駐車中であっても適用されます (RCW 46.61.503)。車両のエンジンまたは運転を制御する可能性がある場合、車両を物理的に制御しているとみなされます。**同意法 (The Implied Consent Law)** (RCW 46.20.308) に基づき、Washington州で運転するすべての人は、警察官が飲酒運転または薬物の影響下での運転を疑った場合、検査を受けることに同意しています。

血中アルコール濃度 (BAC)

BAC (Blood Alcohol Concentration, 血中アルコール濃度)検査は体内のアルコール濃度を測定するものです。21歳以上のドライバーの場合、BACが0.08%以上になるとDUIとみなされ、法的措置が取られる可能性があります。21歳未満のドライバーの場合、BACが0.02%になると同様の措置が取られる可能性があります。

テトラヒドロカンナビノール (THC) 大麻濃度

THC (Tetrahydrocannabinol, テトラヒドロカンナビノール)検査は体内のTHC濃度を測定するものです。21歳以上のドライバーの場合、体内の血液1ミリリットルあたり5ナノグラムを超える活性THCが検出されるとDUIとみなされ、法的措置が取られる可能性があります。21歳未満のドライバーの場合、体内の血液1ミリリットルあたり0ナノグラムを超える活性THCが検出されると、同様の措置が取られる可能性があります。

検査を拒否した場合、運転免許証は90～730日間、または21歳になるまでのいずれか長い方の期間失効します。免許停止期間は、違反回数など、さまざまな要因によって決まります。

成年（21歳またはそれ以上）	未成年（21歳以下）
BAC 0.08%以上 THC 5.00 ng以上	BAC 0.02%以上 THC 0.00 ng以上

運転歴の長いドライバーであっても、飲酒や薬物使用後は安全に運転できません。飲酒運転または薬物の影響下での運転をしないという選択をして命を救いましょう！

アルコールまたは薬物に関連する犯罪歴は、運転記録に生涯残ります。飲酒運転または薬物の影響下での運転で逮捕された場合、その罰則は厳しく、免許の剥奪、高額の罰金、刑事罰、懲役、保険料の引き上げなどが科せられます。

有罪判決には、以下の項目が組み合わされる場合もあります。

- ・ 運転する権利の90日～4年間の停止
- ・ 保護観察免許の発行
- ・ 車両を運転するために、飲酒検知式エンジンロック装置を取り付ける
- ・ 経済的責任の証明が要求される
- ・ アルコール評価および治療レポート
- ・ 運転免許の再申請、知識試験および技能試験の再受験、および再発行料金の支払い

オープン・コンテナ法

オープン・コンテナ法 (Open Container Law) は、道路上の車両に乗っている人が次の行為をした場合は交通違反とすると定めています。

- ・ 飲酒または大麻の摂取。
- ・ 開封済み、封が破られている、または一部が消費されたアルコール容器または大麻製品の所持。
- ・ ラベルのない容器またはラベルが誤って貼ってある容器にアルコールまたは大麻を隠す。

開封済みのアルコール製品および大麻製品は、車両のトランクまたはトラックの荷台に置くことでのみ輸送できます。アルコールまたは大麻の容器は、ドライバーの手が届く収納スペースに保管することはできません。

1.16 | その他のサービス

住所または氏名の変更

住所が変更した場合は、変更後10日以内にLicense Express内で情報を更新してください。氏名の変更は運転免許発行事務所で行う必要があります。

有権者登録

有権者（投票者）登録は、アメリカ合衆国国務長官 (Secretary of State) のWebサイト、sos.wa.govで、または運転免許証取得時に、行うことができます。16歳と17歳の住民の方は、運転免許証またはIDカードを申請する際に、投票の事前登録を選択できます。

選抜徴兵制度への登録

運転免許証免または身分証明書を申請する際に、米国選択的徴兵制度 (United States Selective Service System) に登録できます。詳細は、Washington州司法長官事務所 (Washington State Office of the Attorney General) のWebサイト (atg.wa.gov) をご参照ください。

双生児登録簿

運転免許証の申請時に、双生児であるかどうかを質問されます。Washington州双子登録簿 (Washington State Twin Registry) は、研究調査への参加に関心のある双生児の方を対象としています。大学は、Department of Licensingを通じて双生児を自認する人々に連絡を取る場合があります。不明な点がある場合は、wstwinregistry.org にアクセスしてください。

2



第2章 車両



2.0 | 車両サービス

免許証を持つ運転者は、道路規則に従う必要があります。また、運転する車両の要件を理解する必要もあります。車両のメンテナンスに必要な多くのサービスは、License Expressで見つけることができます。License Expressへのリンクは、dol.wa.govのホームページの右上隅にあります。(直通アドレスはsecure.dol.wa.gov/homeです) また、車両登録事務所を訪問して、直接に手続きを行うこともできます。

所有権証明書（タイトル）

Department of Licensingは、ほとんどの車両に対して所有権証明書 (Certificate of Ownership) (タイトル) を発行します。タイトルには、車両の登録所有者と法的所有者、VIN (Vehicle Identification Number, 車両識別番号)、そして銀行情報 (ローンがある場合) が記載されています。これは大切な文書です！車両内ではなく、安全な場所に保管してください。

登録

すべての車両は、Department of Licensingに登録されなければいけません。Washington州内で車両を登録するには、法律で免除されている場合を除き、運転免許証が必要です。登録の免除を申請する方は、車両登録運転免許証免除 (Vehicle Registration Driver License Exemption) フォームを記入してください。新しい住民の方は、30日以内に車両登録を完了する必要があります。他の州で購入した車両は、直ちにWashington州内で登録する必要があります。

車両を登録するには、以下の手続きが必要です。

- ・現在の所有権証明書（タイトル）
(車両の所有権証明書を紛失した場合は、発行した州に再発行を依頼してください)
- ・登録済み所有者全員のWashington州運転免許証。



タブを更新すると新しい登録書類が毎年発行されます。新しい登録ごとに署名し、車内に保管してください。

車両所在地

運転免許証に記載の住所を変更しても、あなたの車両所在地は変更されません。所在地の変更は、License Express を通してオンラインでもできますし、また車両登録事務所で直接行うこともできます。

2.1 | 車両売却報告書

個人から個人の場合

車両を売却、交換、贈与、または処分する場合は、5日以内に車両売却報告書 (Vehicle Report of Sale) を提出してください。車両からナンバープレートを外し、手数料を支払い、車両登録事務所に売却報告書を提出するか、dol.wa.gov で「**report of sale**」（車両売却報告書）と検索してください。車両売却報告書を提出しても、所有権は移転しません。車両を売却するときは、所有者が所有権証明書に署名して日付を記入し、購入者に渡す必要があります。購入者は、15日以内に、署名済みの所有権証明書を車両登録事務所に持参して所有権を移転しなければいけません。そうしないと、ペナルティーとして手数料が課されます。

販売店から個人の場合

販売店があなたに車両を販売した場合、その販売店があなたの代理人として販売報告書を提出する場合がありますが、それは販売店の義務ではありません。やはり、あなた自身が販売報告書を提出するのがベストです。





2.2 | 車両ナンバープレート

Washington州で自動車を登録した場合、ナンバープレートを自動車の前後に明確に表示しなければいけません。汚れが付いておらず読みやすい状態でなければいけません。ナンバープレートにフレームを付けることはできますが、プレートの文字、数字、タブを隠すことは違法です。

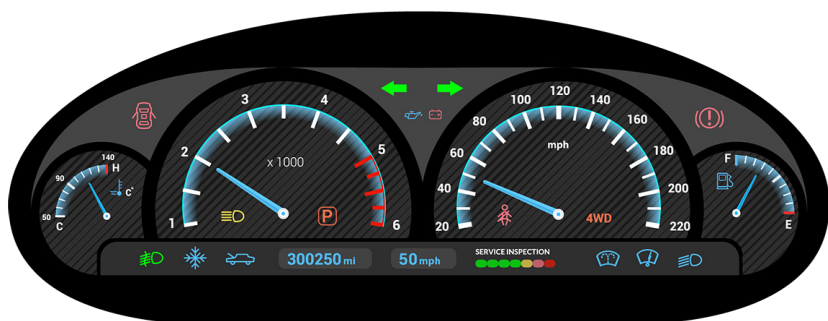
2.3 | 自動車保険への加入は必須

保険の証明書は必ず携帯するか、車内に保管しておいてください。Washington州では、賠償責任保険の証明書を所持し、携帯することが義務付けられています。証明書には、次のことが記載されていなければいけません。

- ・ 負傷者または死亡者が1名いた衝突事故の場合、1名の負傷または死亡に対して\$25,000以上が支払われること
- ・ 1度の衝突事故で2人以上が負傷または死亡した場合、\$50,000以上が支払われること
- ・ 1度の衝突事故で他人の財産が損傷されたまたは破壊された場合、\$10,000以上が支払われること



2.4 | 自分の車を知る



車両ごとに独自の特徴があります。サイズ、エンジン、安全装置、周辺機器、技術、ハンドリング特性に違いがあります。運転するすべての車のマニュアルを読むことが大切です。時間をかけて、車の基本的な構成部品をよく理解しましょう。

各種機能

車に乗った瞬間に、オートマチック式かマニュアル式かが分かります。どちらの運転にも慣れと練習が必要です。オーナーズマニュアルを読み、車両固有のシステム、デバイス、ゲージ、計器を理解しましょう。運転する前に車両の仕組みをよく理解しておけば、道路上で運転に集中できます。

調整

車両に乗るたびに、安全性、操作性、快適性のニーズに合わせて調整を行う必要があります。視界が良好になるようにハンドル、シート、ミラーを調整してください。ペダルや計器類に簡単に手足が届くようにする必要があります。



車両安全技術

自動車業界の革新と進歩の成果として、人為的ミスや危険な行動による悪影響を軽減する安全システムが開発されました。VST (Vehicle Safety Technology, 車両運転技術)およびADAS (Advanced Driver Assistance Systems, 先進運転支援システム)は、事故の発生を防ぐことで、その影響を軽減します。この2つの技術は、高度な警告や追加の警告を発することで、運転者の反応時間を改善します。VSTやADASは、健全な運転習慣がすでに身についている人を補助するものであり、運転習慣に取って代わるものではありません。車両の運転については、依然として運転者が全責任を負います。

VSTやADASが作動するとしても、システムには限界があるため、危険認識スキルと道路交通法の知識を活用する必要があります。たとえば、これらのシステムは、運転者の死角に車両がいる場合に警告を発することはできますが、2車線横から合流しようとしている車両があるかどうかを検知することはできません。また、車両に搭載されている検知技術は、車両の近くの歩行者や、滑走している人、または何かに乗っている人の存在を認識しない場合があります。州法に従い他者に道路を譲ることは運転者の責任です。さらに、センサーが汚れたり、道路上の車線が消えかかっていたりすると、テクノロジーが適切に機能しにくくなります。

あなた自身が、運転する車に備わる機能や技術をよく知ることが大切です。通知が運転の妨げになるほど天候が悪い場合を除き、これらの機能をオンにしておいてください。機能を効果的に使用できることを確認しましょう。車両に搭載されている安全技術については、車両のマニュアルを読んだり、自動車販売店に問い合わせたり、mycardoeswhat.orgにアクセスして詳しく調べることができます。



VSTとADASの主な構成部品と機能の一部を紹介します。

- 1. 衝突回避システム。**障害物を検知し、衝突を防ぐために警告を発します。AEB (Automatic Emergency Braking、自動緊急制動)、前方衝突警告、車線逸脱警告などの機能がこれに含まれます。
- 2. ACC (Adaptive Cruise Control、アダプティブ・クルーズ・コントロール)。**設定速度を維持しながら、前方の車両との距離に基づいて速度を調整し、安全な車間距離を保ちます。ACCは、一定の速度調整の必要性を減らすことで長距離ドライブ中の快適性を増大させる機能です。
- 3. レーンキープアシスト。**車線標示を監視し、車両が車線から逸脱した場合にステアリング操作を支援するか、警告を発します。意図しない車線逸脱を防ぐことで安全性が高まります。
- 4. 死角検知機能。**センサーを使用して車両の死角を監視し、隣の車線に車両がいる場合に運転者に警告を発します。車線変更中の衝突リスクを減らすことを目的としています。
- 5. 駐車支援システム。**センサーとカメラを使用して、運転者を視覚的または聴覚的にガイドし、駐車を支援します。自動縦列駐車などの機能がこれに含まれます。
- 6. 交通標識認識。**カメラを使用して交通標識を識別して解釈し、関連情報を運転者に表示します。この機能は、速度制限やその他の道路規制を常に認識するのに役立ちます。
- 7. 運転者モニタリングシステム。**運転者の行動をモニタリングし、眠気や注意力散漫の兆候を検知すると警告を発します。運転者の注意を促すことで安全性を高めます。
- 8. クロストラフィックアラート。**後退して駐車スペースから出る場合などに側方から接近する車両があれば、運転者に警告を発します。視界が何かに遮られている状況での衝突リスクを軽減します。
- 9. 自動ハイビーム制御。**対向車や周囲の状況に合わせてヘッドライトの明るさを調整します。他の運転者に不快感を与えることなく視認性が向上します。



10. 衝突軽減システム。衝突が避けられない場合に衝撃を最小限に抑えます。衝突回避の試みに加えて、衝突直前のシートベルトの張力調整や衝突後のブレーキ作動などの機能を含めることができます。

テクノロジーはあなたを支援できますが、それは、人が集中した状態で行う運転に取って代わるものではありません。運転する車両のVSTとADASの機能を詳しく知る必要はありますが、スキのない運転習慣を身につけることが重要です。



2.5 | 車両の保守点検

あなたは、車を安全に運転できる状態に保つ責任を負っています。小さな問題は時間とともに大きな問題（コストが高く付く、危険度が増す）に変わるため、車両のディスプレイに警告が表示されていないか確認してください。推奨される定期的なメンテナンスについて車のオーナーズマニュアルを参照し、インジケータライトが点灯した場合は対処してください。

タイヤ

タイヤの溝	タイヤの摩耗が激しいと、特に路面が濡れている場合に、スリップしたり横滑りしたりするおそれがあります。タイヤの溝の深さが2/32インチ（約1.6ミリ）以上残っていること。
タイヤ空気圧	タイヤの空気圧が低いと、自動車の操作性や速度に影響が出る可能性があります。 タイヤの適正空気圧は、運転席側ドアの端にあるタイヤおよび積載情報ラベルか、オーナーズマニュアルに記載されています。

車両のガラス面

- ・ フロントガラスとウィンドウを内側も外側もきれいにしておきましょう。
- ・ ウィンドウウォッシャー液を充填しておいてください。
- ・ ウィンドウのどれかに雪、氷、霜が付着していた場合、運転前に完全に取り除いてください。
- ・ ミラーに物をぶら下げたり、視界を遮るステッカーや物でウィンドウを覆ったりしないでください。
- ・ ワイパーの交換については、自動車メーカーの推奨事項に従ってください。



プロから
のアドバ
イス！

後方の車の運転者が予想していないような場所であなたが停止したり減速したりする場合、ブレーキペダルを素早く3～4回踏んで後方の車の運転者に予告しましょう。



ヘッドライト

Washington州の法律では、日没後30分から日の出前30分までヘッドライトを必ず点灯すると定められています。しかし、ヘッドライトを、以下の通りに点灯の方が覚えやすいかもしれません。

- ・ 常に点灯しておく。
- ・ 暗くなったら点灯する。
- ・ 雨や雪が降ったときや、霧や煙が発生したときに点灯する。

**ヘッドライトを点灯しておくで視界が向上するだけでなく、
他者があなたの車を認識しやすくなります！**

一部の車両には、エンジンをかけると点灯する昼間点灯が付いていますが、ヘッドライトほど明るくはなく、テールライトも点灯しません。

すべてのライトが汚れておらず、明るく、正しい方向を向き、正常に動作していることを確認してください。ダッシュボードに「ランプ切れ」のシンボルが表示されている場合は、電球を交換する必要があります。



街灯のない開けた道路ではハイビームを使用できますが、次の場合には通常のヘッドライトに忘れずに切り替えましょう。

- ・ 対向車との距離が500フィート以内に入る。
- ・ 前方の車との距離が300フィート以内に入る。

ブレーキランプ

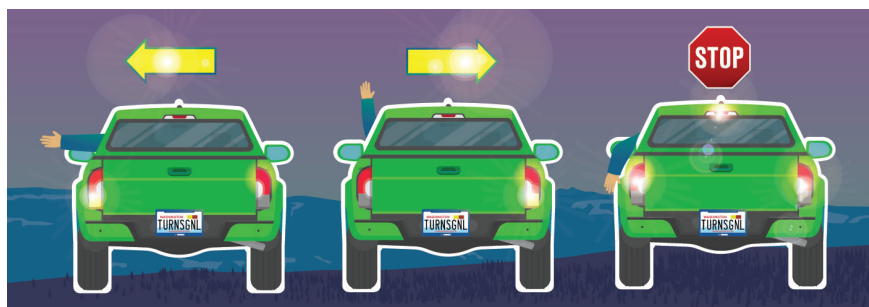
ブレーキランプが点灯することで、あなたが減速して停止の準備をしていることが後方の車に伝わります。ブレーキランプは赤色で、100フィート（30メートル）離れた所からでもはっきりと見える必要があります。

ブレーキランプが点灯できない場合は、手信号を出します。左腕を運転席側の窓から出し、指を地面に向けることで、後方の車に減速して停止の準備をするように伝えます。

ウインカー

周りに誰もいない時でも、方向転換する前に必ず合図を出す習慣をつけましょう。

- ・ 曲がる100フィート前に合図を出します。
- ・ 曲がった後は、ウインカーの点滅を必ず止めます。



手信号

片側または両側のウインカーが機能しない場合は、手信号を出して他の運転者に自分の行動を知らせます。

停止

左腕を運転席側の窓から出し、指を地面に向けます。後方の車に減速して停止の準備をするように伝えます。

左に曲がる

左腕を窓から出し、指をまっすぐ左に向けます。

右に曲がる

左腕を窓から出し、腕を上曲げ、指で空を指します。

ハザード警告灯

車が故障したり、緊急停止したりする必要がある場合は、ハザード警告灯を明滅させます。これにより、他の運転者が状況を把握し、安全にあなたの車を迂回できるようになります。

運転席

- ・ フロントガラスから外がよく見え、ペダルに簡単に足が届くようにシートを調整します。
- ・ シートのリクライニングを調整して、快適にまっすぐ座れるようにします。エアバッグを展開させるスペースを確保するため、胸とハンドル間の距離を10インチ（25cm）以上とる必要があります。
- ・ 肘を軽く曲げてハンドルを握れるようにハンドル位置を調整します。
- ・ むち打ち症にならないように、ヘッドレストが耳の高さにあることを確認します。

他の人が運転した後にハンドルを握る場合は、あなたが快適で安全を保てるように調整してください。



2.6 | 乗員保護

シートベルトと乗員保護

あなた自身を守るためにできる最も効果的なことは、シートベルトを正しく締めることです。シートベルトを着用すると、衝突時に致命傷を受けるリスクが大幅に低下します。乗車時は必ず自分のシートベルトを締め、すべての乗員がシートベルト、チャイルドシート、または補助シートを正しく使用していることを確認してください。



カチャ!



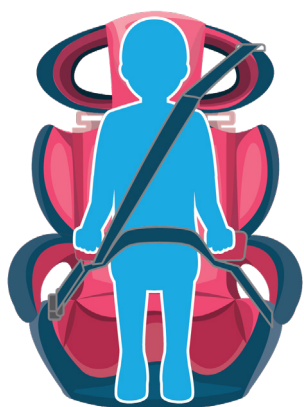
シートベルトは胸の真ん中を通るように調整してください。絶対に背中や脇の下に通さないでください。ショルダーベルトが肩と胸にぴったりとフィットし、首や顔に当たらないようにしてください。腰ベルトは腹部の下の腰をしっかりと緩みなく固定する必要があります。車を走行させている時、乗員は全員シートベルトを着用するか、認可されたチャイルドシートにしっかりと固定する必要があります。

シートベルトを着用しない、またはチャイルドシートを使用せずに車両を運転したり乗車したりすることは違法です。RCW (Revised Code of Washington, 改正ワシントン州法) 46.61.687およびRCW 46.61.688



シートベルトがねじれていないこと、腰ベルトが太ももの上部にかかっていること、クロスボディストラップが肩の首側にかかっていることを確認してください。膝がシートの端で曲がり、足が床に着き、ヘッドレストが耳の位置に来るように調整してください。

チャイルドシート



お子様と一緒に旅行するときは、必ず年齢とサイズに合った正しいチャイルドシートを使用して保護してください。

チャイルドシートは連邦自動車安全基準 (Federal Motor Vehicle Safety Standards) に準拠し、車両およびチャイルドシート製造元の指示に従って車両に固定する必要があります。

子供の車内安全を専門とする国家認定資格を保持した技術者にチャイルドシートの取り付けを確認してもらうことができます。

詳細情報と安全点検を受け付けている場所については、wacarseats.com をご覧ください。

お子様の成長に合わせて、シートの固定を調整して最良の保護状態を保ちましょう。



後ろ向きシート

2歳未満の子供は、後ろ向きのチャイルドシートに乗せなければいけません。

対象年齢：2歳未満



前向きシート

2～4歳のお子様は、後ろ向きまたは前向きのハーネス付きチャイルドシートに乗せなければいけません。

対象年齢：2～4歳



ブースター（補助シート）

4歳以上の子供は、車のシートベルトが正しく装着できるようになるまで、チャイルドシートまたはブースター（補助シート）を使用しなければいけません。通常、8歳から12歳の間に適合できるようになります。

対象年齢と身長：4歳から4フィート9インチになるまで



シートベルト

シートベルトを着用できる年齢と身長に達した方は全て、適切にフィットしたシートベルトを着用しなければいけません。

身長：4フィート9インチ以上

エアバッグ

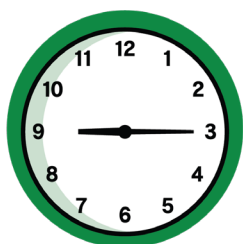
エアバッグとシートベルトは、衝突時に安全を守るために連動して機能します。エアバッグが展開したときにシートベルトを着用していないと、重傷を負うか死亡する危険があります。また、エアバッグは、13歳未満の子供を前の座席に絶対に乗せてはいけない理由でもあります。エアバッグが展開すると、前の座席に座った子供は重傷を負ったり死亡したりする可能性があります。



2.7 | ハンドル操作



両手をハンドルの外側上半分に置いてみましょう。最もハンドルを操作しやすくなるはずです。



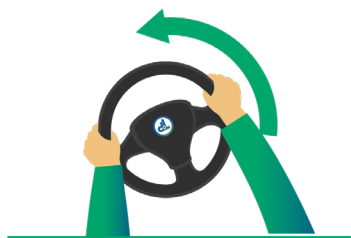
ハンドルを時計だと想像してください。各時刻は、ハンドルを握る位置を表します。上のイラストでは、運転者の手は9時と3時の位置に置いてあります。

スムーズで途切れのないハンドル操作を実現するための3つの旋回方法があります。

ハンド・ツー・ハンド・ステアリング(交互手操作) (プル/プッシュ)



この方法で操作する場合、両手を9時と3時または10時と2時の位置に置きます。



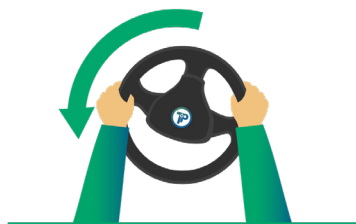
曲がるときは、手の位置を保ちます。左のイラストでは、運転者はハンドルを左手で引き、右手で押しています。



手と手が交差しないため、エアバッグが展開しても顔、手、腕を負傷する可能性が低くなります。



両手はハンドルから離さず、それぞれの側に置いたままです。片方の手でハンドルを握り、回します。もう片方の手はスライドして、ハンドルを握る手と反対側に留まります。



ハンド・ツー・ハンドテクニックでは、両手をハンドルに置いたままにできるので、必要な変更を即座に行うことができ、かつ両腕をエアバッグ領域から離すことができます。

ハンド・オーバー・ハンド・ステアリング (交差手操作)



このステアリング方法は、低速で曲がるとき、視界が限られているとき、交差点に入るとき、車を駐車するとき、またはスリップから回復するときに使用します。



この方法で操作する場合、最初に両手を9時と3時または10時と2時の位置に置きます。



曲がる場合は、一方の腕をもう一方の腕の上に交差させてハンドルを握り、適切に引いて操作します。



ハンドルの上で手の位置を変えられるように、下から手を離します。



スムーズに曲がった後、ハンドルをまっすぐに戻します。



ワンハンドステアリング (片手操作)



バックするときや、ハンドルから手を伸ばす必要がある車両の操作（ワイパー、方向指示器、ライトなど）をするときは、ワンハンドステアリングを行います。

後進時に片手をハンドルに置くことは、車両のバランスを取りハンドルを操作する時に重要です。

12時の位置に手を置くのは、車両をバックさせる場合にのみ推奨されます。この状況では、体を後ろにひねり、後ろの走行経路を確認します。

2.8 | ブレーキ制御

優れた車両の操縦性は、速度と空間を常に正確かつスムーズに管理できるかどうかにかかっています。

ブレーキ圧

どれだけの強さでブレーキをかけるか判断することは重要なスキルです。練習を重ね、運転する車両に慣れるにつれて、このスキルは向上します。ブレーキングには4つのレベルがあります。

1. 弱
2. 中
3. 強
4. 緊急



弱ブレーキと中ブレーキのみを使用するのが理想ですが、必要に応じて、いつでも強ブレーキまたは緊急ブレーキをかけられるように備えます。ブレーキングのテクニックとして、膝の上に水の入ったコップを置き、こぼれないようにブレーキをかけることをイメージしてみましょう。

また、後方の車両のことも考慮してください。必要もないのに強ブレーキまたは緊急ブレーキをかけると、スムーズに停止することを想定していた後方の運転者たちを驚かせる可能性があります。

アンチロック・ブレーキシステム

車両のABS (Antilock Brake System, アンチロック・ブレーキシステム) は、緊急ブレーキが必要な状況でも運転者がハンドルを操作できるようにすることで、重要な安全上の利点をもたらします。ABSが作動しても停止距離が短くなるわけではありませんが、ハンドル操作をより適切に行うことができます。ABSが作動すると、車両が少し揺れていると感じることがあります。

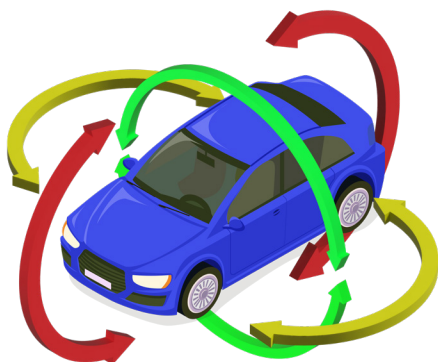
広く舗装された障害物の無い場所で、強ブレーキや緊急ブレーキの練習をしてください。ブレーキを強く踏んで、ABSが作動して車輪のロックを防いでいるのを感じてください。

2.9 | アクセルペダルの制御

スムーズに運転するには、さまざまな速度域でのアクセル操作に慣れ、快適に運転する必要があります。渋滞に入った時は、ブレーキペダルを離すだけで加速できる場合があります。危険を回避するために急加速しなければならない場合があります。加速のテクニックはブレーキングに似ています。膝の上に水の入ったコップが置いてあると想像し、水をこぼさなように加速します。



2.10 | 車重のバランス



車両が動き出すと車重のバランスが少し変わるのは自然なことです。車両の安定性を維持するには、すべてのタイヤに車重を均等に分散させます。定期的なメンテナンス、適正なタイヤ空気圧、そしてタイヤの角度や向きの調整がこれを助けます。



ピッチ（縦揺れ）

テーブルの上に手を平らに置いてみましょう。指を上げると手首にかかる圧力が増すのを感じるはずです。次に指をテーブルに置き、手首を持ち上げます。この前後の荷重の動きは「ピッチ」と呼ばれます（イラストでは矢印で示されています）。

車両を加速させると、車重が後方に移動し、車両の後部にかかる圧力が増します。急停止すると、車重が前方に移動し、車両の前部にかかる圧力が増します。



ロール（横揺れ）

テーブルの上に手を平らに置いてみましょう。小指をテーブルにつけたまま、親指を空に向くように手を動かします。次に、親指をテーブルにつけるように手のひらを返します。車両のこの左右の動きは「ロール」と呼ばれます (上の矢印で示されています)。

左折する時、遠心力によって重量が車両の外側または右側に移動します。車体は片側にロールします。



ヨー(横方向の回転または横滑りの動き)

続けてテーブルの上に手を平らに置きます。指は左、手首は右に動かします。次に、テーブルに向かって手を振るように手首を動かしてみましょう。これは「ヨー」と呼ばれます (上のイラストの矢印で示されています)。

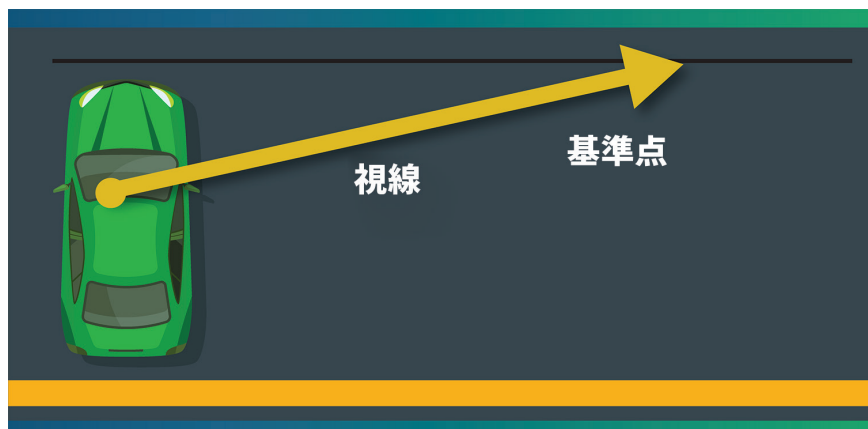
ハンドルを左右に大きく切ると、車両の前輪と後輪が完全な一直線に並ばなくなります。前輪はハンドルを切った方向に向きますが、後輪は少し滑り、車両がジグザグに動くことがあります。

2.11 | 車両基準点（目印）

基準点は運転している車両と走行している道路によって異なります。車両の基準点を把握しておくと、駐車、方向転換、後進、停止の際に距離を測りやすくなります。

車両基準点の例

- ・ ヘッドライトの左側
- ・ ボンネット中央
- ・ サイドミラー
- ・ リアバンパー



交差点では、停止線がサイドミラーの下にあるときに停止すると、車両が停止線から約3～6インチ（7.6～15.2cm）離れていることになります。この基準点は、車両の前端の位置を判断する参考になります。



車線内での位置を判断するには、ボンネットの中心が車線と一直線上にあることを確認します。一直線になっている場合、車線端から約3～6インチ離れていることになります。

2.12 | 死角

死角とは、運転席からは見えない車両周辺の領域のことです。他の車両、バイク、自転車などがこの領域内に完全に隠れてしまう可能性があるため危険です。運転者は、死角にあるものすべてに注意する責任を負います。

死角を減らす方法の1つは、ミラーの角度を調整することです。

1. 背伸びをしなくても後部ウィンドウが見えるようにバックミラーを調整しましょう。
2. 死角を最小限に抑えるために、従来の方法と拡張された方法の2通りでサイドミラーが調整できます。どちらの方法でも、車両周辺の空間を目視で完全に確認する必要があります。頭、首、体を動かして、死角に隠れているものがないかを両目で確認できるようにします。頭を回して見るときは、ハンドルをまっすぐに保ってください。
3. 一部の車両安全技術システムには、死角に何かがいる場合に警告を発する機能があります。この補助機能は役に立ちますが、自分の目で確認する習慣をつけましょう。

2.13 | その他の車両の死角

周囲の状況を把握するために、次の領域をこまめに確認してください。

- 1. あなたの前の空間
- 2. リアビューミラー
- 3+4. サイドミラー
- 5+6. 肩越しに見る



周囲をよく見渡す

他の車両の死角にも注意する必要があります。他の車両の死角には入らないように最良の運転をしましょう。運転者があなたをはっきりと見ることができるように、速度を調節します。

バス、キャンピングカー、商用車などの大型車両には特に注意してください。No Zones (ノーゾーン)と呼ばれることもある大きな死角があります。そのゾーン内に車両が入るべきではないために、このような名前が付いています。

大型車両の周りを走行するときは、深く注意を払ってください。あなたから他の車のミラーが見えなければ、その車のドライバーはあなたを見ることができません。



気を抜かない

周囲で起こっていることすべてに注意する必要がある。運転状況の変化を見逃さないよう、常にミラーを確認する。

最適化する

死角ができるだけなくなるようにミラーを調整。運転前に毎回ミラーを再確認。



2.14 | 出発する前に

運転する準備が整ったら、次のことを習慣として実践しましょう。

1. **車両の外側を点検する。**タイヤに異物が入っていないか、ガラスが割れていないか、車の下から液体が漏れていないか。その他の障害物、子供、ペット、天候により発生した障害物はないか
2. **車内を点検する。**計器パネルに警告が表示されていないか。ウィンドウに視界を遮る物が付いていないか。固定されていない物が安全に置かれているか。
3. **車内の調節できる物をすべて点検する。**ミラーが自分に合わせてセットされているか。シートとハンドルは正しい位置にあるか。シートベルトを締めたか。携帯電話はサイレントモードに切り替え、しまっておいたか。
4. **自分自身を確認する。**体調が良く、頭がすっきりしているか。運転に集中できる状態になっているか。運転中に賢い選択ができるよう、感情をコントロールできているか。





第3章 ドライバー



3.0 | ドライバーとしての要件

ドライバーは、様々な車両、道路、人々を包含するコミュニティの一部です。このコミュニティの調和は、ドライバーが環境や他の人々に配慮しながら安全に、かつ責任を持って運転できるかどうかにかかっています。あなたの運転には多くの個人的な要因が影響しますが、ほとんどの人に共通する目標は安全に目的地へ到着することです。

優れたドライバーになるためには、以下の要件を満たす必要があります。

1. 自分自身や他人、そしてコミュニティに与える影響に注意を払うこと。
2. 道路交通法に対して責任を持つこと。
3. 自分の車のメカニズムや、どのように空間を占有するかを理解していること。
4. 忍耐強く、冷静であること。

長期間にわたって良いドライバーになれるかどうかは、学習の過程でどのような習慣を身につけるかにかかっています。このことを意識して学習に取り組みましょう。死角を確認するために常に肩越しに振り返るといった、賢明で安全な習慣を身に付け、それらが自然にできるようにしましょう。そうすることで、常に変化する運転環境により集中できるようになります。最初は緊張するかもしれませんが、運転経験を重ねるほど、より良いドライバーになることができますでしょう。

健康

運転には、身体的にも精神的にも健康であることが求められます。

健康は、日々のストレス要因に影響されやすいものです。ひどい風邪は、思考の働きを鈍らせ、身体の痛みを引き起こすことがあります。頭痛や肩のこりは、自動車の運転能力を低下させるおそれがあります。ストレスは運転中に賢明な判断を下す能力に影響することがあります。様々な健康状態が運転に影響する可能性があるのです。健康状態が運転能力に影響する可能性があるかもしれないと心配になった場合は、医師に相談してください。



エンジンをかける前に、自分の健康状態を確認する時間を取りましょう。自分の健康状態が賢明な判断、セルフコントロール、状況認識を行える状態にあるでしょうか？深呼吸を数回して、運転に集中しましょう。体調が優れないにも関わらず出かける必要がある場合は、他の人に運転してもらってください。

身体的な健康

あなたの身体的な健康は優先事項の1つです。それは、安全かつ有能なドライバーであるための能力に直接影響を及ぼします。ハンドルを握る前に、自身の健康状態が良好であり、**アルコールやその他の薬物の影響を受けていない**ことを確認してください。

視力

安全運転において視力は非常に重要であるため、法律では、運転免許を取得する前に視力検査に合格することが求められています。はっきりと見えない場合は、交通上の危険を察知したり問題に対応したりするのが難しくなります。よく見えることは、安全運転にとって重要です。

矯正レンズを着用する必要がある場合：

- ・運転の際には必ずそれらを着用してください。
- ・夜間は、暗色や色付きの矯正レンズの使用を避けてください。

視力の重要な側面：

- ・**周辺視野**。前方を見ている間でも、視界の端で車両やその他の潜在的な危険を察知できる能力。
- ・**距離とスピードの判断**。よく見えることで、他の車両や歩行者、その他の危険物までの距離を正確に判断できます。



夜間視力

暗い中を運転しているとき、対向車のヘッドライトのまぶしさに悩まされるドライバーもいます。夜間視力に問題がある場合は必要以上に運転せず、運転する際は十分に注意してください。

- ・ヘッドライトが点灯していることを確認します。
- ・対向車のライトのまぶしさを避けるために、道路の右端を見てハンドル操作の目安にします。
- ・ヘッドライトの照準が合っていることを確認します。照準がずれているヘッドライトは、他のドライバーの視界を妨げるだけでなく、自身による道路の視認性も低下させます。
- ・速度を落とし、前の車との車間距離を空けます。ヘッドライトで照らされている範囲内で停止できるようにしておく必要があります。

聴力

クラクション、サイレン、タイヤの軋む音などによって、運転の方向が決まったり危険が警告されたりすることがあります。視力障害と同様に、聴力障害も徐々に進行するため、気づきにくいことがよくあります。聴覚障害がある（難聴の）ドライバーは、より視覚を利用することを学び、より注意深くなることで通常、適応できます。

音声を聴いたり雑音を遮断したりするイヤərbッド、イヤホン、ヘッドホン、ヘッドセットを装着して車両を運転することは、法律で禁止されています。

Washington州行政規則(Washington Administrative Code)204-10-045に準拠しているハンズフリー機器は、片耳で使うことが許可されています。

注意：仮免許証または中間免許証を所持している場合は、たとえハンズフリーであっても携帯電話やその他のモバイル電子機器を運転中に使うことはできません。



無事に帰宅しました!

私も! ♥♥♥

同じ気持ちです。楽しい夜でしたね

安全に家に帰れるように。
飲酒を控える運転計画を出か
ける前に立てておきましょう。



TOGETHER
WE GET
THERE



3.1 | 影響下運転

影響下運転とは、正常に考えたり、素早く反応したり、車を制御することを困難にする要因がある場合の運転を指します。影響の要因としてはアルコール、薬物、疲労などがあります。これらのどれも、あなた自身、同乗者、および道路上の他の人びとを危険に曝す可能性があります。

アルコールや薬物による影響下運転に対する罰則は非常に厳しく、高額な罰金、保険料の上昇、免許の停止または取り消し、さらには懲役刑にまで及ぶことがあります。

たとえ経験豊富なドライバーであっても、アルコールを飲んだり薬物を使用した後では、安全に運転することはできません。決してアルコールや薬物の影響下で運転しないという選択をすることは、あなた自身と他人の命を救うことにつながります。

飲酒と運転

アルコールは、影響下運転による交通事故に最も頻繁に関係している物質です。他のドライバーの影響下運転の行動に注意し、十分な車間距離を取ってください。

アルコールは、ドライバーに以下のような影響を及ぼすことがあります。

- ・ 弛緩や眠気
- ・ 視界のぼやけや視力の低下
- ・ 反応時間、集中力、周囲を確認する能力の低下
- ・ 状況を理解するのが困難になる
- ・ 車線を維持しながら他の交通を避けるなど、複数の作業を同時に行うことが困難になる
- ・ 交通ルールを守ることができなくなる
- ・ 自信過剰となり、運転行動が危険になる可能性がある



以下を励行してください。

- ・ 酩酊物質を摂取したら、どんな車両も運転しない。
- ・ どんな種類や量であっても、酩酊物質を摂取したドライバーの車には同乗しない。
- ・ 友人や家族がアルコールを飲んだり薬物を使用した場合は、運転させない。
- ・ 酩酊していないドライバーをあらかじめ確保する

大麻と運転

マリファナ、THC (Tetrahydrocannabinol, テトラヒドロカンナビノール)、その他の大麻製品（食用、パッチ、電子タバコ、チンキ剤、外用薬）の娯楽目的での使用は、21歳以上の場合は合法ですが、大麻を摂取した後に運転することは、いかなる年齢においても違法です。

「運転しても安全な量の大麻」というものは存在しません。

研究によると、大麻は、さまざまな形でドライバーの能力を低下させます。

- ・ 注意力、反応時間、協調運動能力の低下
- ・ 車の操作能力の低下
- ・ 反応時間の遅れ
- ・ 距離を正しく判断できなくなる
- ・ 眠気が増す
- ・ 身体の動きの調整が効かなくなる
- ・ 精神的および身体的機能の低下



医薬と運転

運転に影響するものには、さまざまなものがあります。

影響下運転は通常、アルコール、大麻、または違法薬物の使用と関連しています。しかし、市販薬や処方薬など、合法的に入手され広く使用されている医薬の多くも、安全に運転する能力に影響を与えることがあります。

- ・薬が合法であるからといって、運転中に使用しても安全とは限りません。
- ・影響下運転は犯罪行為です。その薬が処方薬か薬局・小売店の市販薬、あるいは違法薬物とみなされるもののいずれであるかは一切、関係ありません。

頭痛、風邪、アレルギーのために服用する市販薬でも眠気を引き起こすことがあり、それが運転に影響を及ぼす可能性があるためです。アルコールと同様に処方薬も、反射神経、判断力、視力、注意力に影響を及ぼすことがあります。

処方薬を初めて服用した場合、新しい処方薬を使い始めた場合、または現在使用している薬の服用量を増やした場合は、運転しないこと。その薬があなたの判断力、協調運動能力、反応時間にどのような影響を及ぼすかが分かるまで、運転は控えること。医師または薬剤師と相談すること。運転の前に注意書きを全て読むこと。「重機を操作しないように」という警告は、車の運転も対象にしています。

ある薬は、単独では影響が出なくても、別の薬やアルコールと併用すると深刻な能力低下を引き起こすことがあります。多くの薬はアルコールの作用を増幅させたり、他の副作用を引き起こしたりします。お酒を飲みながら薬を服用する場合は、事前に薬の注意書きをよく読むか、薬剤師に相談してください。



多剤摂取と運転

多剤摂取とは、複数の種類の薬物を混ぜて使ったり、同時に使用したりすることを意味します。アルコール、大麻、その他の薬物を組み合わせて使用すると、単独で使用した場合よりも強い影響を引き起こすことがあります。組み合わせられる薬物としては、アルコール、大麻、違法薬物、処方薬、市販薬、さらには規制されていない薬物や吸入剤などの物質があります。多剤摂取は、死亡事故に関係する最大の能力低下原因です。

多剤摂取の影響は、人によって異なり、薬物の量、使用頻度、摂取方法によって左右されます。多剤摂取は、過剰摂取のリスクの増加、メンタルヘルスの問題、危険な行動、重大な怪我、交通事故などを引き起こす可能性があります。

疲労と眠気を伴う運転

疲労は、身体的または精神的緊張、反復作業、病気、または睡眠不足によって引き起こされます。疲労は、アルコールや薬物と同様に視力や判断力を低下させます。

眠気を伴う運転は、注意力、集中力、反応時間、判断力、意思決定能力に悪影響を及ぼします。疲労した状態で運転すると、運転中に眠り込む危険があり、怪我や死亡につながる事故を引き起こす可能性があります。

疲労には、いくつかの兆候があります。**以下のような状態であれば、車を停めて休憩してください。**

- ・集中できない、または直近の数マイルの運転の記憶がない場合。
- ・瞬きが頻繁になる、または瞼が重く感じる場合。
- ・頭を上げているのがつらいと感じる場合。
- ・出口や交通標識を見逃す場合。
- ・落ち着かず、イライラしたり、攻撃的な気分になる場合。
- ・車線をはみ出す、蛇行運転になる、前の車にぴったり付く、またはランブルストリップスに乗り上げる場合。





同乗者がいる場合は、交代で運転しましょう。一人で運転しているときに疲労を感じた場合は、安全な場所に車を停めて、20分間の仮眠を取ってください。交通事故の危険を冒すよりも、車を停めて眠る方が良いです。

長距離運転を行う前の注意事項：

- ・十分な睡眠を取ること — 多くの成人は注意力を保つために7～9時間の睡眠が必要とされています。
- ・長距離運転をする際は、約160キロメートル（100マイル）または2時間ごとに休憩を取ることが推奨されています。
- ・少し歩き回り、新鮮な空気を吸って、少量の水を飲みましょう。長距離運転をする場合は、十分な休憩時間を入れた計画を立てましょう。
- ・旅行中の同乗者を手配しておくことで、注意力を保ち、問題を早期に発見してもらい、運転を分担することができます。

メンタルヘルス

感情は運転に影響を及ぼします。自分の感情が行動にどのように影響するかを理解すると、より良い判断ができるようになります。

たとえば、運転中に不安を感じていると、気が散ってアクセルを踏みすぎてしまうかもしれません。自分の感情（不安）が、行動（スピードを出す運転）に影響を与えているのです。



以下は、運転を始める前に落ち着いてストレスを和らげるためのいくつかの方法です。これらは、停車した車の中で座って行ってください。

1. 鼻から息を吸い込み、熱いスープを冷ますように口からゆっくり吐き出しましょう。
2. 1から20までゆっくり数えるか、100から3ずつひきながら逆に数えてみましょう（100、97、94、91、88...）頭の中の雑念を静めるために、数字だけに意識を集中しましょう。
3. 長距離運転のための時間は、余裕を持って割り当てましょう。自分自身にも、また他者に対しても我慢強くなりましょう。

感情への気づきは、道路上での他者への忍耐と敬意を促し、より安全な運転行動を育みます。

攻撃的な運転

攻撃的な運転は交通違反です。

攻撃的な運転とは、ドライバーが意図的に他人やその所有物を危険に曝す行為のことです。

以下のような行動は、攻撃的な運転と見なされます。

- ・他人やその所有物に危害を加えるおそれのある運転中の行為
- ・意図的な行為により、他人が自分の身を守らなければならないようになること

攻撃的な運転に関連する行動としては、以下のような例が挙げられます。

- ・スピード違反
- ・十分な車間距離を取らず、前の車の直ぐ後ろに着いて走る行為
- ・危険な車線変更
- ・不適切な方向指示
- ・交通規制標識に従わない行為
- ・道路を歩行しているか自転車で走行している人に対して、車を過度に接近させて運転する行為



運転に集中してください。交通社会を無視した個人的で攻撃的な運転を行わないようにしてください。他の道路使用者に対して、我慢強く許す姿勢を持ってください。

レースと路上デモ

ストリートレースや無許可の路上デモは非常に危険であるため、罰則が厳しくなっています。これらの罰則は、ドライバーだけではなく、ストリートレースを扇動したり支援したりする全ての者にも適用されます。有罪となった参加者は、罰金や懲役刑を科される可能性があり、車両を押収される可能性もあります。

ロードレイジ（あおり運転）

ロードレイジは刑事犯罪です。

ロードレイジとは、道路上での出来事に対する怒りの反応から、車両やその他の武器を用いた暴力的な行動に至ることを意味します。ロードレイジは、ある車両のドライバーや同乗者が、他の車両のドライバー、同乗者、または道路利用者に対して起こすものです。

ストレス、過密なスケジュール、渋滞、運転とは関係のない不満など、さまざまな要因がロードレイジの原因となることがあります。移動には十分な時間の余裕を持ち、自分の車の周囲に安全な間隔を確保し、他人に対して寛容な態度を心がけましょう。



ロードレイジを経験した場合

以下のような状態であれば、ロードレイジを行う感情を抱いている可能性があります。

- ・道路上の他人に対して強い非難や暴力的な考えを抱いている場合。
- ・車内の同乗者に対して、道路上の他人を言葉で非難している場合。
- ・交通安全法規に納得できないという理由で、それに従わない場合。
- ・十分な車間距離を取らず、前の車の直ぐ後ろに着いて走る行為
- ・スピード違反
- ・交通の中を縫うように走行する行為
- ・信号に間に合わせようとしてスピードを上げる行為
- ・車線変更するために車の間に割って入る行為
- ・過度にクラクションを鳴らす行為
- ・対向車に対して過度にヘッドライトを光らせる行為
- ・後ろのドライバーが車間距離を詰めすぎているのを妨げるために、ブレーキをかける行為
- ・他のドライバーに教訓を与えるために、追い越した後で故意に減速する行為

ロードレイジの被害者になった場合

周囲のドライバーが怒りに任せて行動したり反応したりしているのを見かけたら、物理的にも精神的にもその状況から距離を取りましょう。

- ・深呼吸して、その場を去りましょう。
- ・攻撃的なスピード違反、クラクションの多用、手によるジェスチャーなどは避けましょう。
- ・視線は常に道路に向けておきましょう。
- ・他のドライバーに尾行されたり嫌がらせを受けていると感じた場合は、他の人がいたり営業中の店舗があったりするエリアに車で向かいましょう。必要ならば警察を呼びましょう。



ロードレイジを報告する

進行中のロードレイジ事件を目撃した場合は、直ぐに911に通報してください。

ロードレイジや攻撃的な運転の発生を減らすことは、Washington州警察(Washington State Patrol)の使命にとって極めて重要です。州の警察官や他の法執行機関が攻撃的な運転がないかを常に見張っていますが、Washington州の交通安全の向上は、住民が行動を起こすことによって進みます。

攻撃的な運転を目撃した場合、またはその被害に遭った場合は、911に通報して以下の情報を提供してください。

- ・ 車両が最後に目撃された場所
- ・ プレートナンバー（分かる場合）
- ・ 車両の進行方向（どちらに向かっていたか）
- ・ 一般道だったのか、高速道路だったのか
- ・ 車両の色
- ・ 使用されていた武器（該当する場合）
- ・ 事件の概要
- ・ 事件における役割（被害者なのか、目撃者なのか）

3.2 | 道路上での十分な情報に基づいた判断

安全で責任あるドライバーであるためには、交通ルールを知っているだけでは不十分です。運転中に直面するあらゆる状況で、十分な情報に基づいた判断を下すことができなければいけません。自覚しているかどうかに関わらず、誰でも毎日何千もの判断を行っています。最も重要な判断のいくつかは、ハンドルを握っているときに行うことになります。



十分な情報に基づいた判断が重要な理由

車線変更から高速道路への合流に至るまで、車のハンドルを握って行う行動は、どの1つを取っても判断が必要です。十分な情報に基づいた判断を下すということは、行動を起こす前に関係するすべての要素を考慮することを意味します。こうすることによって、自分自身にも他者にも、よりスムーズで安全な運転ができるようになります。十分な情報に基づいた判断によって、以下が可能になります。

1. **周囲への注意力を高めることができます。**十分な情報に基づいた判断を下すためには、常に周囲の状況を分析し続けることが求められます。これにより、全体的な状況認識能力が向上します。
2. **責任ある運転行動が促進されます。**自分の選択がもたらす結果を理解することで、責任ある行動が促されると共に他の道路利用者への敬意を持つようになります。
3. **衝突事故が減少します。**起こり得る問題を予測することで、衝突事故のリスクを減らすことができます。

十分な情報に基づいた判断は、以下のものから影響を受けます。

- ・ 道路交通法の知識
- ・ 安全な運転習慣の経験
- ・ 年齢や脳の発達に基づく能力

10代のドライバーは、判断や意思決定をつかさどる脳の部分が、まだ発達途中であることを理解しておく必要があります。これは、10代の若者がリスクを取りやすかったり、状況を誤って判断しやすかったりする可能性があることを意味します。すべてのドライバーは、スピードや周囲からのプレッシャーよりも、安全を最優先にした判断を下す必要があります。これは、10代に関しては特に当てはまります。

高齢のドライバーは、年齢と共に身体的・精神的な能力が変化することを自覚しておく必要があります。高齢のドライバーは交通事故で重傷を負いやすい傾向がありますが、多くの人は高齢になっても安全かつ可能な運転を続けています。年齢や経験に関係なく、すべてのドライバーはハンドルを握るたびに、集中して注意を怠らないことを誓わなければいけません。



的確な判断をする

適格な判断とは、十分な情報に基づいた判断です。適格な判断を下すためには、自分の周りで何が起きているのかを認識していなければいけません。

1. ミラーをチェックして、十分な情報に基づいた判断ができるようにしましょう。自分の判断が影響を与える可能性のある周囲の人々を含め、状況全体に注意を払いましょう。自分の意図を周囲の他者に伝えることで、その人がこちらの意図を理解し、準備できるようにしましょう。
2. 危険に差しかかる際には道路上の正しい位置と適切な速度で到達するよう、車両を準備しておきましょう。
3. 運転する前に最終チェックを行いましょう。

このアプローチは、あなたが変更を加えなければならないどのような状況にも適用可能です。常に、状況を把握し、先を予測し、スムーズな運転を心がけましょう。

3.3 | 路上での問題解決

予期せぬ状況は避けられないため、それに対応するための問題解決が必要になります。路上での問題解決には、以下のような思慮深い変更が必要となる可能性があります。

- ・スピードの調整。
- ・リスクを軽減し、危険を回避するための車線の位置調整。
- ・状況を再評価するために安全な場所に移動できるよう、進行方向や走行ルートを変更すること。

道路上の他の人を驚かせないように心がけること。他のドライバーに自分の意図を伝え、問題が起きないようにしましょう。



周囲の状況に対応しながら、予測的判断を下すために、さまざまな手段を活用することができます。ひとつの手段として、「OODA ループ」があります。各状況から次の状況へとつながるため、ループということばが付いています。



1. **Observe (観察する)** : 状況を観察します。何が変わりましたか？車が蛇行している、突然の障害物がある、または交通の流れが変化している、といったことはありませんか？
2. **Orient (判断する)** : 知識と経験を基に、変化が何を意味するかを理解します。それは、あなたと他者の安全に対して、どのような影響がありますか？変化させなかった場合、潜在的にどのようなリスクがありますか？変化させた場合、どのような可能性が生じますか？
3. **Decide (決定する)** : 状況の観察と理解に基づいて、最も安全な行動を選択しましょう。スピードを落とすべきか、車線変更すべきか、またはあなたの方向変換の意図を方向指示で知らせるべきか？
4. **Act (行動する)** : 選択した行動を、スムーズに、しっかりと実行しましょう。自分の意図を他の人に理解してもらうためには、明確な意思表示が不可欠であることを忘れないでください。

経験を積むことで、OODAループをスムーズに活用できるようになります。しかし、運転中には多くの変動要因があります。あなたは常に警戒し、備えていなければいけません。



3.4 | 不注意運転を避ける



不注意運転は、道路上やその周辺にいるすべての人に危険をもたらす深刻な問題です。それは、安全に運転するために必要な注意力、判断力、技術を妨害するものです。車内外の気を散らす要因は、適切に反応し運転する能力に影響を及ぼす可能性があります。

注意散漫になる要因には、さまざまな種類や形があります。

- ・ **車内：**携帯電話、飲食、ラジオの調整、同乗者との会話など
- ・ **車外：**看板、衝突事故、他の人の行動など
- ・ **身体的な注意散漫要因：**疲労、不快感、身体的な障害など
- ・ **精神的な注意散漫要因：**空想、心配事、強い感情など



注意散漫なドライバーは、以下のような行動を取る傾向があります。

- ・ 車線からはみ出して蛇行する
- ・ スピードを出し過ぎる、またはスピードが遅すぎる
- ・ 信号、停止標識、バイク、自転車、または歩行者を見落とす
- ・ 同じ車線の前を行く他の車両や自転車と十分な距離を取らない

不注意運転を回避するための方法

- ・ 事前にプランを立てる
- ・ 電話を遠ざけておく
- ・ 注意深く周囲を観察する

常に道路に完全な注意を向けていれば、以下のことが可能になります。

- ・ より迅速に反応する
- ・ より良い判断を下す
- ・ 状況判断力が向上する
- ・ ストレスと疲労が減少する

不注意運転に関するWASHINGTON州の法律

不注意運転とは、運転という本来の作業から注意が逸れたすべての行動を指します。不注意運転は、ドライバー自身、同乗者、歩行者など、道路を共用する全ての人々を危険に曝します。

Washington州は、不注意運転に対して厳格な法律を制定しています。たとえば、運転中、電子機器（携帯電話、タブレット、ゲーム機器など）を持つことはできません。これは、年齢や経験に関わらず全てのドライバーに適用されます。ハンズフリー機器の使用は認められていますが、目や意識を道路から逸らす行為は依然として危険です。スマートフォンの通知、明るい光、視覚的な合図は、全て注意散漫の重大な原因となります。不注意が運転にどのような影響を及ぼすか、少し立ち止まって考えてみてください。



不注意運転で法律に違反した場合、警察官から違反切符を切られます。その結果、重い罰金刑になる可能性もあります。2回目以降の違反では、罰金の金額が2倍になる場合があります。

運転には非常に大きな責任が伴います。 どうか道路に集中することを選び、不注意運転をなくす交通社会運動の一員になってください。「誰もがこの運動に参加しているように見える」かもしれませんが、研究によると、それは事実ではありません。あなたの判断は、あなたや他の人々を事故から保護します。

3.5 | 賢明なドライバー

賢明なドライバーとは、以下のようなドライバーです。

- ・ 車内外で起きていることに**注意を払う**
- ・ アクセル、ブレーキ、ハンドル、車両の位置を適切に**操作できる**
- ・ 方向指示やスムーズな移動によって、他の人にとって**予測可能である**
- ・ 判断において**慎重である**
- ・ 運転技能の習得や活用において**意識的である**

注意を払う

初心者のドライバーにとっては、自分の車、交通ルール、危険、他の車両、標識、道路標示、歩行者、自転車など、注意すべきことが多すぎて緊張するものです。賢明なドライバーは、これら全てにバランスよく注意を向ける方法を見つけます。

- ・ **注意の対象を切り替える**：ひとつの注意対象から別の注意対象に迅速に切り替えること。
- ・ **分散された注意力**：一度に沢山の事を実行すること。
- ・ **注意力の集中**：脳全体がひとつの作業に集中していること。
- ・ **注意力の持続**：長時間にわたって注意を払うこと。



注意を払いやすくするためにできること：

- ・ 車両の中の注意散漫要因を取り除く
- ・ 十分な休養を取っておく
- ・ 電子機器をしまい、音が鳴らないように設定する
- ・ 車両の中の同乗者およびペットの数を限定する
- ・ 運転中のマルチタスクを慎む



視覚によって確認することと見渡すこと

視覚による確認とは、目を使って積極的に周囲の状況を確認することを意味します。見渡すこととは、車両の周囲をできるだけ広く見るために、頭や首、体も動かして確認することを指します。確認や見渡しは、車内外の常に変化する環境に注意を向けるための集中力を高めるのに役立ちます。これらにより、賢明な判断を下すための情報を集めることができます。



絶えず視覚確認を行うことで、安全に運転する能力が維持されます。必ず、効果的な確認と見渡しを行う能力を維持できるスピードで運転してください。

前方を見渡す

急ブレーキや突然のハンドル操作、急な回避を避けるために、前方を見渡し、次のようなものに注意してください。

- ・回避が必要な交通状況。および、歩行者、自転車、他の車両を見えにくくしている障害物など。
- ・駐車中の車両の中・下・周囲にある足・車輪・影・動き。
- ・前方の車両のさらに先で起きていること。

前方を見渡すことで起こり得る状況を予測でき、必要に応じた停止や進行方向の変更に備えることができます。

側方を見渡す

- ・交差点に近づく際は、左側および右側から接近してくる車両、歩行者、自転車に十分注意します。
- ・道路を横断している可能性のある歩行者や自転車に注意します。
- ・左右の視界が木の葉やその他の物で遮られている場合は、動いているものに注意を払い、潜在的な危険や、道路を横断しようとしている人を見つけます。
- ・曲がる前にサイドミラーを確認し、肩越しに後方を見て、自転車や歩行者が横にいないか、または道路を横断しようとしていないかを確認します。

後方を見渡す

前方や側方の交通状況に加えて、後方の交通状況も確認します。車線変更、自転車レーンを横切って曲がる、減速する、バックする、または長い坂や急な坂を降りる際は、後方の車両や自転車にも注意を払うことが重要です。



交通量が多いときは、より頻繁にチェックしましょう。誰かが車間距離を詰めすぎていたり、急速に接近してきていたりするのが分かれば、車線を変更する、ブレーキを軽く踏む、加速する、減速するなどの対応を取る時間が確保できます。

3.6 | 敬意と責任

安全で礼儀正しく責任ある運転行動を自ら実践し、徹底してください。

- ・ 車内の全員がシートベルトなどの安全装置を使用していることを確認する
- ・ 運転のために体調を整える
- ・ 他の人に対して思いやりを持つ
- ・ 他の道路利用者の利用空間を尊重する
- ・ 過失の有無にかかわらず、対立を避ける
- ・ 道路環境を大切にする

交通情報

交通情報とは、現在または今後の交通状況、事故、道路の閉鎖などについてドライバーに通知し、警告を発するものです。交通情報は、交通当局、交通管理センター、ナビゲーションアプリから提供されます。

交通情報を確認し、移動ルートに関して適切な判断ができるようにしましょう。これにより遅延や危険を避けることができます。交通情報は、電子道路標識、ソーシャルメディア、ラジオ放送、交通情報ウェブサイト、モバイルアプリなど、さまざまな方法で提供されています。



ゴミ

ゴミは見苦しいだけではありません。道路利用者にとって安全上の危険ともなります。道路上のゴミは事故の原因となり得るのです。可燃性のゴミや引火したゴミは山火事の原因となり、環境を破壊し、死者を出す可能性もあります。このため、Washington州ではポイ捨てに対する罰金が非常に厳しくなっています。あなたと同乗者には、運搬中の物品をしっかりと固定し、ゴミを適切に処分する責任があります。

Washington州の法律は、ポイ捨てや不法投棄に対して最低罰金を定めています。多くの市や郡には、州法とは異なる独自の条例があります。地域のポイ捨て取り締まりに関する情報や、地域の適用法令を確認するには、地元の警察署、保管官事務所、市役所、または郡の事務局にお問い合わせください。

環境

あなたの運転の仕方は、環境に影響を及ぼします。

駐車中にエンジンをかけたままにすると、特にガレージ内では、一酸化炭素などの有害なガスが放出され、命にかかわる危険があります。また、エンジンをアイドリングさせるのも、大気汚染になります。

以下の小さな変更を行うだけでも、車の排出ガスを減少させるために役立ちます。

- ・しばらく停車するのであれば、エンジンを切りましょう。
- ・燃料を多く消費する加速や急ブレーキを避け、スムーズに運転しましょう。
- ・燃費を良くするために、タイヤの空気圧を適正に保ちましょう。
- ・可能な限り相乗りや公共交通機関を利用して、道路上の車の数を減らしましょう。

あなたが運転する車は環境に影響を及ぼす

ほとんどの自動車メーカーは、排出ガスの削減、燃費の向上、交通の流れを改善するための安全機能などを通して、カーボンフットプリントの削減に取り組んでいます。効率的なルートを計画したり、他の人と相乗



りをしたりすることは、これらの取り組みを支援することになります（経済的な利点もあり、有益です）。Washington州のクリーンカー法は(Washington's Clean Car Law)は、2009年以降に製造された車両に対して、登録、ナンバープレートの取得、または販売の前に、厳しい大気清浄基準を満たすことを義務付けています。

車両や車両部品を処分する必要がある場合は、環境に配慮した方法で処分できるよう、車両廃棄物リサイクルセンターに連絡してください。

自己評価

自己評価は、責任あるドライバーでいるために迅速簡単にできる必要なものです。これは、運転中だけではなく運転の後からでも行うことができます。自己評価を行うには、まず、自分自身に以下の質問を行います。

- ・ 驚かされたものは何か？
- ・ 自分が誰かを驚かせたか？
- ・ 自分の運転は交通法を守り、効率的で、スムーズだったか？
- ・ 次回の運転では何を変えるべきか？

運転後に毎回、自分の運転技能を見直すことは、能力の向上に役立つだけでなく、身につけた技能を維持することにもつながります。技能は時間とともに衰えるため、定期的に自己評価を行うことで運転技能を自身の最高レベルに維持できます。

あなたの技能を常に最新レベルに維持するためには、以下を把握してください。

- ・ あなたの運転技能が変化した要因
- ・ 運転習慣の変更
- ・ 道路交通法の変更
- ・ 車両技術の変化および進歩
- ・ 運転技能に関する生涯学習の機会



4

第4章 道路



4.0 | 判断力と協調

人々が Washington州の道路を使う目的としては、家族を訪問するため、病気の子どもをクリニックに連れていくため、あるいは仕事でつらい一日を過ごした後に家に帰るためなどが考えられます。Washington州の道路にはあなたと同じような利用者がおり、それら利用者が協調し、共通の認識を持っていることの上に道路網は成り立っています。あなたは他の利用者が交通規則を知っていてそれに従うものと期待しています。他の利用者もあなたに対して同じことを期待しているのです。

道路は雑然としている場合があります。たとえば、道路が工事中だったり、車、トラック、バイク、自転車、歩行者で混雑している場合があります。そのような場合は、普段よりも忍耐強く、慎重に行動する必要があります。人生は大変なこともあり、その中でベストを尽くしている利用者がほとんどだということを忘れずにいれば、道路をスムーズに通行できるでしょう。

鍵となるのは、礼儀正しさ、敬意、他の利用者への配慮です。あなたの思いやりと配慮が、他の利用者やあなた自身を大きなけがや死から救うかもしれません。

4.1 | 他の利用者に道を譲る

歩行者には常に道を譲ってください

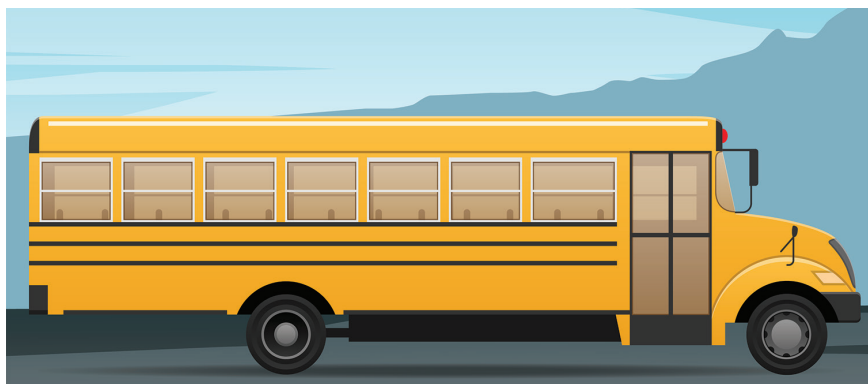
横断歩道や交差点では、**道路に標識があるかどうかを問わず**、歩行者と自転車優先です。

- ・動き始めるのは、歩行者があなたのいる車線ともう1つの車線を横断し終えるまで**待つ**てからにしましょう。歩行者が車椅子、杖、盲導犬およびその他の介助動物を使用している場合は、歩行者が道路を完全に横断し終えるまで待つてから進みましょう。
- ・歩行者や自転車を追い越すために、車を対向車線に**走らせてはなりません**。

以下のような利用者がいないか注意します。

- ・ **あなたのことが見えない利用者**。たとえば、建物や車の後ろにいる人、背を向けている歩行者、帽子を被っている人や傘を差している人など。
- ・ **注意散漫な人**。たとえば、子供、配達員、道路工事作業員、携帯電話を操作したりヘッドフォンを着けている歩行者など。
- ・ **まごついている人**。たとえば、地図の経路に沿って歩いていたり新しい場所に行こうとして探している旅行者や人。
- ・ **介助動物、杖、車椅子を使用している人**。介助動物の邪魔をすることは違法です。このため、クラクションを鳴らしてはなりません。介助動物や歩行者を混乱させたり驚かせたりする恐れがあります。

4.2 | スクールバスに道を譲る



スクールバスの乗り降りは潜在的に危険な状況です。

学齢期の子供は必ずしも、行動の予測がつかなく、危険にも気づきません。子供がスクールバスを乗り降りする際は、子供の行動に注意して慎重に運転してください。辛抱強くなり、制限速度を守って、スクールバスの灯火信号に注意します。

スクールバスの灯火信号は交通信号のようなものです。赤は停止を、黄色は注意または減速を意味します。



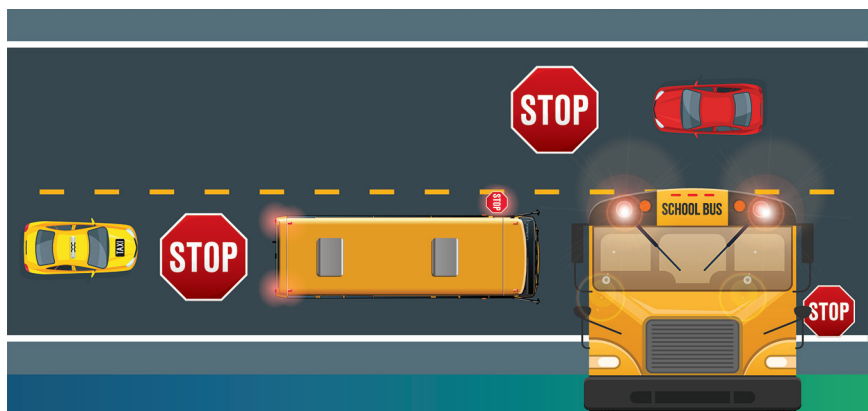
スクールバスの後ろにいる場合

スクールバスの赤い灯火信号が点滅しているときに追い越すのは違法です。

灯火信号が点滅しているスクールバスは決して追い越さないでください。灯火信号と方向指示器によって、子供が近くにいてバスを乗り降りしていることが分かります。

- ・バスと同じ方向に走行しているすべてのドライバーは、赤い灯火信号が点滅していたり一時停止の標識が提示されている場合には、停止しなければなりません。
- ・中央の右左折レーンを使ってスクールバスを追い越さないでください。右左折レーンにいるドライバーは必ず停止しなければなりません。
- ・通行できるのは、灯火信号が点滅をやめ、標識が収納されて、金属製のアームがバスのフロントバンパーに戻ってからです。
- ・赤い灯火信号が点滅をやめた後も、子供がいないか引き続き注意してください。





スクールバスの前にいる場合

2車線道路上にいるとき

赤い灯火信号が点滅し、一時停止の標識が提示されたら、すべての車両は停止しなければなりません。灯火信号が点滅をやめ、標識が収納されて、金属製のアームがバスのフロントバンパーに戻ったら、反対方向への通行を再開できます。



多車線道路上にいるとき

- ・ 赤い灯火信号が点滅し、一時停止の標識が提示されたら、スクールバスの後ろを走行しているドライバーは、停止しなければなりません。
- ・ **以下の場合**は、赤い灯火信号が点滅していたり一時停止の標識が提示されているときには、バスと反対の方向に走行しているドライバーが停止する必要はありません。
 - ・ 3車線以上ある場合
 - ・ 車線が中央分離帯またはバリアによって分離されている場合





4.3 | 公共交通機関のバスと道路を共有する

あなたと同じ方向に走行し、方向指示によって道路に戻ろうとしている公共交通機関のバスがあれば、道を譲ってください。

4.4 | 大型車と道路を共用する

大型のトラックやバスと安全に道路を共用するには、それらに課されている特別な制約を理解する必要があります。大型車の周囲を走行するには、通常の車両との間よりも多くの車間時間と車間距離を確保する必要があります。路上で大型車の近くを走行する際は、以下の点に特に注意してください。

視界：大型車の後ろを走行する際は、前方の道路を広く見渡せるように車間距離を調整します。

死角：大型車の近くを走行していて運転席側ミラーが見えない場合は、ドライバーはあなたの姿を見ることができない状況になっています。大型車の両側には、ドライバーからあなたの姿が見えない死角があります。大型車と長時間並走するのは避けましょう。

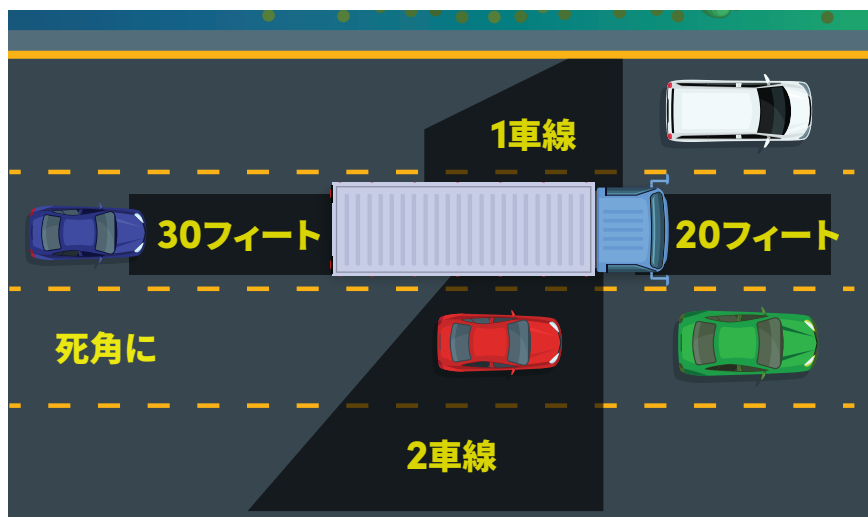
停止：大型車は小型車と同じ速さで停止することはできません。荷物を積載し、55mphで走行している、ブレーキ調節済みのトラックが完全に停止するには、450フィートの距離を走行する必要があります。十分な車間距離を取らずに大型車の前を横切ることは、誰にとっても危険です。

合流：大型車の前方で車線に入るときは、バックミラーで大型車の左右のヘッドライトがはっきりと見えるまで待ってからにしてください。合流後は、他のドライバーへの影響を少なくするため、交通の流れを乱さないようにします。

旋回スペース：大型車は、何かにぶつからないようにするため、旋回するのに2車線以上が必要になる場合があります。また、ロータリーでは、大型車には2車線のスペースが必要です。大型車が曲がる時には追いつさないでください。これは、大型車が関係する衝突事故の頻出原因です。相手が曲がるまで忍耐強く待ってから、前進します。

危険物：運転中に、危険物を運搬していることを示す標識のある車両に注意します。可能であれば、近くを走行することは避けてください。

長く急な坂道：大型車は、急な坂道を上り下りする際、ゆっくりと走行します。右車線では遅い車に遭遇する可能性に備えてください。

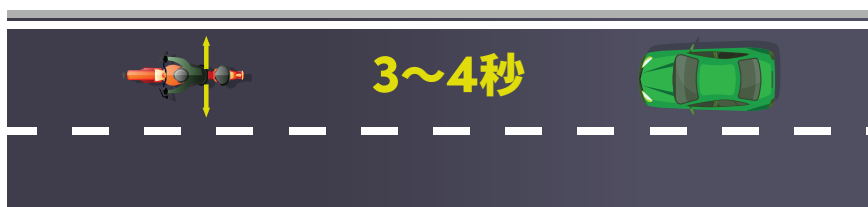


除雪車

除雪車の近くを走行するときは注意してください。除雪車は、雪を道路から押し上げることで吹雪のような状況を引き起こす可能性があるためです。そのような状況では、除雪車のすぐ後ろについているドライバーの視界が悪くなる可能性があります。

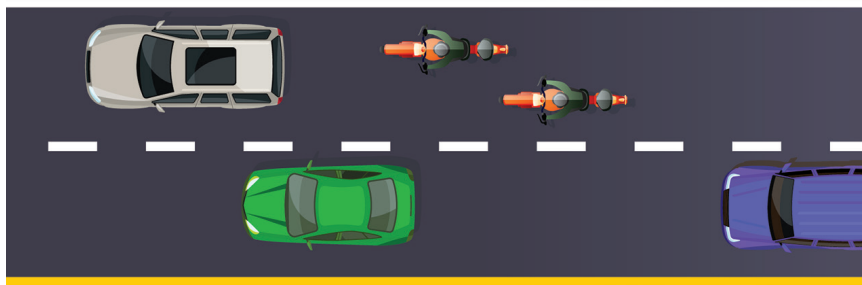
4.5 | オートバイと道路を共有する

オートバイは他の道路利用者と同じ権利と責任を持っています。オートバイも同じ道路交通法に従っています。しかし、オートバイは小型車両のため、より脆弱であり、しかも見えにくいものです。常にオートバイがないか周囲を見渡し、オートバイがいる場合には注意するようにしましょう。



後ろを走行する

オートバイの後ろを走行するときは、停止するための十分な車間距離を前方に確保してください。緊急時に安全に停止できる十分な車間時間を確保する必要があります。オートバイにとって、天候と滑りやすい路面は重大な問題になることがあります。雨が降っているときや路面が滑りやすいときは、さらに車間距離を空けてください。



車線

オートバイは、周囲を見渡し、また周囲から見られるように、さらに路上の物体を避けるために、車線内で頻繁に位置を変えます。オートバイも、他の車両と同じ車線幅を利用する権利を持っています。車線が広く、オートバイが片側に寄って走っている場合でも、オートバイと同じ車線には決して入らないでください。



旋回（右左折）

オートバイは死角に隠れて見えなくなることがよくあります。肩越しに確認して死角に何もいないことを確認してください。たとえば、右折する場合は、左を見て、右を見て、もう一度左を見ます。二度見することで助かる命があります。オートバイの前で車線に進入したり、対向するオートバイの前で右左折するドライバーは、オートバイに気づいていない可能性があります。また、対向するオートバイの速度の判断を誤る可能性もあります。

路面

砂利、破片、舗装の継ぎ目、小動物、道路の穴、マンホールの蓋など、オートバイ以外のドライバーには影響のない凸凹した路面によって、オートバイの運転者は速度や車線位置の変更を余儀なくされることがあります。オートバイの運転者が必要に応じて行う可能性のある変更を予測してください。



信号灯

あなたの信号灯。オートバイの運転者があなたの方向指示器やブレーキライトに気づけるだけの十分な時間を与えてください。

オートバイの信号灯。オートバイは減速するときにブレーキではなくスロットルを使用する場合があるため、ブレーキランプが点灯しないことがあります。また、一部のバイクには、自動的に消灯するウインカーが装備されていません。このため、バイクと共に走行するときは、常に細心の注意を払うようにしてください。バイクの運転に関する詳細については、dol.wa.govにアクセスし、**motorcycle operator manual**（オートバイ運転者マニュアル）を検索してください。

4.6 | 自転車と道路を共有する

自転車は車両ドライバーと同じ権利、義務、責任を有しています。オートバイと同様に、自転車は小さくて目立ちにくいいため、自転車の運転者がドライバーに衝突されて重傷を負ったり死亡したりするリスクが高くなります。



一般的ガイダンス

- ・ コーナーを曲がる時や私有車道に車を入れるときは、横断歩道や歩道にいる自転車に注意します。
- ・ 交差点では、他の車にするのと同じように自転車にも道を譲ってください。
- ・ 自転車と車線を共有することはできません。法律上、自転車は車線全体を使用し、車両のドライバーから最も見えやすい場所を走行できます。自転車の後ろを走行しているときは、少なくとも3フィートの間隔を空けてください。
- ・ 横断歩道上の自転車は歩行者と見なされます。標識の有無にかかわらず、横断歩道や交差点では、自転車に道を譲らなければなりません。

自転車を追い越す

- ・ 自転車の追い越しは、自分と自転車の安全を確認するまでは行わないでください。
- ・ 同じ方向に2車線ある場合は、1車線分移動します。各方向に1車線しかない場合は、対向車がいないときに対向車線に移動します。自転車と車体の最も幅の広い部分との間に少なくとも3フィートの距離を空けます (自転車は、ドライバーから見えない危険を避けるために必要に応じて位置を変えることを忘れないでください)。
- ・ 自転車を追い越すために対向車のいる対向車線に入ることは禁止されています。
- ・ 決して対向車のいる対向車線には入らずに、自転車を左側からゆっくり追い越します。
- ・ 車線に戻る前に、自転車との間隔が十分に空いているか確認します。あまりに早く車線に戻ると、自転車が危険にさらされる可能性があるためです。
- ・ 曲がる前に自転車が交差点から出るのを待ちます。右折する場合は、その直前に自転車を追い越さないでください。



自転車レーン

- ・自転車レーンには注意してください。自転車レーンは通常、緑色に塗られ、実線の白線が引かれ、自転車のシンボルが描かれています。自転車レーンのマーキングの長さはさまざまですが、マーキングが続くものとして運転する必要があります。
- ・自転車レーンを走行できるのは、曲がるとき、またはレーンを横切って縁石の近くに駐車するときのみです。
- ・駐車後、ドアを開ける前に、自転車が来ないか全方向を注意深く確認します。

自転車の乗り方の詳細については、wsdot.wa.govにアクセスし、**bicycling and walking**（サイクリングとウォーキング）を検索してください。

4.7 | 鉄道と道路を共有する

鉄道の線路には細心の注意を払う必要があります。



指定された踏切のみで線路を横断してください。安全標識、点滅灯、踏切遮断機を確認します。踏切で赤信号が点滅している場合は、列車が近づいているため、踏切の前に留まる必要があります。

列車が常に優先権を持ちます。車重が大きいため、低速で走行していてもすぐに停止することができないからです。列車が完全に停止するまでに最大1マイルを走行する場合があります。

踏切で信号が点滅し、鐘が鳴っているときは、遮断機が下りているかどうかに関係なく、停止しなければなりません。遮断機を迂回して走行しないでください。

次の場合には、踏切の最も近い柵から15～50フィートの距離で停止してください。

- ・ 信号が点滅している場合
- ・ 遮断機が下がろうとしているか、既に下がっている場合
- ・ フラagger（旗振り人）が停止の合図を出している場合
- ・ 電車が近くに来すぎていて、直ちに危険が生じる可能性がある場合
- ・ 電車の警笛が聞こえる場合
- ・ 一時停止の標識が設置されている場合

赤信号の点滅が止まり、その他の警告表示がすべて消灯したら移動を開始できます。

安全上の重要な注意事項

電車に先んじて線路を渡ろうとしない：

警告が表示されたらすぐに停止します。

線路上で停止しない：

踏切で車が動けなくなった場合は、すぐに全員が車外に出てください。

警告信号を無視しない：

列車が見えなくても、信号を信じてください。列車は見た目よりも、近くまで来ており、走る音も静かで、速く走っている場合があります。列車は、任意の線路の左右どちらからも来る場合があります。



電話で通報する場合



線路上または線路付近に何かを見つけた場合は、青と白の緊急通報システム（Emergency Notification System）の標識に記載されている電話番号におかけください。踏切のID番号を運行管理者に伝えます。あなたのいる場所と状況の詳細を伝えます。標識/表示板がない場合は、911におかけください。

ライトレール

Sound Transitのリンクライトレール（Link light rail）線は、Washington州の長期的な交通網の重要な要素です。鉄道駅や路線の近くを走行する場合のガイドラインは次のとおりです。

- すべての標識/信号と路面マーキングに注意する。
- ライトレール車両が近づいてこないか警戒・注意する。
- 車とライトレール車両の間には、少なくとも車両1台分（またはそれ以上）の距離を空ける。
- 線路上で車を停止・駐車・放置しない。ライトレール車両が通行できる十分なスペースを空けて駐車する。

4.8 | 農業用車両と道路を共有する

25mph以下で走行するように設計された農業用車両には、背面に三角形の標識またはエンブレムが付いています。ゆっくり走行する車両を見かけたら、次の点を想起してください。

- 農業用車両の遅さに忍耐し、その遅さに合わせて減速する。
- 追い越しの際には十分なスペースを確保し、注意しながら追い越す。

農業用車両を追い越す必要がある場合に、同じ方向に2車線があるときは、1車線分移動する。各方向に1車線しかない場合は、対向車に注意して慎重に進む。追い越すときは、車の最も広い部分と農業用車両の間に少なくとも3フィートの間隔を空ける。



4.9 | 緊急車両と道路を共有する

警光灯やサイレンを使用している消防車、救急車、パトカーは、常に優先権を持ちます。

信号が見えたり聞こえたりしたら、すぐに車を道路の右側に寄せて停止します。緊急車両が通過するまで待ってから、方向指示を出して交通の流れに戻ります。それを、先ほどまで走行していたときの他の車両との順序関係を再現して行う必要があります。緊急車両が通過するまで待ってから、方向指示を出して交通の流れに戻ります。それを、先ほどまで走行していたときの他の車両との順序関係を再現して行う必要があります。右に寄せることで、緊急車両のドライバーが職務を遂行するのを助け、命を救うことができます！

交通規則

4.10 | 道路交通法

交通規則は人々の安全を守るために制定されています。道路を利用する際に誰もが同意する規則を制定することで、交通事故を防止するものです。同法は、道路網を円滑に動かし続けるために作成されました。

ほとんどの基本的な交通規則は、昔から変わっていません。ただし、道路交通法は変更される場合があります。**RCW 46.61** (Revised Code of Washington 46.61, Washington州修正法第46.61章) をオンラインで検索すると、最新の交通規則を見つけることができます。車を運転する限り、最新の道路交通法についての情報に接し続ける必要があります。

一般的な運転ガイドライン

Washington州のドライバーとして、以下の一般的な運転ガイドラインに留意しておくことをお勧めします。

- 道路の右側を走行する。一時的に左側を走行できるのは、2車線道路で他の車を安全かつ合法的に追い越す場合のみです。
- **追い越し時以外は、右車線を維持する。** 同じ方向に複数の車線がある場合は、右車線を走行します。遅い交通の流れを追い越すには左車線を使用してください。
- 左車線を使って追い越す場合でも、速度制限法を守る。
- 相乗り車線は追い越し車線ではないことに注意する。
- 追い越しには路肩を使用しない。当局または標識・表示による指示がない限り、路肩を走行しないでください。
- 走行レーンを塞がない。停止する必要がある場合は、安全に路肩に停車できるまで走行を続けてください。
- 前進し続ける。曲がりそこなったり出口から出そこなった場合でも、路上で後進しないでください。路肩や高速道路で後進することは違法です。



- ・ Washington州の高速道路では、ヒッチハイクをしたり、ヒッチハイカーを乗せたりしない。そうすることは違法であり危険なためです。

交通規制設備

交通規制設備とは、交通の流れを規制し、道路や高速道路を自動車、自転車、歩行者にとってより安全なものにする信号、標識/表示板、道路標示のことです。すべての信号、標識/表示板、道路標示を確認して従う必要があります。

警察官、建設作業員、道路保守作業員、学校の交通指導員が交通を誘導する特別な場合もあります。これらの人は交通信号を無視することがありますが、その命令や指示には従わなければなりません。

壊れたライトや信号

交通信号が機能していない場合は、交差点を四方停止として扱います。完全に停止してください。右側の車両に道を譲ります。安全な場合は慎重に進みます。





赤色での点灯

停止してください。信号が青に変わり、交差点に車や歩行者がいなくなるまで待ってから前進します。

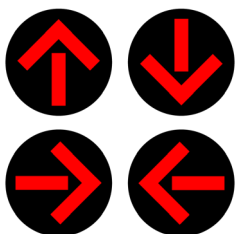
赤信号で完全に停止した後、「赤信号の時は右左折禁止（No turn on red）」の標識がなく、右折するための十分なスペースがある場合は、**右折**することができます。

赤信号で完全に停止した後、「赤信号の時は右左折禁止（No turn on red）」の標識がなく、左折するための十分なスペースがある場合は、一方通行の道路に**左折**することができます。



赤色での点滅

停止してください。点滅する赤信号は一時停止の標識としての役割を持っています。完全に停止し、自分の番になったら進みます。



赤色の矢印

停止してください。赤色の矢印は、矢印の方向には進めないことを意味します。



黄色での点灯

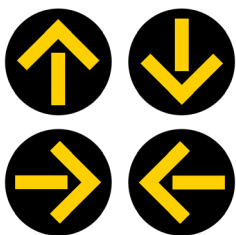
減速してください。これは、信号が赤に変わることを意味します。黄色信号が表示されたら、減速し、停止の準備をします。交差点内で黄色信号が点灯した場合は、指定速度で交差点を通過します。

黄色信号で交差点に進入したり交差点を通過したりするために、加速して、指定されている制限速度を超えることは禁止されています。



黄色での点滅

減速してください。点滅する黄色信号は、「譲れ」の標識と同じ意味を持っています。交差点を、交通規制されていない交差点として扱ってください。優先権を持っている場合は、進みます。



黄色の矢印

減速してください。黄色の矢印は信号がもうすぐ赤に変わることを意味します。停止して対向車に通行権を譲る準備をしてください。





青色での点灯

進んでください。ただし、次の点に注意します。

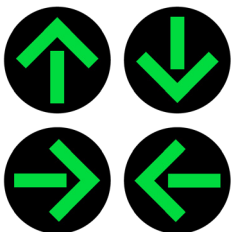
- ・ 交差点が空くまで待機すること
- ・ 法律で定められているとおり、緊急車両には道を譲ること
- ・ 歩行者に道を譲ること

青信号で左折するときは、近づいてくる車両に道を譲ります。対向車が優先権を持っているためです。近づいてくる車両がはっきり見える場所で一時停止し、車の流れが途切れたときに曲がれば、危険がありません。



青色での点滅

Washington州では、青色での点滅はありません。一方、カナダのブリティッシュコロンビア州では、歩行者が横断を待っていることを警告するものとして見かけることがあります。



青色の矢印

矢印の方向へ進めます。青色の矢印は、その方向に通行する優先権を与えるものです。青色の矢印が点灯している間は、対向車、横断車両、歩行者がいらないはずです。



高速道路のランプメーター

ランプメーターは通常の交通信号と同様の役割を持っています。信号が赤の場合は、白い停止線で停止してください。信号が青に変わったら、進入車線に沿って再び進むことができます。

4.12 | 標識/表示板

交通標識は、交通規則、事故原因、道路の方向、サービスエリアの場所などを示すものです。これらの標識の形や色、記号や言葉は、標識が提供する情報の種類についての手がかりとなります。

赤色	禁止または制限されている行為	
橙色	建設および保守に関する警告	
黄色	通常の道路状況および予期しない道路状況に関する警告	
黄緑色の蛍光色	学校、歩行者、自転車の活動に関する警告	
白色	規制	
緑色	ガイドまたは方向情報	
青色	ドライバーサービスのガイダンス	
茶色	公共レクリエーションと文化・歴史地域の名称	



一般的な標識/表示板



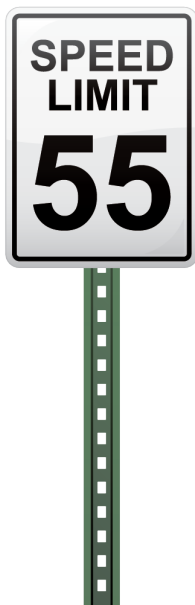
一時停止

一時停止の標識は、道路、横断歩道、または曲がり角で停止しなければならないことを意味します。横断する車両や歩行者がどの方向にもいないか注意し、いる場合は優先権を譲ってください。



譲れ

譲れの標識は、減速することに加え、優先権を持つ車両が先に横断できるようにしなければならぬことを意味します。



制限速度

制限速度の標識は、許可されている最高安全速度または必要な最低安全速度を示しています。

- ・ 最高制限速度はあくまでも理想的な条件の場合に許可されるものです。道路が滑りやすい、霧で視界が悪いなど、道路状況によっては、速度を落としてください。規定されている速度制限以下で運転している場合でも、道路状況に対してスピードを出しすぎていると違反切符を切られる可能性があります。
- ・ 道路によっては、最低制限速度が設けられています。この速度以上で走行することで、他のドライバーに事故を起こさせないようにする必要があります。



右側通行

この標識は、他の車両を追い越す場合を除き、右車線にとどまるように注意を促すものです。





自動交通安全カメラ

このカメラは、以下のことが起きた場合の映像を自動的に記録します。

- ・ 赤色で点灯している信号で停止しなかった
- ・ 踏切信号で停止しなかった
- ・ スクールゾーンで制限速度を超えた

交通カメラが設置されている場所はすべて間違いなく撮影されています。このような場所でスピード違反を起こすと、車両の所有者に違反切符が郵送されます。



速度警告

この標識は、事故の可能性や道路状況（多くの場合、カーブや曲がり角）に応じて速度を変更するよう勧告するものです。すべての要因（路面、天候、交通状況など）を考慮した適切な速度に調整し、速度制限警告に従ってください。



可変制限速度およびその事前通知

電子表示板は、変化する制限速度を表示することで交通の流れを分散させようとします。また、電子事前通知表示板は、ドライバーが渋滞に巻き込まれる前に車線全体を素早く閉鎖し、ドライバーに警告情報を表示することができます。



一方通行

一方通行の標識は、道路が矢印の方向にのみ通行できることを示します。一方通行の道路では逆方向に通行しないでください。



禁止

赤い円の中に描かれたシンボルの上に赤い斜線が入った交通規制標識があります。これらの標識は、左折、右折、Uターンなどの特定の行動が禁止されていることを示します。



進入禁止

円の中に白色の横線が入った標識は、その方向から道路に進入できないことを意味します。



逆走

これは、間違った方向に走行していることを警告し、正面衝突を防ぐことを目的としています。すぐに停止してUターンしてください。



追い越し禁止と安全な追い越し

追い越し禁止の標識は、その場所が追い越し禁止であることを示しています。追い越し禁止の標識は、坂道、カーブ、交差点や、車両が道路に進入する可能性のある他の場所など、事故が起こる可能性のある場所に設置されていることがあります。また、安全に追い越せるかどうかを示す標識や車線マーキングもあります。



双方向で左折専用を使用可能な中央車線

この標識は、車線が双方向からの左折車両専用であり、他の車両の追い越しや直進車両には使用できないことを示しています。通常、道路には矢印が描かれています。





ロータリー

この標識はロータリーの入り口を示しています。ロータリーには「譲れ」標識、歩行者警告標識、矢印標識も設置されているかもしれません。

工事区間の標識



工事（建設）・保守・緊急作業に関するこれらの標識は、道路の近くで工事が行われていることを示して警告します。車両ドライバー、歩行者、自転車は、高速道路の建設作業員、黄色のライトを点滅している車両、または高速道路の建設・保守工事区間内にある機器に道を譲らなければなりません。作業員がいる工事現場を走行中に違反行為をした場合は、罰金が2倍になります。

サービスの標識



サービスの標識は、病院、電気自動車の充電ステーション、サービス（休憩）エリアなど、さまざまなサービス施設があることを示します。



レクリエーションの標識



レクリエーションの標識は、ハイキングコース、ピクニック用のエリア、スキー場など、地元の観光スポットがあることを示します。

行き先の標識

行き先の標識は、都市、空港、州境、または、国立公園、歴史地区、博物館などの特別地域など、さまざまな場所への方向と距離を示します。

道路番号標識の形状と色は、道路の種類（州間道路、国道、州道、市道、郡道）を示しています。



市街地までの距離



高速道路出口レーン
と出口専用レーン



高速道路標識

その他の交通標識

以下にWashington州の標識の一部を示します。市や郡の標識を含むすべての標識を把握している必要があります。



赤信号の時は右
左折禁止



車線利用規制



マイルマーカー



スクールゾーン
の制限速度



この先、制限速度減少



踏切



交差道路あり



カーブ



鹿に注意



坂道



車高注意



合流



合流交通あり



追い越し禁止区間



横断歩道あり



つづら折りあり



学童横断あり



横道あり





前方信号あり



降雨時スリップ注意



柔らかい路肩



前方に一旦停止あり



急カーブあり



両面交通



右に車線追加（合流不要）



自転車への事前警告



前方に狭い道路または
橋あり



環状交差点




左カーブ、35mph推奨



分離帯のある高速道路
（道路）の起点



分離帯のある高速道路
（道路）の終点



低速走行車両



カーブ多し



推奨速度



チェーン装着推奨



ライトレール





前方急カーブ



踏切あり



交通の進行方向



津波危険区間



国有林



火山避難経路

4.13 | 一般的な交差点

ここで言う交差点とは、2本以上の道路が交わる、交通の合流地点のことです。そのような交差点としては、十字路、ロータリー、交通静穏化環状交差点、脇道、車道、ショッピングセンター、駐車場の入り口など、さまざまな種類があります。交差点はすべて、標識の有無にかかわらず、法的には横断歩道になります。それぞれの交差点では、賢明な意思決定、慎重な行動、自己認識と他者への配慮が求められます。

交差点に入る前に、以下を行ってください。

- ・ 交差点では停止し、歩行者や他の車に道を譲ること。
- ・ すべての方向を何度も確認すること。
- ・ サイドミラーとバックミラーをチェックして、自転車、バイク、歩行者が進路に進入してきていないことを確認すること。
- ・ 新しい車線や道路に進むときは、従うべき道路標示を探すこと。
- ・ 交差点に入る前に、必ず横断車両をはっきりと確認すること。一旦停止線で停止したが、十字路の視界が遮られている場合は、見えるようになるまでゆっくり前進してください。これにより、横断中のドライバーがあなたの車の前方を、あなたから彼らが見えるようになる前に確認できるようになります。これにより、それらのドライバーが必要に応じて速度を落とし、あなたに警告する機会が与えられます。



- ・交差点を塞がずに横断したり曲がったりするのに十分なスペースが確保されていることを確認します。

特にショッピングセンター、駐車場、建設現場、交通量の多い歩道、遊び場、公園、学校の近くにいる場合は、交差点の周囲全体を見渡すことが非常に重要です。

優先権

優先権のルールは、交差点を通過する車両の順序を決定するものです。誰が優先権を譲ら（諦め）なければならないかは、法律で定められています。

四方停止

一時停止の標識で規制されている交差点に近づくときは、以下の規則が適用されます。

- ・最初に到着した車両が最初に移動する。
- ・2番目に到着した車両が2番目に移動する、など。
- ・他のもう1台の車両も自分の車両とほぼ同時に到着した場合は、右側の車両に道を譲る。
- ・左折する車両は、直進する車両または右折する車両に通行権を譲らなければならない。

双方向停止

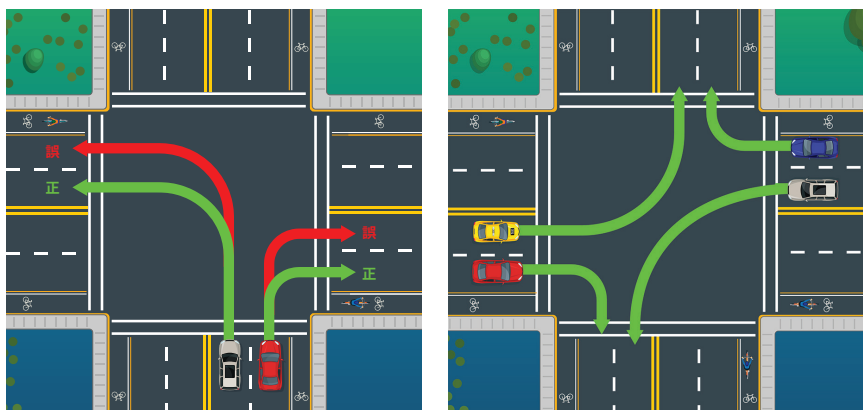
曲がる車両は直進する車両に道を譲らなければならない。直進する車両の方に優先権があるためです。

4.14 | 右左折

交差点で左折する場合も右折する場合も、州法では、来た元の車線に最も近い車線に進入することが義務付けられています。

右左折レーンが複数ある場合は、他のレーンに移動せずに元のレーンから直接曲がります。曲がるときに別の車線に逸れてしまわないように、気を付けてください。

別の車線に変更したい場合は、曲がり終わった後で車線変更をしてください。



対向車線を横切って左折または右折する場合は、100フィート以上前の位置でウインカーを点滅させます。次に、車の流れを見て、安全に渡るタイミングを待ちます。右左折先の道路を見渡して、進行路上に車両・歩行者・自転車がないか近づいていないことを確認します。

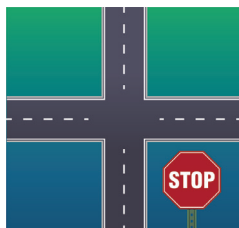
**曲がる前に後ろに自転車がないか確認し、
いる場合は道を譲ります。**

自転車は、思ったよりも早く近づいてくる場合があります。安全に曲がる車間時間があることを確認してください。



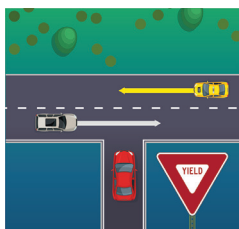
Uターン

Uターンしたい場合は、Uターンすることが許可されているかどうかを示す標識を探します。Uターンをする前に、全方向の視界が良好であることを確認します。そのため、カーブや坂の頂上付近ではUターンをしないでください。Washington州では、Uターンの禁止を示す標識が設置されていない限り、通常、Uターンをすることは許可されています。



十字交差点

十字交差点とは、各方向に向かう車線が1本以上ある四叉路のことです。十字交差点であることは、信号機や道路標識、道路標示によって示される場合があります。十字交差点における優先権の規則を理解し、適用してください。



T字路

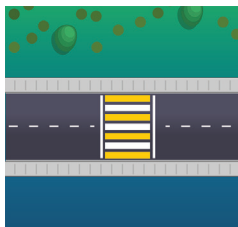
T字路は、道路が終わって直進道路と交差する三叉路のことです。一部のT字路には、通過している車両に優先権があることを知らせる「譲れ」標識または一時停止の標識が設置されています。



Y字路

Y字路とは、小さな道路が他のより大きな道路と合流している場所です。小さい方の道路が大きな道路と合流する場所に一時停止の標識が設置されている場合があります。大きい方の道路の車両が優先権を持っています。





交差点以外にある横断歩道

これらは、交差点以外の道路上にある横断歩道です。横断歩道が設置されている場所では、**常に**歩行者が優先権を持っています。

横断歩道に一時停止の標識があるかどうかにかかわらず、運転者は歩行者や自転車が横断できるように停止する必要があります。

4.15 | その他の交差点



交通静穏化環状交差点

交通静穏化環状交差点とは、中央に、塗装されているか盛り上がっている島がある交差点であり、その周りを反時計回りに交通が流れるというものです。このタイプの交差点では、交差点の進入路のすべてまたは一部に一時停止の標識または「譲れ」標識が設置されている場合もあれば、どの進入路にもこれらの標識が設置されていない場合もあります。交通静穏化環状交差点は四方停止、三方停止または双方向停止交差点にあります。優先権のルールについては、他の交差点と同じものを適用してください。

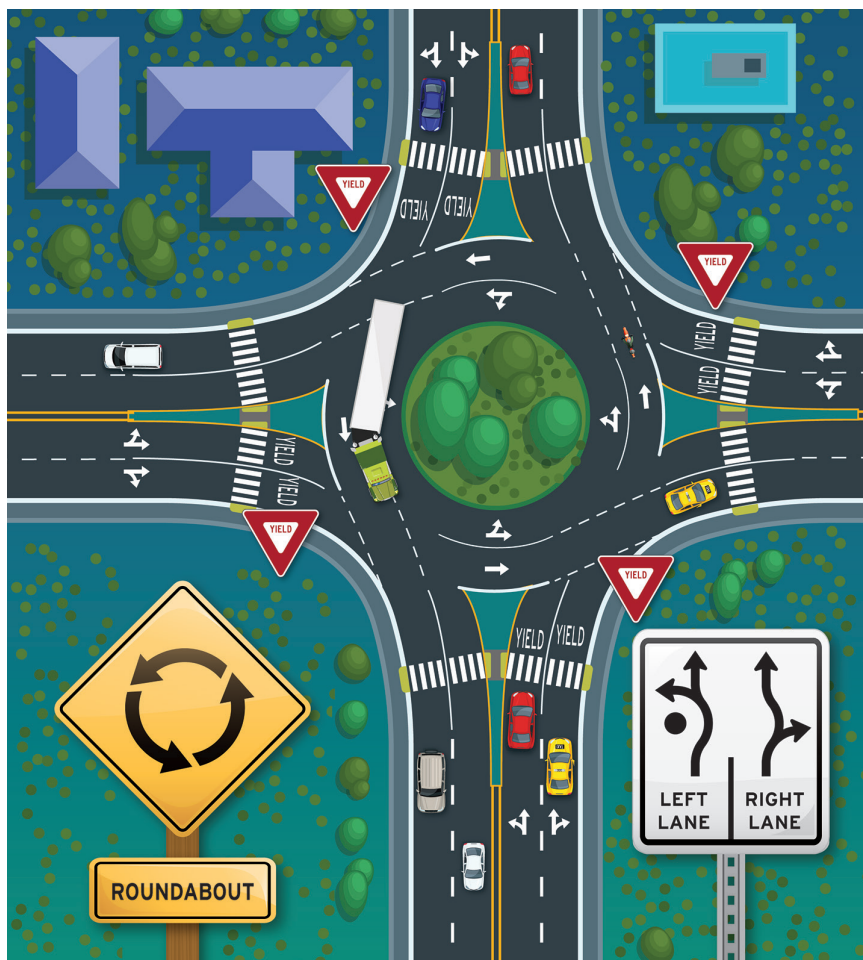
交通静穏化環状交差点は乗用車を対象としており、消防車、バス、配送トラックなどの大型車両は通行し難しくなっています。大型車両は環状交差点を通過するのに時計回りに進む必要があるかもしれないので、十分な車間距離を取ります。



ロータリー

ロータリーとは、すべての接近車両が進入時に道を譲り合って、隆起した中央分離帯の周りを反時計回りに走行する環状交差点です。

ロータリーは、自動車、消防車、バス、配達車両、貨物トラック、自転車、歩行者など、さまざまな利用者を対象に設計されています。



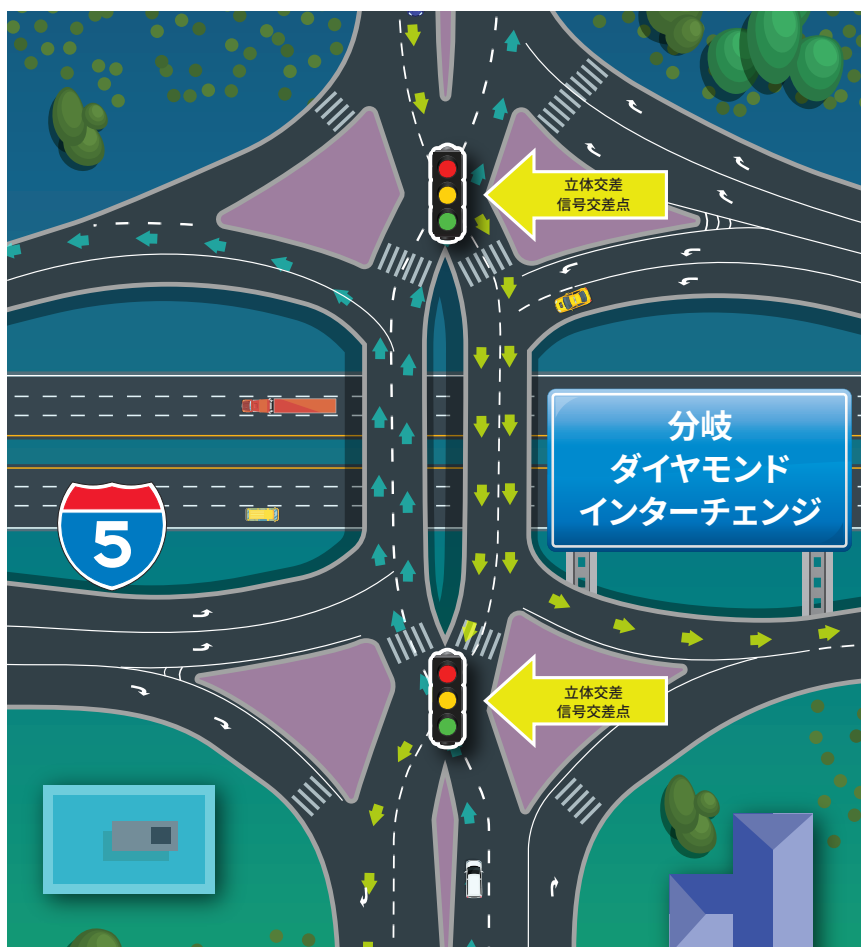
ロータリーでは、中央分離帯の周囲にトラックエプロンを備えている場合があります。トラックエプロンは大型車両のために設計されています。大型車両は、環状交差点に近づき、進入し、通過する際に、トラックエプロンおよび、来た元の車線と進行方向の車線をはみ出すことが許可されているため、大型車両との間に十分な車間距離を取ってください。

自転車は、ロータリーを、歩行者として通行することも車両として通行することもできます。車両として通行する場合は、ドライバーからよく見えるように車線の中央を走行しなければなりません。

ロータリーの通行方法

1. ロータリーに進入する際は、速度を落とします。ロータリーは15～25mphの速度で走行するように設計されています。
2. ロータリーに進入するときは、車線を選択します。車線選択標識に、右折、直進、左折にどの車線を使用すればよいかが示されています。車線を選択したら、ロータリーから出るまでその車線に留まります。
3. ロータリーに出入りする際は、横断歩道に歩行者や自転車がいれば、道を譲るために停止します。
4. ロータリー内にいるすべての車両に道を譲ります。左を見たときに既にロータリー内にいる車両は優先権を持っているため、それらの車両に道を譲ります。車の流れが途切れたら、環状交差点に進入して出口へと進みます。トラックは広い車間距離を必要とし、来た元の車線と進行方向の車線を両方とも使用することが許可されているため、トラックの後ろでは安全な車間距離を保つ必要があります。
5. 右に向かってロータリーに入り、反時計回りに、車線を維持しながら進みます。
6. 目的の道路でロータリーから抜けます。
7. 他の交差点の場合と同じように、ロータリーの走行中に緊急車両が近づいてきたら路肩に停車します。





分岐ダイヤモンド

分岐ダイヤモンドはWashington州の新型の交差点です。車両が道路の反対側に横断できるように設計されています。反対方向の車線と車の流れを横切ることになるため、これは合理的ではないと思われるかもしれません。この交差点により、車両は高速道路ランプへの出入り口でより効率的に左折できるようになります。また、車両が交差する地点の数が減るので、衝突事故のリスクが減少します。分岐ダイヤモンドは、対向車線への左折をなくすことで、交通の流れを改善し、渋滞を軽減します。



どのように通行するか

- ・車線のシフト。このインターチェンジに近づくと、道路の左側に渡るように誘導されます。最初は、道路の反対側を走行するので奇妙に感じるかもしれませんが、明確な標示と信号が誘導してくれます。
- ・自由な流れでの左折。主な利点は、停止したり、対向車に道を譲ったりすることなく、左折して高速道路に進入できることです。
- ・通常に戻る。高架やアンダーパスを抜けると、再び道路の右側に戻ります。

運転上の留意事項

- ・標識や路面標示に十分注意します。それらは車線のシフトや右左折を誘導します。
- ・左折して高速道路に入る際に、対向車について心配する必要はありません。この設計により、対向車を気にする必要がなくなります。
- ・注意を怠らず、安全速度で運転します。交通の流れは改善されていますが、引き続き周囲に注意を払うことは必要です。

交通規制がされていない交差点

交通規制がされていない交差点には、標識がありませんが、通常の優先権のルールが適用されます。こういった交差点は、地方の道路や街路によくあります。交通規制がされていない交差点に進入する際、次のいずれかに該当する場合は、優先権を譲らなければなりません。

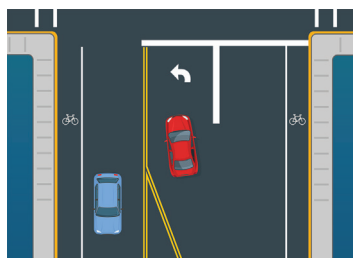
- ・交差点に既に車両がいる場合
- ・周辺道路から、州道に入るか州道を横切する場合
- ・未舗装道路から舗装道路に入る場合
- ・左折しようとしたところ、反対方向から車が近づいてきた場合



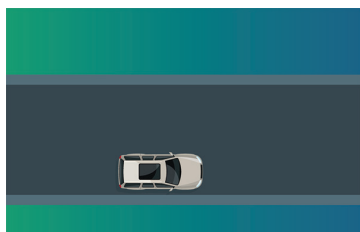
4.16 | 道路のマーキング

道路のマーキングとは、方向や警告を示すために道路上に描かれた線、矢印、文字、またはシンボルのことです。これらは車線を区切るために使用されます。道路のマーキングは、他の車両を追い越したり車線を変更したりできるかを示します。道路のマーキングは、右左折で使用する車線を示したり、歩行者の通路を明確に示したり、あるいは停止する必要がある標識や交通信号を示したりします。

車線



白い実線は道路の端を示し、自転車レーンを他の車線と分離します。

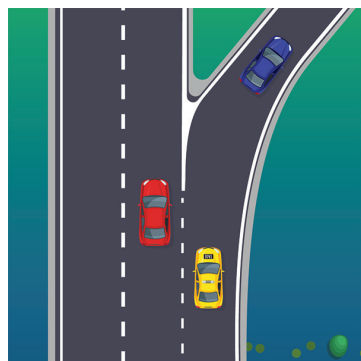


道路にマーキングがされていない場合は、安全な範囲でできるだけ右端に沿って走行します。

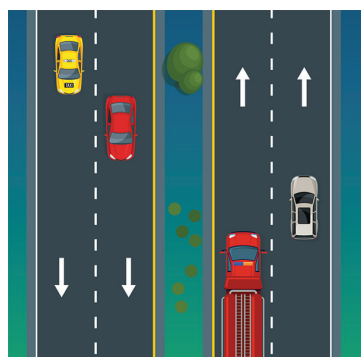


車線を区切ったり道路の中央を標示したりする白線や黄色い線は、道路が一方通行なのか双方向通行なのかを示しています。

黄色の線は、対向して走行する車線同士を区切るものです。白線は、同じ方向に走行する車線同士を区切るものです。

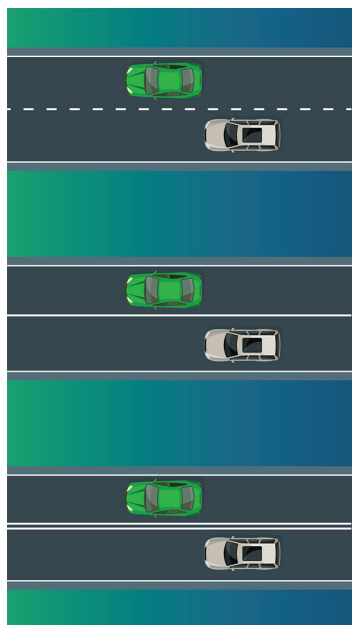


短い破線の白線は、車線がまもなく終了することを意味します。その車線が出るか、他の車線に移動する必要があります。安全であれば破線を越えることができます。



中央分離帯は複数の車線を分けるためのものです。空きスペース、コンクリートの分離帯、または幅18インチの黄色の実線と縞模様による道路のマーキングのいずれかです。中央分離帯内、中央分離帯の上、または中央分離帯を横切って走行することは違法です。

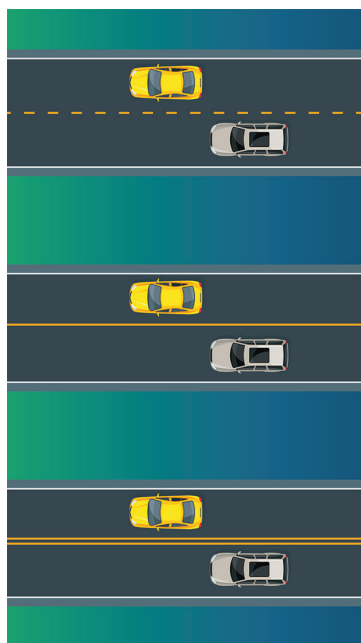




車線間の白の破線は、車線変更のために越えることも、安全な場合には行って構わないことを意味します。

白の実線は、車線変更がどうしても必要な特別な場合を除いて車線内に留まる必要があることを意味します。

二重の白線は車線間の境界です。これを越えるのは違法です。

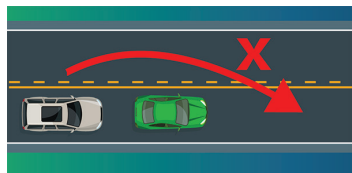


黄色の破線は、対向している2車線道路の中央を意味しています。対向車線を使って他の車を追い越すことも、安全であれば行って構いません。

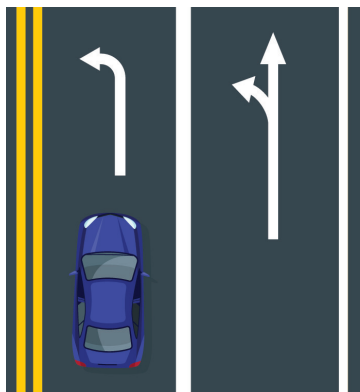
黄色の実線は、道路の端または追い越し禁止区間を意味します。黄色の実線を越えることで他の車両を追い越さないでください。

黄色の二重実線のセンターラインは双方向道路の中央であることを意味します。黄色の二重線がある道路では、どちらの方向でも追い越しは禁止されています。

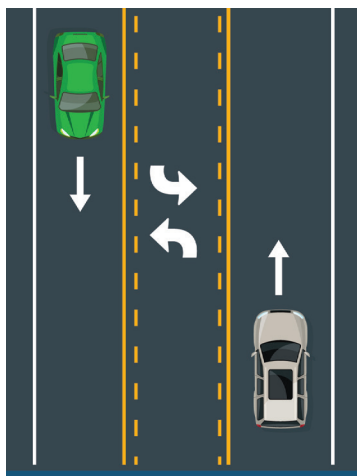




黄色の実線と破線も双方向道路の中央であることを意味します。黄色の実線があなたの道路側にある場合には、追い越し禁止です。黄色の破線があなたの道路側にある場合には、追い越すことも、安全であれば行って構いません。



右左折レーンは通常、大きな交差点にあります。これらのレーン（車線）であることを示す標識と道路のマーキングがあります。これらの車線を規制するのに役立つ矢印信号がある場合もあります。右左折レーンに入った以上、右左折しなければなりません。



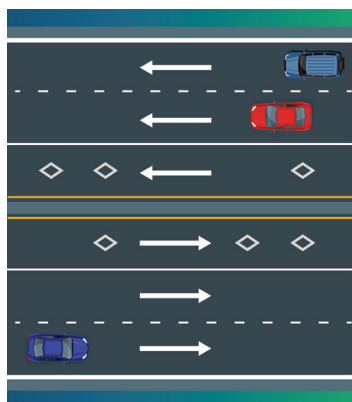
あなたの道路側にある黄色の実線を越えて中央車線に入ることも可能です。この車線には左折矢印が標示されています。

双方向で使用可能なこれらの中央車線は、マーキングされている道路から左折する車両、また左折してマーキングされている道路に入る車両（またはUターンが許可されている場合はUターンする車両）だけが利用できます。

反対方向から来る車に注意してください。それらの車も同じ右左折レーンを使用する権利があります。

これらの車線は追い越しには使用できません。中央車線では300フィート以上走行しないでください。

HOV / カープール



HOV (High-Occupancy Vehicle, 相乗り車両) レーンは相乗り車両、相乗りバン、バスに専用の車線です。HOVレーンは、標識や道路に描かれたダイヤモンド記号で識別されます。このレーンは高速道路上の他の車線とは白の実線で区切られています。車両がHOVレーンを走行するには、標識に掲示されている乗車定員要件を満たしている必要があります。HOVレーンはオートバイも走行できます。





可逆車線

エクスプレスレーンと同様に、可逆車線は、追加の輸送能力が必要となときに1本以上の車線の走行方向を切り替えることができるので、交通渋滞の解決に役立ちます。可逆車線は通常、日々の通勤パターンを反映した定期的な固定スケジュールで運用されます。可逆車線は、重大な事故や事件が発生した場合にも運用されることがあります。

可逆車線は通常、白の二重破線で標示されています。可逆車線を走行する場合は、その前に頭上に標示されている標識を確認します。緑の矢印は、可逆車線が使用可能であることを意味しています。赤いXは、可逆車線が使用不能であることを意味しています。黄色のXが点灯している場合は、車線の変更を意味します。車線から安全に移動できるようになったら、すぐに移動します。

専用車線

専用車線であることは、特別な用途に予約されていることを示す標識や道路のマーキングによって識別されます。専用車線の例としては、バス専用のバスレーンがあります。

有料車線

有料エクスプレスレーンおよび有料相乗り車両レーンでは、バス、相乗りバン、相乗り車両、オートバイには無料の高速移動を提供する一方で、個々のドライバーには、レーン使用料金を支払うことでより速く移動できるオプションも用意しています。

詳細については、wsdot.wa.govで**toll roads**（有料道路）を検索してください。



Washington州で通行料を支払う最善の方法は、Good To Go! アカウントを使用することです。Good To Go! アカウントを使用すると、州内のすべての有料道路で料金を節約できるほか、自動支払いの利便性も得られます。

Good To Go! アカウントの詳細については、mygoodtogo.comを参照してください。

その他の道路のマーキング



横断歩道は、歩行者や自転車が道路を安全に横断できるようにするものです。ドライバーは、横断歩道にいる人や横断歩道に入ろうとしている人に道を譲らなければなりません。

交差点を渡るときや曲がるときは、歩行者や自転車に注意する習慣をつけてください。

横断歩道によっては、横断する歩行者によって点灯する歩道内照明が設置されているものもあります。このような照明が点滅しているときは、道を譲らなければなりません。

すべての横断歩道に標識が設置されているわけではないことに注意してください。すべての交差点は、横断歩道のマーキングの有無を問わず、法的には横断歩道として定義されます。





自転車レーンには白の実線と自転車のシンボルが標示されています。

一部の自転車レーンは、間に斜めの網目模様が入った2本の白の実線で構成される緩衝帯によって、隣接する走行レーンから分離されています。この緩衝帯は自転車レーンの一部と見なされるため、安全を確認した上で交通法を守って方向転換する場合を除き、進入しないでください。

一部の自転車レーンは、車止めポール、支柱、プランターなどによって、車両の通行から物理的に分離されています。



停止線は一時停止の標識または信号の手前に引かれています。停止線または横断歩道（ある場合）の手前で、停止しなければなりません。

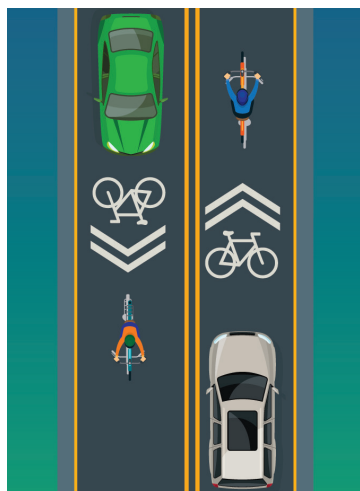


消防車専用車線は通常、赤いストライプまたは赤い縁石を使って示されています。消防車専用車線で駐停車してはなりません。地域によっては、救急車両の通行を確保するために、消防署の前の道路が消防車専用車線として標示されています。





黄色のストライプは通行が禁止されている場所を示しています。

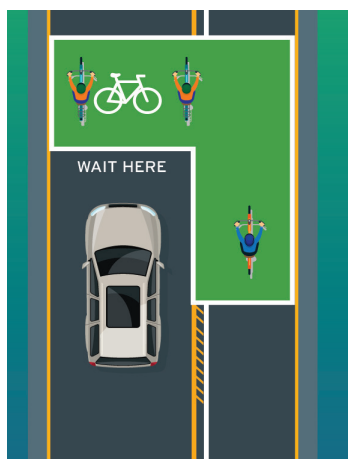


自動車自転車共用道路標示は、車両両レーンが自転車交通と共用であることを示すために使用される道路標示です。

自動車自転車共用標示が見えたら、自転車利用者がいないか注意します。徐行し、追い越し時には3フィート以上のスペースを確保します。

自転車は自動車自転車共用道路標示に合わせて位置取りし、矢印の指す方向に走行しなければなりません。



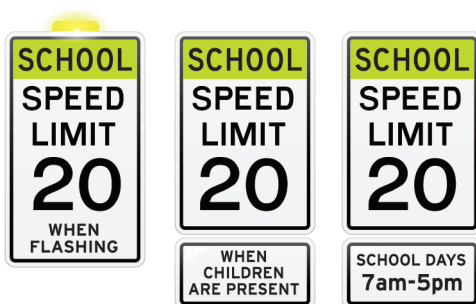


自転車ボックス

信号が青になると、自転車はまず交差点を渡り、交差点の反対側の自転車レーンに入ります。自転車ボックスの近くでは、赤信号のときに右折することはできません。自転車ボックスから自転車がなくなるまで、白線の後ろに留まってください。

交差点では、自転車が車両の前に並んでいなければならないためです。

4.17 | 区間・ゾーン



スクールゾーン

スクールゾーンとは、学校の建物や校庭の周囲にある道路のことです。これらのエリアは、標識、道路のマーキング、点滅灯などで示されています。

スクールゾーンの制限速度は20mphです。これよりも速いと、致命的な衝突のリスクが高まるためです。20mphの制限速度が適用される場合を明確に示す標識が表示されていることがあります。

児童・生徒は放課後に校庭を利用したり、課外活動やスポーツチームに参加したりする場合があることに注意します。学校の近くを運転するときは速度を落とし、気をつけてください。子供たちにとっての危険を軽減するためのあらゆる努力には、時間をかけて努力する価値があります。



工事区間

工事区間とは、道路工事や建設工事が行われているエリアです。車線規制、迂回、移動設備が必要になる場合があります。



車両が通過する際に通行者の安全を守るために働いている人員に注意してください。工事区間で働く作業員も、安全な工事環境を必要としている子供などの人々の親であり、パートナーであり、兄弟・友人でもあります。

作業員の安全を守るためにお願いしたいご協力

- ・ 工事区間に近づくときは、標識、コーン、バレル、大型車両、作業員に注意する。
- ・ 集中力を高めるために注意散漫要因を排除する。音楽の音量を下げ、会話を中断します。
- ・ 作業員がいなくても、工事区間内では常に減速する。車線が狭く舗装が荒れている場合に、危険な状態となる可能性があるためです。
- ・ 車間距離を広げ、周囲の車の流れに注意して、停止の準備を行う。
- ・ 夜間に工事区間を通過する場合は、作業員がいるかどうかにかかわらず、細心の注意を払う。



- ・作業員や工事車両の作業スペースが確保できるように、できるだけ離れる。
- ・End Road Work（道路工事区間終了）の標識が見えるまで、標示されている工事区間標識に従う。
- ・遅延を予想し、それに対する計画を立て、目的地に時間どおりに到着できるよう早めに出発する。
- ・可能な場合は、工事区間を避けるために別のルートを使用する。



救急ゾーン

すぐに対応が必要な状況が道路で発生すると、そのような道路が救急ゾーンに設定されます。そのような状況としては、事故、故障車、救護が必要な人などがあります。こうした状況を事前に想定していた当事者はいないため、他のすべての道路利用者の配慮と忍耐が求められます。

救急ゾーンでは発炎筒や道路標識が使用される場合がありますが、救急対応車両は点滅灯を使用します。点滅灯を点灯させている救急対応車両を見かけたら、すぐに次のいずれかの措置を講じてください。

1. 離れている車線に**移動する**。
2. 標示されている制限速度より10mph以上遅い速度まで**減速する**。
救急ゾーンでは絶対に50mphを超える速度で運転してはいけません。

3. 救急対応車両としては、レッカー車、固形廃棄物トラック、事故対応車両、高速道路保守車両、特定用途車両、警察車両、消防車、救急車などがあります。

作業者が安全に対応できるだけのスペースをできるだけ早く空けてください。あなたが彼らの助けとなることで、彼らが他の人を助けることができるようになります。

4.18 | 駐車

駐車の一般的規則

駐車する車両が他のドライバーに事故を起こさせる原因とならないようにする必要があります。

必ず指定されたエリアにのみ駐車します。駐車を禁止または制限する標識がないかを確認します。駐車制限を示す色付き縁石の標示もあります。駐車する車両が他のドライバーに事故を起こさせる原因とならないようにする必要があります。

駐車禁止場所：

- ・ 交差点
- ・ 横断歩道、歩道、自転車レーン
- ・ 交通信号・一時停止標識・譲れ標識から30フィート以内
- ・ 車道・路地・私道から5フィート以内
- ・ 道路の反対側にある消防署の私道から75フィート以内
- ・ 歩行者安全地帯から20フィート以内
- ・ 鉄道線路上
- ・ 踏切から50フィート以内
- ・ 工事区間内
- ・ 既に駐車している車両の隣（二重駐車）

- ・ 高速道路の路肩（緊急事態の場合を除く）
- ・ 橋、高架、またはトンネルやガード下通路
- ・ 対向車に面して
- ・ 縁石から12インチ超離れて
- ・ 駐車を禁止する標識があるすべての場所
- ・ 消火栓から15フィート以内の場所

上記の駐車禁止場所以外にも、以下の駐車制限規定が、縁石の塗装や標識に標示されている場合があります。

- ・ 白は、短時間の駐車のみが許可されることを意味します。
- ・ 黄色または赤は、荷物積卸し区画や乗降場であること、あるいはその他の制限規定を示します。

パーキングブレーキをかける

必ずパーキングブレーキをかけてください（特に坂道）。

ドアを開ける前に車の往來を確認する

- ・ バックミラーとサイドミラーを確認します。
- ・ ドアから遠い方の手でドアを開けます。これは「ダッチリーチ（Dutch Reach）」方式と呼ばれます。身体を否応なく回すため、近づいてくる自転車が見えるようになっています。また、車のドアを急に開けずに済みます。つまり、自転車利用者に当たらないようにするとともに、接近する車両によるドアの損傷を防ぐことにもなります。

駐車している車の中に子供や動物を放置しない

大人、子供、動物が車から正しく降車できるようにする

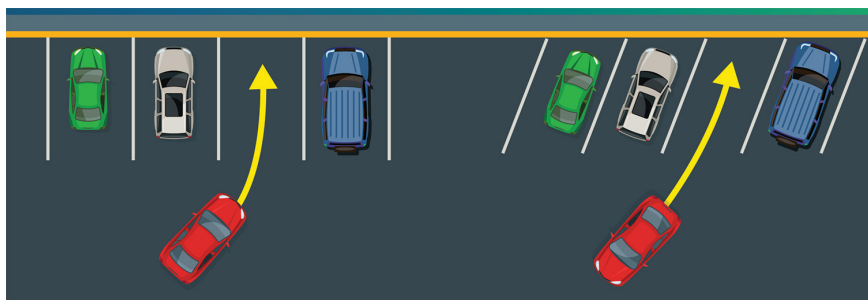
- ・ エンジンのかけたまま駐車している車の中に16歳未満の子供を放置することは犯罪です。



- ・ 駐車している車の中に12歳未満の子供を放置することは犯罪です。
- ・ 過度の暑さ、寒さ、換気不足、必要となる水分の不足により動物が傷ついたり死んだりする可能性がある場合に、動物を車内に放置することは犯罪です。
- ・ 付近に当該車両に立ち入る権限を有する者がいない場合、警察は、子供または動物の健康と安全を保護するため、合理的な手段を用いて直ちにこれらを移動させる権限を有します。警察官、または警察官を雇用する機関は、法律上または安全上の理由で子供や動物を移動させる必要がある場合において車両が損傷しても、損害賠償の責めを負わないものとします。

キーを携行して、ドアをロックする

ドアをロックすることで、不審な侵入者から車を守り、盗難を防止することができます。



直角駐車と斜め駐車

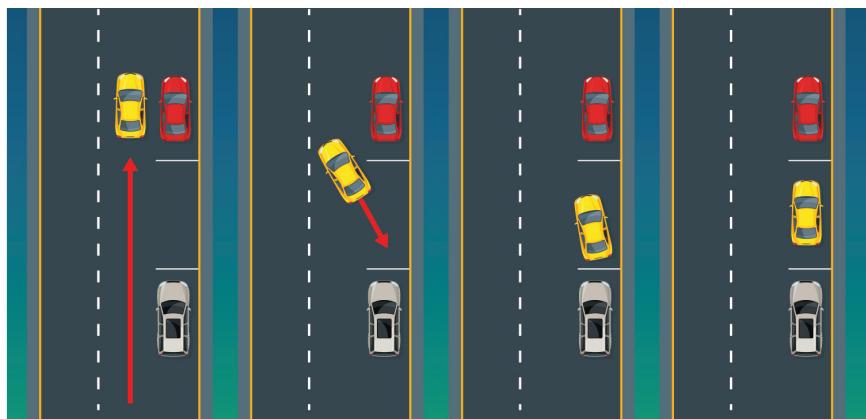
直角または斜めの駐車スペースに入る

1. 駐車できるスペースを探し、車の流れを確認します。
2. 右左折する意思表示をウインカーで行います。
3. 徐々に前進し、ハンドルを必要に応じて左または右に切りながら、車がスペースの真ん中に達するまで進みます。
4. 塗装された線の中に車が入るようにします。
5. 駐車スペースの奥まで移動し、停止して、車をロックします。

直角駐車スペースまたは斜め駐車スペースから出る

1. 全方向の車の流れを確認します。
2. 車の流れを引き続き確認し、自車のバンパーが隣に駐車している車よりも後ろになるまで、まっすぐバックします。
3. 車を移動させたい方向にハンドルを素早く切ります。
4. 駐車スペースから完全に出たら、一時停止します。前進し、スムーズに加速し、必要に応じてハンドルを切って車輪をまっすぐにします。





縦列駐車

縦列駐車スペースに入る

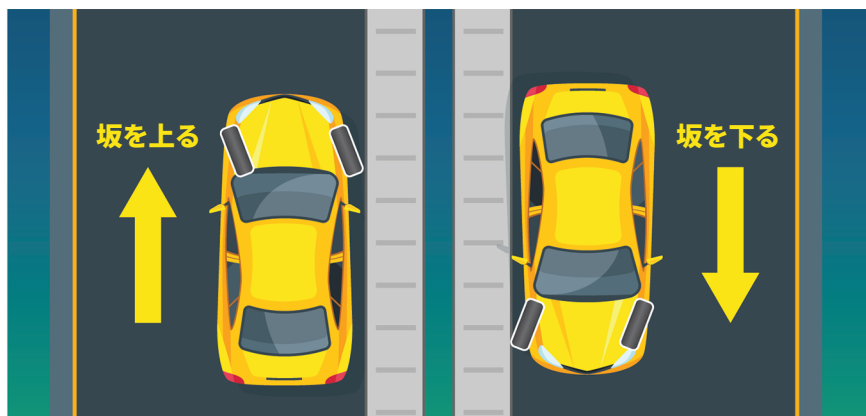
1. 駐車したいスペースを探し、車の流れを確認してウインカーを出します。
2. 自車の進む方向を確認しながらバックします。
3. 自車のフロントバンパーが前に駐車している車のリアバンパーと同じ位置に来るまで、ゆっくりバックします。
4. ハンドルを素早く切り、ゆっくりバックしてスペース内に進入します。
5. ハンドルを素早く切って、車がスペースの真ん中に来るようにします。
6. 後続車のバンパーに触れる前に停止します。
7. 前進することで車を調整して、駐車スペースに入れます。車が縁石から12インチ以内になるように調節します。

縦列駐車スペースから出る

1. 全方向の車の流れを確認し、ブレーキを踏んだまま、バックギアに入れ、後方の車両に近づくまでできるだけ後退します。
2. 車の流れとウインカーを確認します。
3. ゆっくり前進し、ハンドルを切って、車線に入ります。



4. 車のフロントバンパーが前の車にぶつからないか確認します。ぶつかりそうな場合は、バックしてハンドルの角度を変えます。
5. 前方に駐車している車の後部バンパーをフロントドアが越えた場合は、前進して一番近い車線に入ります。



坂道駐車

坂道駐車を行うときは、必ずパーキングブレーキをかける

車が坂を転がっていかないようにする必要があります。パーキングブレーキが利かなくなった場合に備えて、車輪を道路の端に向けておくと、安全性が高まります。

坂上に向けた駐車

縁石の高い坂道では、前輪の後ろ側が縁石に接触するまで前輪が縁石と反対方向を向くようにハンドルを切ります。万一、車が後退し出しても、縁石に乗り上げて停止するようになります。縁石が低い丸い坂道でも、パーキングブレーキが利かない場合に車が後退していかずに横向きになるよう縁石の方にハンドルを切った方が安全です。

坂下に向けた駐車

前輪の前側が縁石に接触するまで前輪を縁石と同じ方向を向くようにハンドルを切ります。万一、車が前進し出しても、縁石に乗り上げて停止するようになります。



縁石がない場合

ハンドルを切って前輪を路肩に向けます。こうしておくことで、車が動き始めた場合でも車の流れとは反対方向に動くようになります。

障害者専用駐車スペース



障害者駐車プレートまたは障害者駐車許可証を所持した車両は専用の駐車スペースがあります。専用駐車スペースの横にある、「通路」と呼ばれる白いストライプの場所は、空けておかねばなりません。必要な許可証を掲示せずにこのような駐車スペースの区画に駐車したり、通路をふさいでいると、罰金が科せられる場合があります。

歩行能力が制限されたり損なったりした障害をお持ちの場合は、一時的または恒久的な障害者駐車許可を申請できます。

駐車許可証は、運転中に視界を遮るので、バックミラーに掛けないでください。

申請するには、あなたとあなたの医師が、**個人用障害者駐車許可申請** (Disabled Parking Application for Individuals) 用紙 (dol.wa.govからダウンロード可能) に記入する必要があります。



電気自動車充電ステーションとしての駐車場



電気自動車充電ステーションに車を駐車しているのに車を充電装置に接続しないのは、違法です。

4.19 | 輸送

けん引

ボート、トレーラー、キャンピングカーなどをけん引する場合は、各製造元の契約、州法、連邦規格に準拠する責任を負います。以下の各項目に関するガイドラインを確認して実行する必要があります。

- ・ 車重制限
- ・ 車両に関する制限規定
- ・ けん引ケーブルとテールライトの接続
- ・ 常用ブレーキ
- ・ 免許と書類

荷物を固定する

荷物を固定せずに運転することは違法であり、非常に危険です。固定していない荷物が滑る・ずれる、空中に飛び出す、道路に落ちるなどして衝突を起こさないように、荷物を固定してください。

車またはトレーラー内で荷物を固定するには、以下の手順を実行します。

- ・すべてをロープ、ネット、またはストラップで固定する。
- ・大きな物体は車またはトレーラーに直接結び付ける。
- ・安全かつ確実に運べる荷物だけを車やトレーラーに積み込む。

動物

- ・保護用のハーネスや囲いなしに、動物を車両の外（トラックの荷台など）に露出した状態で輸送することは違法です。これは、動物の飛び出しや転落を防ぐためです。
- ・Washington州の動物虐待防止法（Prevention of Cruelty to Animals laws）によれば、動物の安全または公共の安全に危険を及ぼすような方法で動物を輸送することは軽犯罪です。何らかの理由で拘留された場合、警察官は車両に積載されている動物を管理できるものとします。動物が警察に拘留されている場合は、動物を引き取る前に拘留の料金を支払う必要があります。
- ・車の安全運転から注意を逸らすような活動を行うことは違法です。動物を車内で放し飼いにしたり、ドライバーの膝の上に乗せたりすると、運転に集中できなくなる恐れがあります。



フェリー

Washington州フェリー（Washington State Ferries）は、州の海上ハイウェイシステムとも呼ばれ、Washington州のハイウェイネットワークの一部です。このネットワークの一部として、あらゆる交通規則が適用されます。

フェリーターミナルに近づくと、指定されたフェリー航路に誘導する標識が目に入るでしょう。既に並んでいる他の車の後ろに停車します。フェリーの行列に割り込むことは交通違反であり、罰金が科せられる可能性があります。住宅街のフェリー待機レーンにいる場合は、住宅の私道や交差点をふさがないようにしてください。

ほとんどのフェリーでは、自動車用待機場所の前に自転車用待機場所が設けられており、自転車は優先的に乗船できます。自転車は、フェリー待機レーンで待機している車両を通り抜けて進むことができます。Washington州フェリーシステムの詳細、運賃、時刻表については、wsdot.wa.govにアクセスして**ferries**（フェリー）を検索してください。

ビーチ

ビーチでの車の運転は、Grays Harbor郡とPacific郡でのみ許可されています。ビーチは州道とみなされるため、運転に関するすべての法規が適用されます。制限速度は25mphで、常に歩行者と自転車に優先権があります。

車でビーチに入る場合は、必ず標識のあるビーチ進入路を通して、固く締まった砂浜の上のみを走行してください。一部の地域および環境ではビーチでの運転を禁止する標識がありますので、注意してください。



第5章 リスク



5.0 | 運転の危険性

運転には重い危険性（リスク）とそれによる深刻な結果が伴うことはご存じのとおりです。あなたも周囲のドライバーも共に事故を起こす可能性があります。危険性は常に存在しますが、安全運転をすることで事故の可能性を減らすことができます。

危険性を回避するには、状況を把握して、予測可能かつ滑らかで熟練した運転をする必要があります。事故を起こさずに上手に運転するには、安全運転の習慣を計画的に身につけ、自身の通常の運転スタイルとして実践する必要があります。

致命的な事故の共通因子

- ・ 速度
- ・ 能力低下
- ・ 不注意
- ・ シートベルトを締めていない乗員
- ・ 経験不足*

*Washingtonでは、16歳～25歳の若者の死亡原因のトップは自動車事故によるものです。この年齢層は、致命的な事故、または重傷を負う事故に遭う可能性が他の年齢層よりも高くなっています。

危険性の認識力

危険性の認識力とは、道路上にある既存の危険と潜在的な危険を識別する能力です。この能力は、事故を回避するために変える必要のある事柄を認識するのに役立ちます。危険性の認識力には、他の道路利用者、気象状況、注意を逸らす可能性があるものに注意する力を含んでいます。

危険性の認識力は、周囲で起こっていることに加え、次に何が起こる可能性があるかを理解することに依存しています。

- ・ 絶えず周囲を見渡す。あなたの前、横、後ろで何が起きているかを常に意識する。これは、周辺視野とミラーを使うことで実行できる。



- ・車の前に十分な距離を空けて、前方の道路で何が起きているかを確認できるようにする。
- ・方向転換が必要な危険を発見したら、後方を確認する。背後で何が起きているかによって、意思決定が影響を受ける場合がある。

危険性を完全に排除することは不可能です。ただし、危険性を特定し、それに応じて運転方法を調整することで、危険性を回避するか最小限に抑える方法を知ることが可能です。

危険要因の予知

危険要因の予知とは、潜在的な危険性がないか道路を見渡し、その可能性が現実化して問題になる前に特定する能力のことです。このスキルは安全運転を行う上で重要であり、事故を防ぐのに役立ちます。危険要因の予知を行うには以下が必要です。

- ・注意力。
- ・迅速な意思決定。
- ・変化する状況に適切に反応する能力。

反応を要求するものはすべて危険要因となり得ます。運転中は常に危険要因がないか注意して、反応する必要があります。

危険要因によっては、速度や方向を変更する必要があります。

- ・危険要因とは、子供が道路に飛び出してくるなどの差し迫った危険のこともあれば、道路にゴミ箱がある、制限速度標識に近づく、自宅の私道への曲がり角に近づくなど、それほど深刻ではない危険のこともある。
- ・静止している危険要因もあれば、移動する危険要因もある。
- ・同時に複数の危険要因が発生する場合もある。どの危険要因に対して最も緊急の反応をするのが必要かを判断するのが、ドライバーとしてのあなたの責任である。

危険要因に近づくときは速度を落とすことで、安全な判断を下すための余裕時間を確保します。



状況認識

状況認識とは、周囲で何が起きているかを観察し、準備すべき反応を予測することです。これは継続的に行わなければいけません。

あなたの運転によって影響を受ける可能性のある、あなたの運転の意図を知らせたい相手を知る必要があります。あなたの運転によって最も影響を受けるのは、あなたの後ろにいるドライバーたちでしょう。

危険管理

道路上では、数え切れないほど多くの状況に遭遇します。1つ1つの状況を予測したり備えたりすることは困難です。したがって、そのようにするのではなく、以下を行う必要がある危険対応行動パターンを身につけてください。

- ・ **計画する。** 周囲を見渡して、起きようとしていることを確認する。必ずバックミラーを見て、自分の後ろで何が起きているかも確認する。自分が行おうとしている変更が安全であるかを判断する。
- ・ **伝える。** 自分が何を計画しているのかを他の人に伝える。方向指示器を使い、あなたの意図が他の人達に伝わるようにする。
- ・ **確認する。** 中程度のブレーキングで変更が行える十分な車間距離を確保できるように、車の位置と速度を調整する。ミラーを再度確認し、歩行者や自転車がいないかどうかを肩越しに確認する。他のドライバーが同じスペースに移動しようとしていないことを確認する。
- ・ **実行する。** 変更を滑らかに行う。誰も驚かせることのないようにする。必要に応じて計画を変更する準備もしておく。
- ・ **評価する。** 行動の結果について考える。今回取った行動パターンを次回向けに調整する必要があるかどうかを判断する。



5.1 | スピード

たとえ急いでいるとしても、スピードを出し過ぎるリスクにはその結果に見合う価値はありません。スピードの出し過ぎは道路上の誰をも危険にさらすためです。あなた自身やあなたのことを気にかけている人、道路を共用している他のドライバーやその家族を守るために、標示されている制限速度を守ってください。

標示されている制限速度を守ることは、法律に従う以上の意味を持ちます。たとえ急いでいるとしても、スピードを出し過ぎるリスクにはその結果に見合う価値はありません。スピードの出し過ぎは道路上の誰をも危険にさらすためです。安全を最優先し、制御を維持し危険に反応できるスピードで運転してください。

必要以上のスピード

制限速度を超えて走行すると、自転車、他の人達、自身に危害を及ぼす可能性があります。必要以上のスピードを出すと、次のような問題が発生する可能性があります。

- ・ **シートベルトの効果を低下させる。** シートベルトは衝突時にドライバーを守るために設計されていますが、速度が高くなると効果が低下する。
- ・ **危険がないか見渡す能力が制限される。** 走行速度が速いほど、前方の道路を見渡して歩行者、自転車、他の車両などの危険が潜んでいないかを確認する時間が短くなる。
- ・ **車両制御とトラクションコントロールが低下する。** 特に雨や雪などの悪天候では、高速走行時に車両制御が難しくなることがある。スリップしたり、完全に制御を失ったりする場合がある。
- ・ **停止距離が長くなる。** 速度が速いほど、車両を停止させるのに時間がかかる。このため、急ブレーキをかけなければならない場合に衝突の危険性が高まる。
- ・ **自身で進行路を評価して必要な変更を行える時間が短くなる。** スピードを出すと、カーブ、交差点、障害物など、道路の変化に反応する時間が短くなる。



- ・衝突時の怪我の重症度が高くなる。速度が高いほど、衝突時の衝撃力は増大するため、より重度の怪我や死亡につながる。

制限速度

制限速度とは、理想的な条件下での適法な最高速度を示します。また、Washingtonの法律では、現在の道路状況に応じて安全な速度で走行することが義務付けられています。つまり、悪い状況では速度を落とすということです。制限速度以下での走行が適法であるのに対し、制限速度を超えた速度での走行は違法となります。

標示されている制限速度に関係なく、常に状況に応じた安全な速度で走行する責任がある

状況に応じて速度を調整する

スピードの出し過ぎは、不必要な危険を呼ぶ可能性があります。遅れても到着できれば、到着しないよりはましです。次のような状況では速度を落とします。

- ・視界が制限される急カーブや坂道
- ・雨、雪、氷によって滑りやすくなっている道路
- ・歩行者、子供、自転車、動物がいる場所
- ・ショッピングセンター、駐車場、人通りの多い場所
- ・ひどい交通渋滞
- ・狭い橋やトンネル
- ・住宅地

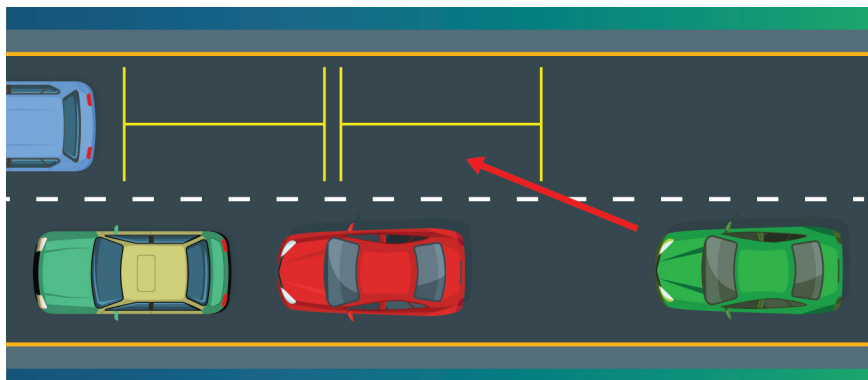


5.2 | スペース

運転中にスペースを判断できることは重要なスキルです。運転に熟練するまでには時間と練習が必要なため、初級ドライバーはより大きな危険にさらされることになります。スペースは距離や時間で判断できますが、常に道路上での自分の位置を評価する必要があります。運転中は周囲に十分なスペースを確保するようにします。

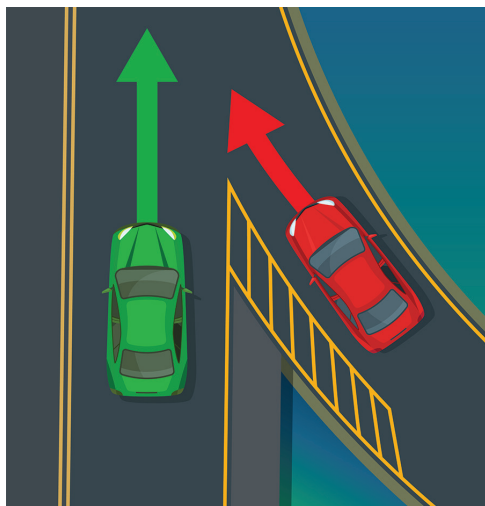
車の周囲に十分なスペースを空けることで、危険性を軽減できるだけでなく、必要に応じて別の進行路を決定する時間を確保することもできます。これにより、進行路に問題が発生した場合に、対処するための余地が新たに生まれます。

前方の車両に近づいている場合は、自車の長さの2倍以上の車間距離を空ける必要があります。合流する場合は、十分なスペースを確保して、**計画する、伝える、確認する、実行する、評価する**を行う危険管理の行動パターンを正しく適用します。



5.3 | 合流

合流する場合は、十分なスペースを空けて車線に入ること、周囲のドライバーが急に方向転換・減速・一時停止しないで済むようにします。特に前のドライバーが一時停止または減速する必要がある場合に、非常に狭いスペースの中へと合流しようとするのは危険です。



インターステイトをすでに走行しているドライバーには優先権があるため、合流できるだけのスペースを空けるには、必要に応じて加速または減速します。インターステイトに安全なスペースで合流するには、進入車線全体、方向指示器、ミラーを使用します。

交互合流

車線規制により車の流れが遅くなっているときや止まっているときは、滑らかかつ効率的に合流することが重要です。交互合流とは次のような特徴を持ちます。

- ・車の流れを60%改善する。
- ・予測可能な合流パターンを想定し、突然の車線変更による衝突のリスクを軽減する。
- ・長い行列によるイライラや、行列に割り込む誘惑を避けるのに役立つ。

交互合流を行う方法。

- ・ **自分の車線に留まる。** 指定されている合流エリアに到達するまでは、現在の車線を有効に使い続ける。



- ・ **順番に合流する。**ジッパーの歯が噛み合うように、他の車線の車両と交互に合流する。
- ・ **礼儀正しく行動する。**合流元の車線であなたの1台前にいる車が合流するのを待ってから、合流先の車線に合流する。
- ・ **速度を維持する。**合流先の車線の交通速度に合わせて、合流速度を一定にする。

5.4 | 時間

リスクを軽減するには、車の流れを評価してその中を移動できるだけの十分な時間を取ります。視界リードタイムなどのテクニックを使用すると、道路の前方を見渡して潜在的な危険がないか見つけることができます。視界リードタイムは防御運転の重要な要素です。視界リードタイムにより、危険を確認し、分析して、反応する時間を確保できます。前方と側方の見える範囲を見渡します。ミラーで後方を見渡します。危険の特定が早いほど、それに備える時間が増えると共に、周囲の人々があなたの反応に適応する時間を長く取ることもできます。これは予測的な運転方法です。この方法で運転した方が、自分の反応に頼って危険を回避するよりも危険は少なくなります。

秒数を数える

自車の移動先スペースを短時間で判断する練習を行うために、次の簡単な演習を行います。

1. 道路標識や電柱など、車両の15秒先にあると思われる目印を見つける。
2. 目印に到達するまでの秒数を数える。

秒数を数える前に推測することで、数秒後の自車の移動距離を正確に見積もる能力を養うことができます。この方法を練習し続けると、より正確に見積もれるようになります。

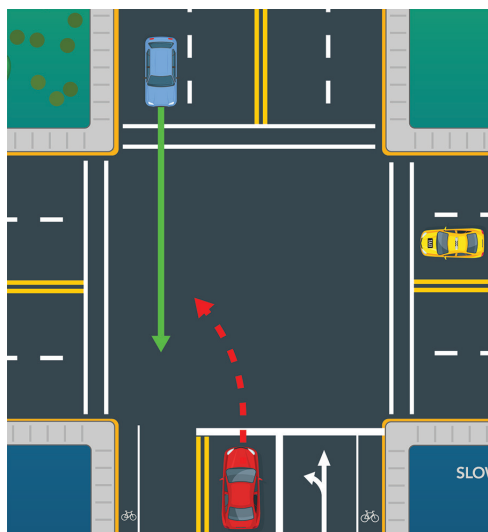
予測できない交通状況で一時停止したり、障害物を回避したりする時間を取ることは、不可欠です。十分な時間があれば、交通状況における選



択肢を評価し、優先付けすることができます。これはパニックや衝動的な反応を軽減するのに役立ちます。

接近してくる車両の前で曲がる

経験を積み上げ上達するものの、対向車が来たときにどれぐらいの時間をかけて曲がらなければならないかを判断するのは難しい場合があります。このための時間は足りないよりも多すぎる方が良いのです。



接近してくる車両に優先権があることを覚えておいてください。対向車が道路脇の木などの目印を通過するのを観察し、あなたが曲がろうとしている道路を通過するまで何秒かかるかを数えます。

その時間を、その次の車両が同じ距離を移動するのにかかる時間として使用できます。これで、安全に曲がるのに十分な時間があるかどうかわかります。



交通の流れに入ろうとする場合にも、同様のことを行う必要があります。進入先の交通の流れに影響を与えずに曲がり切るには、時間が必要です。曲がるときに対向車の速度と同じになるまでには十分な時間が必要なのです。



5.5 | 集中力

集中することで、道路の安全と状況を優先的に考えることができますようになります。

- ・ **集中する**。運転に全力を注ぎ、集中する。携帯電話や車内エンターテインメントシステムなどの気を散らすものをオフにする。
- ・ **準備する**。前方の道路を見渡して危険を予測する。交通状況に注意し続ける。
- ・ **予測する**。道路状況、天候、交通状況に応じて速度と運転行動を調整する。

注意力

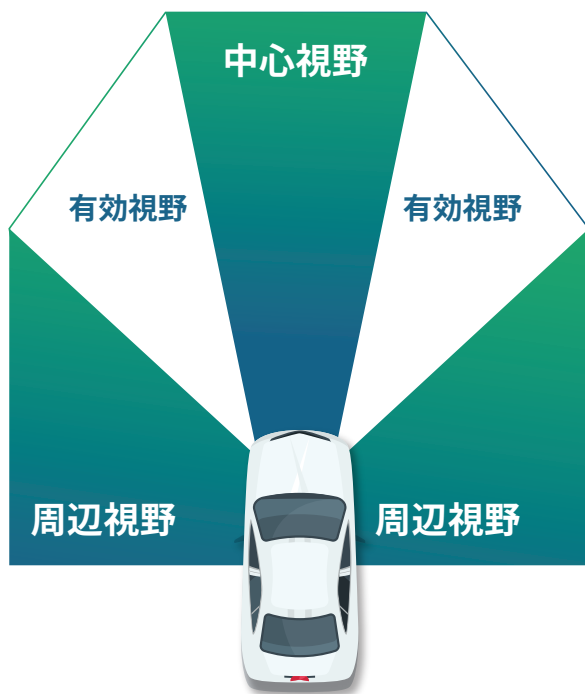
安全運転には細心の注意が不可欠です。脳は一度に1つのことにしか集中できません。運転中は絶えず注意を怠らないようにします。視覚上の焦点を合わせる対象と、心の中で注意を向ける対象を一致させます。あなたの注意力こそは、道路上にある資産の中で最も貴重なものです。

自身の内外の原因によって注意散漫にならないようにします。たとえ数秒でも注意散漫になると、壊滅的な結果を招く可能性があります。集中力を維持し、注意散漫になるのを避けることで、事故に巻き込まれるリスクを大幅に減らすことができます。

視野

運転中は3種類の視覚を使用します。速度が速くなると、どのタイプの視野の質も低下します。

1. **中心視野**では、正面にある物の細部まで見ることができる。ここに書かれている文字を読むのにあなたが使っている視野が中心視野である。
2. **有効視野**では、本ドライバーガイドのページの端が見えている。見ることはできるが、あまり焦点は合っていないかもしれない。
3. **周辺視野**は、これらの文字に焦点を合わせたまま、自身の側方を見ることができる視野のことである。側方とは、あなたがいる部屋の壁だったり、あなたを通り過ぎて歩いていく誰かかもしれない。



進行路

進行路とは、ある場所から別の場所まで運転していく場合のルートまたはコースのことです。

必要に応じて進行路を変えなければならないときがよくあるでしょう。危険や気象条件のため、または別の方向に移動する必要があるために、調整が必要になることがあります。別の目標領域および意図する進行路をイメージする必要があります。

運転の中で大きな割合を占めるのは、現在地から目的地に着くまでの間に、視覚上の焦点と心の中で注意を向ける対象を絶えず切り替えることです。



視線

いったん目的地を選択すれば、視線はあなたとその目的地の間に存在するようになるものです。進行路と視線の間で、視覚上の注意対象と心の中の注意対象を繰り返し素早く切り替えることになります。以下のものの中で、視覚上の焦点と心の中の注意対象を区別することになることを認識します。



- ・ 進行路
- ・ 視線
- ・ 意図する目標領域
- ・ 既存の危険と潜在的な危険
- ・ 自転車（内部および外部）
- ・ 他の道路利用者
- ・ あなた自身

情報収集

意図的な集中と絶えざる注意力は、運転中に賢明な判断を下すために必要となる情報を収集するのに役立ちます。進行路と視線を見渡すことは絶えず行うプロセスであるため、特に初めて運転を習うときは緊張する場合があります。常に注意を払い、気を散らすものを最小限に抑える習慣と行動パターンを身につけて、成功への道を切り開きましょう。

5.6 | 道路状況と走行条件

運転には、制限速度を守り、道路状況に合わせて調整を行うことも含まれています。たとえば、車両の制御を維持するために減速が必要な場合としては、急カーブの前、道路が滑りやすいとき、道路に水があるときなどがあります。危険に対する認識、意思決定、賢明な選択は、さまざまな状況でどれだけ安全に走行できるかに大きな影響を与えます。

夜間運転

夜間は見えにくいので、次の点に注意します。

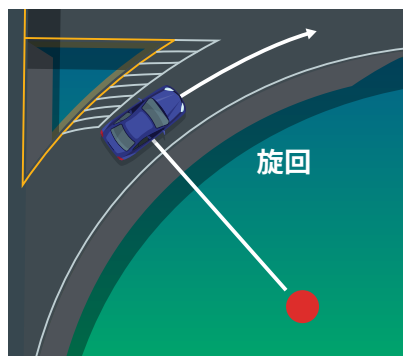
- ・ ヘッドライトの光の範囲内（通常400フィート）で停止できる速度で運転する。
- ・ 対向車がいなるときは必ずハイビームを使用する。接近してくる車両があるときは、通常のヘッドライトに戻す。
- ・ 他の車の後ろを運転するときは、通常のヘッドライトを使用する。



- ・対向車のヘッドライトを直接見ないようにする。自車の前方の道路に目を向ける。
- ・ヘッドライトのビームの先に目を向ける。道路上に暗い人影や輪郭がないか注意する。
- ・時々横を見て、舗装の端を確認する共に、そちらから来る可能性のある危険を察知する。
- ・夜間や曇りの日に運転するときは、サングラスや色付きレンズを着用しない。黒や様々な色に着色されたレンズは視覚を低下させる。
- ・夜間運転をする場合や、夜間によく知らない道路を運転する場合は、車間距離を広げる。

ハイビームを点灯した車がこちらに向かってきたら、ヘッドライトに気を取られないようにするため、道路の右側を見てください。

カーブ



カーブを走行するには、道路への注意と車両の制御が必要です。滑らかなハンドル操作と賢明な運転習慣により、道路上における自車の位置とバランスをある程度制御できます。自分では制御できない運動の法則も、道路での位置とバランスに影響を与えます。



カーブに近づく際は

- ・ **速度に注意する。**カーブに入る前に速度を落とす。これにより、タイヤのグリップが維持されるので、車両がスリップしたり道路から逸脱したりするのを防ぐことができる。上り坂のカーブでは更なる加速が必要になることがあるのに対し、下り坂のカーブでは更なる制動が必要になることがある。
- ・ **前方を見る。**前方の道路を見渡して、急カーブや長いカーブに備える。これは、適切な速度とステアリングの調整を決定するのに役立つ。
- ・ **最適な車線位置を選択する。**カーブに近づくときは、車を車線の少し外側に寄せる。これにより、運転の余地が広がり、カーブ周辺の視界も広がる。

カーブに入ったら

- ・ **一定の速度を保つ。**カーブでは急ブレーキや急加速を避ける。そうすると、車両のバランスが崩れ、制御不能になる可能性がある。
- ・ **穏やかにハンドルを操作する。**カーブでは滑らかに、かつゆっくりハンドル操作を行う。車両のスリップを引き起こす可能性があるオーバーステアや急な動きを避ける。
- ・ **すぐに調整できるようにしておく。**道路状況、視界、他のドライバーの行動に応じて、速度やハンドルを調整できるようにしておく。

カーブから出る際は

- ・ **徐々に加速する。**カーブから出たら、希望する元の速度まで徐々に加速する。こうすることで、安定性を維持し、スムーズに直進状態に戻ることができる。
- ・ **ミラーを確認する。**必要に応じて合流や車線変更を行うのに十分なスペースがあることを確認するため。



運動の法則

カーブを走行する場合、車両に作用する力を理解することに加え、制御を維持するために運転を調整することが必要です。

- ・ **ロールとヨー**。ロールは曲がるときにおける車両の傾き具合に影響を与えるのに対し、ヨーは左右方向の動きに影響を与える。どちらも車両制御を維持する上で重要である。カーブを走行する際にロールとヨーのバランスを取るには、速度とステアリングを調整する。
- ・ **運動量**。車は直線で走行している場合、その方向の運動量を持つ。これに対し、カーブに入る場合は、車両の方向と運動量を変更する必要がある。
- ・ **慣性**。カーブでは、車は直線で走行し続けるための、わずかに外側へ引っ張られるような力が働く。急にハンドルを切っても、慣性により車は直進しようとする。そのため、スムーズに曲がるには注意深くハンドル操作を行う必要がある。
- ・ **運動エネルギー**。速度が速いほど、運動エネルギーも高くなり、停止したり方向転換したりするために必要な時間と距離も長くなる。カーブで減速すると、車両の運動エネルギーが低下し、トラクションや制御を失うことなく曲がることができるようになる。
- ・ **摩擦**。摩擦とは、タイヤと路面の間に作用する力のことである。摩擦があることで、車両が路面をしっかりとグリップすることができる。摩擦が大きいほど、タイヤは路面をよりしっかりとグリップできる。これは、安全に減速、加速、または右左折するのに役立つ。雨、雪、みぞれによって道路が滑りやすくなると、カーブでの摩擦が大幅に低下する可能性がある。このような状況では、さらに速度を落とし、急な動きを避ける。



滑りやすい道路



Washingtonの天候により、道路が滑りやすくなることがあります。雨、雪、みぞれが道路上の危険を生み出すのです。道路が滑りやすい場合は、そのような状況に合わせて運転を調整する必要があり、規定の制限速度を下回る速度で運転しなければならない場合があります。

暑い日に雨が降り始めた場合は、最初の数分間は道路が非常に滑りやすくなります。温められることにより、アスファルト内の油が路面に浮き出ています。その油が洗い流されるまでは、道路が滑りやすくなるのです。



雪道の場合は、車間距離を長くし、速度を大幅に落とす必要があります。



- ・必要に応じてスノータイヤまたはチェーンを使用する。
- ・冬季月間は、タイヤにチェーンを履かせたりスパイクタイヤに交換したりすることで、トラクションを向上させることができる。

凍結した道路はできるだけ避けてください。凍結した道路を運転する必要がある場合は、速度を落とし、車両の周りのスペースを多めに取ります。

- ・雨が降る寒い日には、日陰の場所が凍結する場合がある。
- ・高架やその他の種類の橋は、道路の他の部分が凍結していない場合でも凍結することがある。
- ・氷点下の気温が氷点近くまで上がると、氷が溶けて濡れることがある。これにより、道路がより滑りやすくなる。
- ・薄氷とは、ドライバーから見えにくい薄い氷の層のことである。氷が見えなくても、氷点下または氷点近くの気温で運転するときには注意する。薄氷で車両の制御を失って事故を起こすドライバーが大勢いる。

スリップ

スリップは、タイヤが路面をグリップできなくなったときに起こります。高速走行時や路面が滑りやすいときは、急に曲がったり停止したりするとスリップする可能性が高くなります。車両がスリップすると制御できなくなるため、まずスリップしないようにすることが最適です。

スリップした場合は、次の手順を実行します。

1. **アクセルから足を離す。**
2. **ブレーキを踏むかポンピングする。**アンチロックブレーキは、より速く減速するように車輪の回転を制御するのに役立つ。アンチロックブレーキを掛けても、引き続き車両のステアリングを行える。アンチロックブレーキが装備されていない車両の場合、ブレーキペダルを素早く踏み込むと、スリップがさらに悪化する可能性がある。
3. **車が向かっている方向と同じ方向にハンドルを切る。**



4. **ステアリングを修正し続ける。**タイヤがグリップを取り戻し、ハンドルを切った方向に進むまで、ハンドルを調整する。
5. **状況を評価する。**制御を取り戻した後は、道路状況を考慮し、必要に応じて運転行動を調整する。

ハイドロプレーニング現象

ハイドロプレーニング現象は、タイヤと路面の間に水が溜まったときに起こります。ハイドロプレーニング現象により、タイヤのグリップが失われ、スリップが起きます。車両が浮いたり滑ったりしているように感じられ、制御を維持するのが難しくなります。ハイドロプレーニング現象を防ぐ最善の方法は、路面が濡れているときに速度を落とすことです。

ハイドロプレーニング現象が起きた場合は、以下のことを行ってください。

1. **アクセルから足を離す。**
2. **ブレーキを軽く踏む。**アンチロックブレーキは、車が道路を再びグリップできるようにするのに役立つ。アンチロックブレーキが装備されていない車両の場合、ブレーキペダルを強く踏み込むと、ハイドロプレーニング現象がさらに悪化する可能性がある。
3. **ハンドルを安定させる。**ハンドルを元に戻し過ぎたり、急に切ったりしない。
4. **目的地を見据える。**タイヤがグリップを取り戻すまで静かに待っている間、道路に集中し続ける。
5. **状況を評価する。**制御を取り戻した後は、道路状況を考慮し、必要に応じて運転行動を調整する。

5.7 | 車両故障

道路上で車両トラブルが発生した場合のアドバイスとして、次のようなものがありますので、覚えておいてください。

- ・可能であれば、道路から外れ、車の流れから出る。
- ・他のドライバーからあなたの車がはっきり見える場所で停止する（特に道路から外れることができない場合）。カーブの近くや坂道で停止することは避ける。
- ・非常灯とヘッドライトを点ける。
- ・緊急発炎筒を車両の後方200～300フィートに設置して、他の道路利用者に警告する。
- ・緊急発炎筒やその他の警告装置がない場合は、安全な場所に立って、他車に手を振って自車から離れるように誘導する。
- ・ボンネットを上げるか、アンテナ、サイドミラー、またはドアハンドルに白い布を結び付けて、緊急事態であることを知らせる。

タイヤ

タイヤが、パンクしたり突然空気が抜けたりした場合は、以下の手順を実行します。

- ・ハンドルをしっかりと握り、車を直進させる。
- ・徐々に速度を落とす。アクセルから足を離す。
- ・ブレーキはかけない。（車両を自然に減速させる）。または、必要に応じて軽くブレーキをかける。
- ・可能であれば、安全な場所に車を停めて、非常灯を点灯する。タイヤを交換するための安全な場所に移動できない場合は、非常灯を点灯し、車内に留まり、助けを求める。
- ・タイヤを修理または交換する。

動力

運転中にエンジンが停止した場合は、以下の手順を実行します。

- ・ ハンドルをしっかり握る。ハンドルは切り難いかもしれませんが、切ることはできる。
- ・ 避難路を探す。急ブレーキはかけない。代わりに、ペダルに一定の圧力をかけながらブレーキをかけ、速度を落としてから車道から外れる。
- ・ 停止してから、エンジンの再始動を試みる。エンジンが始動しない場合は、ボンネットを開けて非常灯を点灯する。助けを求める。

ヘッドライト

ヘッドライトが突然消えた場合は、以下の手順を実行します。

- ・ 非常灯、方向指示器、またはフォグランプがある場合は、点灯する。
- ・ できるだけ早く道路から外れる。

アクセル

車両の加速が止まらない場合は、以下の手順を実行します。

- ・ 視線を常に道路に向けておく。
- ・ すぐにニュートラルに入れる。
- ・ 安全になったら、道路から外れる。
- ・ エンジンを切る。

5.8 | リスクを伝える

リスクは、都会・田舎、高速道路・裏道・駐車場・私道のいずれにも潜んでいます。既存のリスクと潜在的なリスクのすべてを常に把握しておきます。必要に応じて、リスクが存在することを他の人に伝えます。灯火信号、クラクション、手信号は、思慮深く使用できるかどうかについては状況によって異なるかもしれませんが、他の道路利用者とコミュニケーションを取るための効果的な方法にはなり得ます。





5.9 | 衝突事故

どのようなドライバーでも、いつの日か緊急事態に陥る可能性があります。どれだけ注意していても、問題が起きる可能性のある状況は存在するためです。すべてのドライバーには事故を防ぐ責任があります。場合によっては回避操作が必要になりますが、物理法則の基本を理解しておく、事故を回避するのもにも役立ちます。どれだけ上手に運転していても、衝突事故に巻き込まれる可能性はあります。

衝突事故には通常、次の3要因があります。

1. スピードの出し過ぎ
2. 車間距離が短過ぎる
3. 状況認識が不十分

衝突事故を起こした場合

- ・ 車で走り去らない。負傷者または死亡者が出た場合は、911に電話する。警察に通報しなければいけない。
- ・ 衝突事故現場に近い道路脇に車両をできるだけ早く移動させる。
- ・ 車線上に立ったり歩いたりしない。別の車に轢かれる可能性がある。



- ・事故が起きたことを他のドライバーに知らせるために、発炎筒などの警告装置を使用する。
- ・事故車両のエンジンを切る。
- ・事故車両の周囲では喫煙しない。燃料がこぼれている可能性があり、その場合には火災の危険があるので。
- ・駐車中の車両が衝突事故に関係している場合は、所有者の所在を突き止めなければいけない。突き止めることができない場合は、すぐに見える場所にメモを残す。メモには、衝突事故の日時とあなたの連絡先情報を記載しておく。

事故を報告する

衝突事故が発生したら、事故を報告するのに役立つ情報を収集します。

- ・関係者から情報を収集する。また、あなたの情報も共有する必要がある。やり取りする必要がある情報。
 - 氏名、連絡先、運転免許証番号
 - 保険会社と保険証券番号
- ・車両の損傷がある場合は、写真または動画を撮影する。
- ・要請があれば、警察などの緊急事態対応担当者に情報を提供する。
- ・警察官が衝突事故報告書を提出してくれない場合は、4日以内にあなた自身が提出する。この報告書の提出は州法により義務付けられている。dol.wa.govにアクセスし、**collision report form**（衝突事故報告書）を検索する。

怪我を報告する

事故を起こしたときに怪我を負ったことにより、さらなるストレスを負う場合があります。冷静さを保つようにして、自分自身が大丈夫かを確認してから、他の人を助けます。

- ・911に通報する。
- ・負傷者は、燃えている車両に乗っている場合やそれ以外の差し迫った危険の中にいる場合を除いて、移動させない。



- ・ 歩いたり話したりできていない人を助ける。呼吸があるかを確認してから、出血がないかを確認する。
- ・ 出血が見られる場合は、次の手順に従う。
 - 患部を両手で押す。
 - 包帯などを巻く。
 - 止血帯を装着する。
- ・ 負傷者には水でさえ飲ませてはいけない。
- ・ 負傷者を毛布やコートで覆い、温かく保ち、ショック状態を予防する。

911に通報する

自動車事故が発生した場合には、緊急救助を依頼するために911に通報することが重要です。以下の点に注意してください。

1. **冷静を保つ。** 平静さ・冷静さを保つようにする。こうすることで、救急指令員に明確かつ正確な情報を提供できるようになる。
2. **状況を見極める。** 事故の深刻度と自分や他人の負傷の有無を手早く見極める。

911の救急指令員と話すときは、次の手順で行います。

1. **現在地を伝える。** 近くが目印になるものやマイル標識など、自分の現在地を救急指令員に明確に伝える。現在地が不明な場合は、緊急時対応者があなたを見つけられるように、できるだけ詳しい情報を伝える。
2. **状況を説明する。** 事故に巻き込まれた車の台数、損害、負傷者の有無など、事故の概要を伝える。
3. **救急指令員の指示に従う。** 救急指令員は、質問をすることで、状況を評価して指示を与える。
4. **詳細を伝える。** 求めに応じて、さらに詳細な情報を提供できるように用意しておく。そのような情報としては、車種、ナンバープレートの番号、その他の危険などがある。

5. 電話を切らない。救急隊員が到着するまで、救急指令員と電話で話し続ける。

送電線への接触

送電線が車に接触している場合は、車から降りないでください。

事故に送電線が関係する場合は、感電死しないようにするための特別な対策を講じる必要があります。エンジンを切り、911に通報して、緊急時対応者が到着するまで車内に留まってください。送電線の通電の方法・タイミング・有無を知ることはできませんが、通電されているものと考えてください。

誤って送電線上を通行してしまった場合は、直ちに停車してください。前進または後進すると、感電する危険があります。911に通報し、「外に出ても危険ではありません」と指示されるまでは車内に留まります。

送電線が車の上に掛かってきたり、車がトランスボックスにぶつかったりした場合は、車内に留まり、911に通報します。車の周囲の地面も通電している可能性があります。可能な場合、他の人達に35フィート以上離れるように促します。

車が送電線に接触して火災が発生した場合は、車から脱出する必要があります。車からジャンプして脱出することが非常に重要です。ドアを開け、ドア枠の上にしゃがみ込みます。両腕を体の横につけたまま、車からジャンプして脱出します。その際、車に触れないように注意します。両足が同時に着地するようにします。感電しないよう、35フィート離れた安全な場所まで足を地面から離さないように移動します。安全であるという指示があるまでは、荷物を取りに車内に戻らないでください。

事故を目撃した場合

- ・ 緊急時対応者の邪魔をしない。
- ・ 現場で交通を誘導する権限を持つ警察官や消防士などの担当官の指示に従う。
- ・ 現場を通過する際には、運転に専念することで、緊急時対応者や事故現場の関係者を煩わせないようにする。速度を落として現場を眺めていると、交通渋滞が発生する。

緊急キット

車内に緊急キットを常備することをお勧めします。緊急時にあると便利なアイテムをいくつか紹介します。

- ☐ 救急箱
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 毛布
- ☐ 水
- ☐ ブースターケーブル
- ☐ ツールキットまたは多目的ユーティリティツール
- ☐ 予備の携帯電話充電器または電源
- ☐ スペアタイヤ、ホイールレンチ、ジャッキ
- ☐ 反射三角形や発炎筒

重要な電話番号（家族、保険会社）が記述されたメモを備えておくことをお勧めします。電話のバッテリーが切れたときに、別の電話から連絡するのに助けになります。



5.10 | 法執行機関

Washingtonの道路は警察と州の機関によって管理されています。走行中に、州、郡、または地元の警察官や緊急時対応者に遭遇する場合があります。



停車させられる

警察車両は、ドライバーを停止させようとするときには、点滅灯を点灯したりサイレンを鳴らしたりして停止させます。警察官に停車を求められた場合は、以下の手順で停止します。



1. すぐに方向指示器を点滅させ、安全が確認されたら道路の右側に寄る。



2. エンジン进行を切り、ラジオなどのオーディオ機器をオフにする。



3. 警察官から車から降りるよう指示されない限り、車内にいる。





4. 夜間に車を止められた場合は、室内灯を点灯する。警察官は、見やすくするためにサーチライトを当ててくる場合がある。



5. 両手はハンドルに置いたままにする。



6. 警察官があなたや同乗者に与えたすべての指示に従う。

警察官は、車の左側に近づいてくる場合もあれば、右側に近づいてくる場合もあります。警察官が車に近づいてきたら、以下の手順を実行します。

1. あなたと警察官がコミュニケーションを取れるよう、当該の窓を下げる。
2. 車内に武器を携行している場合は、直ちに警察官に知らせる。
3. 運転免許証または車両書類の取り出しを命じる警察官の指示を待つて、それらを取り出す。

警察官は、車を止めた場合、通常、以下のことを行います。

- ・ あなたの車を止めた理由を説明する。
- ・ 以下の提示を求める。
 - 運転免許証 (Driver license)
 - 保険証書 (Proof of insurance)
 - 車両登録証 (Vehicle registration)

これらの書類を取り出す前に、これらの書類の保管場所を警察官に伝えます。

- ・ 警察官は、どのような措置を取ろうとしているのか（警告や切符の発行、逮捕など）を説明する。警察官が取ろうとしている措置について説明しない場合は、あなたは説明を警察官に求めることができる。



警察官に敬意を持って質問することは許可されています。警察官の決定や一連の措置に同意できない場合でも、警察官と口論することでやり取りを長引かせないでください。決定への異議申し立ては裁判所で行うことができます。

警察官の措置が不適切だと思われる場合、またはその措置について疑問がある場合は、警察官の所属機関に電話または連絡して、上司の呼び出しを要求することができます。これは、車を止められてからできるだけ早く行うことをお勧めします。

交通違反切符を切られる場合

交通違反切符を切られた場合は、その切符に署名することを求められます。ただし、あなたが承諾して署名したからといって、罪を認めたことにはなりません。しかしながら、交通違反切符への署名を拒否すると、逮捕される場合があります。

運転免許が停止されないようにするには、切符の裏面に記載されている手順を15日以内に実行する必要があります。免許停止中に運転すると、車を没収されたり逮捕されたりする可能性があります。

結論

Washingtonの道路は州内のすべての地域を結んでいます。私たちはこの道路を使って、働いたり、商品を配達したり、太平洋岸北西部の美しい景色の探索をしています。

賢明な運転習慣は、安全で楽しい運転体験の基礎であることを忘れないでください。

優れたドライバーとは、常に次のようにしている人です。

- ・ **注意している。**常に周囲の状況と潜在的な危険に注意している。
- ・ **シートベルトを締めている。**運転する際にはシートベルトを正しく締めている。
- ・ **冷静である。**運転中は攻撃的な行動を避け、感情をコントロールしている。
- ・ **集中している。**気を散らすものを排除し、運転に集中している。
- ・ **酔って運転しない。**決してアルコールや薬物の影響下で運転しない。

自信は経験によって培われますが、自己満足に陥らないように注意します。法令、車、運転条件の変更・変化に応じた継続的な学習と適応が、運転には求められます。

道路で譲り合うWashingtonのコミュニティへようこそ。誰にとっても安全な道路を守るために協力しましょう。

用語集

相乗り: 走行中の車両1台に複数人が乗っていること。

あおり運転: 前の車両にぴったりと近づいて追うこと。

アンダーステア: 車両がドライバーの意図よりも曲がらないこと。

一時停止標識: ドライバーが車両を完全に停止させなければならないことを示す標識。

移動または経路の計画: 移動のルートを計画すること。

インターチェンジ: 複数の道路が接続する場所。

ウinker: 車両の前部と後部にある点滅するライトで、他のドライバーに右左折、車線変更の意図を示す。

運転記録: 違反や衝突事故などを記録した、個人の運転履歴。

運転免許事務所 (Driver licensing office): 運転免許に関連するカスタマーサービスを提供する場所。

影響下運転: アルコール、薬物、または判断力や協調性に影響を与えるその他の物質の影響下で車両を運転すること。

追い抜きまたは追い越し: 他の車両を追い抜くまたは追い越すこと。

オープン・コンテナ法 (Open container law): ドライバーおよび同乗者が車内で開封済みのアルコール飲料容器を持つことを飲酒運転防止用に禁止する法律。

送りハンドル: 腕を交差させずにハンドルを回す操作。

親または保護者: 未成年者の養育を担当する法定成人。

過失衝突: 衝突事故が発生し、その原因の大部分が1人のドライバーにあると判断された場合を指す。

片手ハンドル: 片手でハンドルを操作すること。

危険認識: 運転中に潜在的な危険を認識し、対応する能力。

基準点 (目印): 道路上の位置関係を知るための参考になる、道路上の線や、車両の近くにある物体。

気象条件: 天候の様子を指す。

技能試験: 駐車や操作などの実際の運転を実行する能力を判断する試験。

クルーズ・コントロールまたは速度制御: ドライバーがアクセルペダルを踏まなくても設定速度を維持する自動車のシステム。

車重のバランス: 安定性を維持するために車両の重量を均等に分散すること。

経済的責任: 損害が発生した場合に、その代金を支払う責任を負うこと。

攻撃的な運転: スピード違反やあおり運転など、怒りや危険、焦りが見られる運転行動。

交通: 道路上を移動する車両を指す。

交通違反: 車両走行中に法律に違反した場合に発行される切符。

交通規制設備: 交通を規制するために使用される標識、信号、および標示。

交通信号: 交差点で交通の流れを制御する信号灯。

交通の流れ: 道路上でどのように車両が移動しているかを表す。

交通標識の形状: さまざまな形の標識は特定の意味を持つ。

交通量: 道路上の交通の量。



合流: 車両が行き交う道路に合流すること。

視界: 周囲の物体がどれだけよく見えるかを表す。

死角: ドライバーの視界が遮られ、他の車両が見えなくなる、車両の周囲の領域。

止血帯: 出血を抑えるためにしっかりと巻く帯。

車線変更: 別の車線に移動すること。

車両登録: 車両の所有権を証明する公式文書。

車両登録事務所 (Vehicle licensing office): 車両証明書、ナンバープレート、登録のサポートを受けることができる場所。

車両の操作: 旋回や停止など、運転中に行う行動。

車両のピッチ: 車両の前方または後方への傾斜角度。

車両のロール (横揺れ): 車両の左右方向の動き。

車両保険: 衝突による損害や傷害に対する補償。

周囲視野: まっすぐ前を見ながら横にある物体を視野に入れること。

縦列駐車: 縁石に沿って車両と車両の間に駐車すること。

乗員保護システム: エアバッグやシートベルトなどの車両安全機能。

状況認識: 運転中に周囲の状況を完全に把握する能力で、これが高いと安全な運転判断をしやすくなる。

衝突事故または衝突: 2台以上の車両または物体が衝突した場合を指す。

衝突の当事者: 衝突事故または衝突の当事者になること。

所有権証明書 (Certificate of ownership): 車両または船舶の所有者を示す書類。



視力検査: 視力がどの程度良いか、目が健常かどうかを調べる検査。

スパイクタイヤ: スタッドと呼ばれる金属片が付いた冬用タイヤで、路面が凍結した状態での運転に使用できる。

スリップ: トラクションが失われ、車両が制御不能に陥ること。

制御されていない交差点: 信号や標識のない交差点。

制限速度: 道路上で許可される法定最高速度。

選抜徴兵制度への登録 (Selective Service registration): 登録すると、出生時に男性と判定された18歳から25歳までの者が、国家緊急事に米軍に徴兵される資格が得られる制度。

臓器ドナー: 臓器移植を必要とする他者の命を救うために、死後に自分の臓器を提供することに同意した人。

双生児登録簿 (Twin registry): 双子の名前と双子に関する情報のリスト。通常、調査に活用される。

タイヤのバースト: 運転中にタイヤの空気圧が急激に失われること。

多剤摂取: 複数の種類の薬物を同時に摂取または使用すること。

知識試験: 交通規則、標識、および、安全運転に必要なその他の重要な情報に対する理解度を評価する試験。

チャイルドシート: 衝突の際に子供を安全に保つための、車両内の子供専用シート。

直角駐車: 縁石に対して直角に駐車すること。

通常の交差点: 道路が直角に交わる標準的な交差点。

停止位置: 車両が停止する場所。

停止距離: ドライバーがブレーキをかけた瞬間から車両が停止するまでの移動距離。



道路交通法: 道路上での車両の動きを定める規則。

トラクション: タイヤと路面間のグリップ。

トラクションの低下: タイヤと路面のグリップが低下すること。

斜め駐車: 車を縁石に平行に駐車するのではなく、斜めに駐車すること。

ナンバープレート: 車両の前部と後部に取り付けられ、警察などが車両を識別するために使用される、数字と文字が書かれた金属またはプラスチック製の板。

農業用運転仮免許証: 18歳未満の者がトラクターや農業用車両を運転するための免許証。

ハイドロプレーニング現象: 濡れた路面で車両がトラクションを失ってスリップする状態を指す。

ハザード警告灯: 他の運転手や歩行者に対して、車の近くにいるときに注意するよう示す車両の前部と後部にある表示灯。

バック: 車両を後進させること。

反応的: 目の前の状況に対応すること。

非居住者: 都市や州など、特定の場所に永住していない人。

標準の標識色: 特定の意味を持たせるために交通標識で使用される色。

疲労感: ひどい疲れを感じることに。

ブースター (補助) シート: チャイルドシートは卒業したものの、通常のシートベルトを締めるにはまだ小さすぎる子供のために設計された特別なシート。

複雑な交差点: 複数車線または通常ではない交通パターンがある交差点。



不注意運転: 携帯電話を使用したり、ハンドルを握りながら複数の作業を行ったりすることなどにより、集中せずに運転すること。

ブレーキランプ: ドライバーがブレーキペダルを踏むと点灯する、車両背面にある赤色のライト。車両が減速または停止していることを他のドライバーに知らせる。

ブレーキ故障: 車両のブレーキが正常に機能しないこと。

ヘッドライト: 車両の前部に付いているライト。道路前方を照らし、暗い場所や夜間でもドライバーが見やすく、また他の人から視認されやすいようにする。

方向指示: ウィンカーを使用して他のドライバーに方向転換する意図を示すこと。

訪問者: 短時間または限られた時間に特定の場所に滞在する人。

歩行者: 道路上または道路の近くを歩いている人。

歩行者安全地帯: 交通から離れた安全な空間を確保することを目的とする、ドライバーが立ち入ることができないエリア。

前向きシート: 後ろ向きシートに座れなくなった子供に適した、車両の前方を向いた位置に配置されるタイプのチャイルドシート。

曲がる: 運転中に方向を変えること。

未成年者: 法律上まだ成年とみなされていない人。通常は18歳未満。

身元: 氏名、生年月日、その他の個人情報を含む、その人が誰であることを示すもの。

目視確認: 細心の注意を払って現在の危険または潜在的な危険を探ること。

黙示の同意法 (Implied consent law): 影響下運転の疑いがある場合、ドライバーに呼気アルコール測定器などの特定の検査を受けることを義務付ける法律。



有権者登録 (Voter registration): 居住者が地方選挙および国政選挙で投票できるように登録したことを示す書類。

優先権: 交通において最初に進行できる法的権利。たとえば、交差点で最初に停止した車両には優先権がある。

ヨ一: 車両の左右方向の動き。

予測的: 予測される状況に対応すること。

License Express: 運転免許証、車両登録証、営業許可証を更新したり、車両を売却した時に報告したりできるオンラインサービス。ライセンスエクスプレスはsecure.dol.wa.govから利用できる。

リスク: 良くない事が起こる可能性を指す。

ロータリー: 交差点の交通を制御する円形の障壁。環状交差点とも呼ばれる。

ABS (Antilock Brake System, アンチロック・ブレーキシステム): 車両の制御を維持しつつ安全に停止できるようにする車両安全機能。

ADAS (Advanced Driver Assistance Systems, 先進運転支援システム): ドライバーに対して介入、警告、または支援を行う車両安全技術。

Department of Licensing (DOL): 運転免許証、身分証明書、ナンバープレート、車両および船舶の登録を発行する州機関。

DUI (Driving Under the Influence, 飲酒運転または薬物の影響下での運転): アルコールや薬物の影響下にある状態で車両を運転すること。

HOV (High Occupancy Vehicle, 相乗り車両) : 乗客が複数人乗車する相乗り車両専用の車線。

ID (Identification, 身分証明書): 氏名、生年月日、写真などの個人情報報が記載された文書。

VST (Vehicle Safety Technology, 車両安全技術): センサーやカメラを使用して、ドライバーが安全に運転できるように介入、警告、または支援を行う車両機能。



アクセシビリティと宿泊施設

DOLの施設やサービスにアクセスするために宿泊施設を必要とする方のご要望に応じて、お手頃な宿泊施設を提供します。

- DOLのプログラム、施設、またはサービスにアクセスするために特別な宿泊施設が必要な場合は、360-902-3900にお電話いただくか、各地域のDOL車両登録事務所の職員がサポートいたします。宿泊施設を利用できないまたは ADA (Americans with Disabilities Act, 障害を持つアメリカ人法) への準拠ができない場合は、ADAコンプライアンスマネージャー (ADA Compliance Manager) (ada@dol.wa.gov) にお問い合わせください。
- 英語以外の言語での補助が必要な方は、言語アクセス (Language Access) チーム (languageaccess@dol.wa.gov) にお問い合わせください。
- DOLからのサービスを受ける際に、1964年公民権法 (Civil Rights Act of 1964) 第6編 (Title VI) で示されている保護対象グループとしての差別を受けたと思われる方は、公民権コンプライアンスコーディネーター (Civil Rights Compliance Coordinator) CivilRtsCoord@dol.wa.gov までご連絡ください。

免責事項

Washington州運転者向けガイドは法的権限を有さず、法廷での使用を意図したものではありません。本ガイドを法的請求や訴訟の根拠として使用することはできません。都市、町、および国の交通規制は州法を超えて適用される場合がありますが、州法と矛盾してはなりません。自動車の運転と運転免許に関する特定の法律にご興味がある場合は、RCW (Revised Code of Washington, Washington州修正法) 第46編「自動車」(Motor Vehicles) を参照してください。

本ガイドの資料は、教育または研究を目的として作成されています。特段の明記がされていない限り、すべてのコンテンツはWashington州のDepartment of Licensing (DOL) の著作権により保護されます。本資料をDOLからの書面による同意なく商業目的または政治目的で使用することを禁止します。本ガイドに記載の情報、または記載されていない事物についてご意見やご不明点がある場合は、tse@dol.wa.gov宛に電子メールを送信してください。

本ドキュメントは米国著作権法 (U.S. Copyright Law) により保護されます。Washington州のDepartment of Licensing (DOL) は本ドキュメントの著作権を保有します。

© Copyright 2025, Washington State Department of Licensing All rights reserved.